

和仏法律学校講義録

赤司, 鷹一郎 / 志田, 友吉

(出版者 / Publisher)

和仏法律学校

(巻 / Volume)

2-10

(開始ページ / Start Page)

1

(終了ページ / End Page)

100

(発行年 / Year)

1902-05-29

明治三十五年五月二十九日發行

(第貳部)

A5e
25
B 10

三十四年度乙種講習科用

和佛法律學校講義錄

第 拾 號

商法商行爲

(自第一章至第五章)

法學士

赤司鷹一

郎

商法商行爲

(自第六章至第九章)

法學士

志田友吉

吉



0487

A5e
25
P10

○注意

三十四年度講義錄第二部ハ本號ヲ
以テ全部完了セリ

五月

和佛法律學校

法學士赤司鷹一郎講述

商法商行為
(自第一章至第五章)

和佛法律學校發行

和佛法律學校發行

0488

味附君君學對發行



174403

（正章）
（自第一至第五章）

和佛法律學校

商法商行為 (自第一章至第五章) 目次

第一章 總則	一
第一節 絕對的商行為	一七
第二節 主觀的商行為	一一
第三節 附屬的商行為	一六
第四節 推定的商行為	一七
第五節 代理	一八
第六節 契約	二四
第七節 多數當事者ノ債權	三一
第八節 報酬	三五
第九節 利息	三六
第十節 質權	三八
第十一節 商行為ノ履行	四二

商法商行為目次

法政大學圖書部

0489

第十二節 留置權	五五
第十三節 時效	五七
第二章 賣買	五九
第一節 總論	五九
第二節 買主ノ義務	六二
第三節 賣買契約ノ解除	七一
第三章 交互計算	七二
第一節 交互計算ノ定義	七二
第二節 交互計算ノ效力	七五
第三節 交互計算ノ終了	七八
第四章 匿名組合	七八
第一節 匿名組合ノ定義	七九
第二節 匿名組合ノ效力	八一
第三節 匿名組合ノ終了	八三

第五章 仲立營業	八六
第一節 仲立營業ノ定義	八七
第二節 仲立營業ノ效力	八九

商法商行為(自第一章至第五章)目次 終

商法商行爲(至第五章)目次

第一章 總則 一

第二章 商行爲 一

第三章 交易 一

第四章 代理 一

第五章 營業 一

第六章 附屬 一

第七章 附屬 一

第八章 附屬 一

第九章 附屬 一

第十章 附屬 一

第十一章 附屬 一

第十二章 附屬 一

第十三章 附屬 一

第十四章 附屬 一

第十五章 附屬 一

第十六章 附屬 一

第十七章 附屬 一

第十八章 附屬 一

第十九章 附屬 一

第二十章 附屬 一

第二十一章 附屬 一

第二十二章 附屬 一

第二十三章 附屬 一

第二十四章 附屬 一

第二十五章 附屬 一

第二十六章 附屬 一

第二十七章 附屬 一

第二十八章 附屬 一

第二十九章 附屬 一

第三十章 附屬 一

第三十一章 附屬 一

第三十二章 附屬 一

第三十三章 附屬 一

第三十四章 附屬 一

第三十五章 附屬 一

第三十六章 附屬 一

第三十七章 附屬 一

第三十八章 附屬 一

第三十九章 附屬 一

第四十章 附屬 一

第四十一章 附屬 一

第四十二章 附屬 一

第四十三章 附屬 一

第四十四章 附屬 一

第四十五章 附屬 一

第四十六章 附屬 一

第四十七章 附屬 一

第四十八章 附屬 一

第四十九章 附屬 一

第五十章 附屬 一

第五十一章 附屬 一

第五十二章 附屬 一

第五十三章 附屬 一

第五十四章 附屬 一

第五十五章 附屬 一

第五十六章 附屬 一

第五十七章 附屬 一

第五十八章 附屬 一

第五十九章 附屬 一

第六十章 附屬 一

第六十一章 附屬 一

第六十二章 附屬 一

第六十三章 附屬 一

第六十四章 附屬 一

第六十五章 附屬 一

第六十六章 附屬 一

第六十七章 附屬 一

第六十八章 附屬 一

第六十九章 附屬 一

第七十章 附屬 一

第七十一章 附屬 一

第七十二章 附屬 一

第七十三章 附屬 一

第七十四章 附屬 一

第七十五章 附屬 一

第七十六章 附屬 一

第七十七章 附屬 一

第七十八章 附屬 一

第七十九章 附屬 一

第八十章 附屬 一

第八十一章 附屬 一

第八十二章 附屬 一

第八十三章 附屬 一

第八十四章 附屬 一

第八十五章 附屬 一

第八十六章 附屬 一

第八十七章 附屬 一

第八十八章 附屬 一

第八十九章 附屬 一

第九十章 附屬 一

第九十一章 附屬 一

第九十二章 附屬 一

第九十三章 附屬 一

第九十四章 附屬 一

第九十五章 附屬 一

第九十六章 附屬 一

第九十七章 附屬 一

第九十八章 附屬 一

第九十九章 附屬 一

第一百章 附屬 一

商法商行爲

第一章 總則

第二章 商行爲

第三章 交易

第四章 代理

第五章 營業

第六章 附屬

第七章 附屬

第八章 附屬

第九章 附屬

第十章 附屬

第十一章 附屬

第十二章 附屬

第十三章 附屬

第十四章 附屬

第十五章 附屬

第十六章 附屬

第十七章 附屬

第十八章 附屬

第十九章 附屬

第二十章 附屬

第二十一章 附屬

第二十二章 附屬

第二十三章 附屬

第二十四章 附屬

第二十五章 附屬

第二十六章 附屬

第二十七章 附屬

第二十八章 附屬

第二十九章 附屬

第三十章 附屬

第三十一章 附屬

第三十二章 附屬

第三十三章 附屬

第三十四章 附屬

第三十五章 附屬

第三十六章 附屬

第三十七章 附屬

第三十八章 附屬

第三十九章 附屬

第四十章 附屬

第四十一章 附屬

第四十二章 附屬

第四十三章 附屬

第四十四章 附屬

第四十五章 附屬

第四十六章 附屬

第四十七章 附屬

第四十八章 附屬

第四十九章 附屬

第五十章 附屬

第五十一章 附屬

第五十二章 附屬

第五十三章 附屬

第五十四章 附屬

第五十五章 附屬

第五十六章 附屬

第五十七章 附屬

第五十八章 附屬

第五十九章 附屬

第六十章 附屬

第六十一章 附屬

第六十二章 附屬

第六十三章 附屬

第六十四章 附屬

第六十五章 附屬

第六十六章 附屬

第六十七章 附屬

第六十八章 附屬

第六十九章 附屬

第七十章 附屬

第七十一章 附屬

第七十二章 附屬

第七十三章 附屬

第七十四章 附屬

第七十五章 附屬

第七十六章 附屬

第七十七章 附屬

第七十八章 附屬

第七十九章 附屬

第八十章 附屬

第八十一章 附屬

第八十二章 附屬

第八十三章 附屬

第八十四章 附屬

第八十五章 附屬

第八十六章 附屬

第八十七章 附屬

第八十八章 附屬

第八十九章 附屬

第九十章 附屬

第九十一章 附屬

第九十二章 附屬

第九十三章 附屬

第九十四章 附屬

第九十五章 附屬

第九十六章 附屬

第九十七章 附屬

第九十八章 附屬

第九十九章 附屬

第一百章 附屬

商行爲トハ物品ノ流通ヲ目的トスル營利行爲ナリ此商行爲ノ範圍ハ一ニ商人ノ觀念ニ依リテ定マルヘキモノニシテ一定不變ノモノニ非ス吾人若シ今日ノ商ト古代ノ商トヲ比較セバ其範圍ニ於テ著シキ差違ノ存スルコトヲ認ムヘシ社會ノ極メテ幼稚ナル時代ニ於テハ商人ノ語ハ殆ト交換ト同一ノ意味ニ用ヒラレシカ社會ノ稍進歩スルニ至リ交換ノ媒介物タル貨幣ノ利用ヲ自覺シテヨリ賣買ヲモ意味スルニ至レリ然レトモ之ヲ今日ニ比スレバ其範圍極メテ狹シ世ノ漸ク進歩スルニ隨ヒテ賣買ノ媒介物タル金錢取扱ニ關スル商業ヲ生ス是レ

即チ兩替屋トシテ銀行取引ノ始タリ學者通常此二者ヲ總稱シテ固有ノ商ト稱ス
 更テ世ヲ益ト進歩スルニ隨ヒテ物品ノ疏通ヲ媒介スル行爲モ亦獨立ノ營業ト看
 做サルルニ至レリ例ヘハ運送業ノ如シ又所謂代理仲立等ノ如キ買賣ヲ取結フ
 所ノ取引ヲ生セリ此他買賣ノ取引ヲ容易ナラシムルノ外尙ホ鞏固ナラシムル
 行爲モ亦獨立ノ行爲トシテ取扱ハルルニ至レリ是レ即チ保險ナリ又製造業ノ
 如キモ古ハ之ヲ商ハ一種ト看做サザリシト雖モ今日ニ於テハ營利的ノ事業カ
 ルガ故ニ商ナル觀念中ニ包含スルモノト謂ハサルヘカラス學者通常此等ノ行
 爲ヲ總括シテ固有ノ商ニ對シテ補助ノ商ト稱セリ
 今此商行爲ノ定義ヲ分析スルトキハ左ノ如シ

第一 商行爲ハ法律行爲ナリ

法律行爲ノ如何ナルモノタルヤハ民法上ノ研究ニ於テ既ニ諸君ノ知ル所ナル
 ヲ以テ別ニ之ヲ精論セヌ要スルニ私法上ノ效力ヲ生セシメントスル所ノ意思
 表示換言スレハ權利義務ノ關係ヲ生セシムル所ノ行爲ナリ

第二 商行爲トハ物品ノ疏通ヲ目的トスル法律行爲ナリ

茲ニ物品ト云フハ最モ廣キ意味ニ用ヒタルモノニシテ動産不動産有價證券其
 他尙モ財產權ノ目的タルヲ得ルモノトモ總テハ物ヲ包含ス而シテ物品ノ疏通モハヤ
 方ニハ生産者アリ他ノ一方ニハ消費者ナカルヘカラス其疏通ノ最モ簡單ナル
 モノハ直接ノ疏通ニシテ最初ノ生産者ト最初ノ消費者トノ間ニ行ハルル所ノ
 モノナリ間接ノ疏通ニ於テハ其一方ハ通常生産者ナレトモ取得者ハ消費者ニ
 非ス又生産者ニ非サルナリ此生産者ニ非ス消費者ニ非サル者カ二者ノ間ニ立
 入りテ疏通ノ補助ヲ爲スハ畢竟直接ノ疏通ハ物品ノ需要供給ヲ知ルコト困難
 ナルノミナラス物品ノ價格ヲ知ルヲ得ス隨テ要急ノ需用供給ニ應スルヲ得サ
 ル等ノ故障アルカ故ニシテ此等ノ故障ハ間接ノ疏通ニ因リテ始メテ排除スル
 コトヲ得ルノミ此間接ノ疏通ヲ稱シテ商ト曰ヒ此商ヲ目的トスル法律行爲ヲ
 商行爲ト曰フ

第三 商行爲ハ營利行爲ナリ
 商ニハ利益ヲ目的トスルコト缺クヘカラスモノニシテ物品ノ疏通ハ經濟上
 コリ觀ルトキハ總テ有價ナラサルヘカラス報酬ナクシテ物品ヲ疏通スル如キ

ハ道德上、法律上ノ專柄ニシテ經濟ノ範圍ニ屬セス而シテ諸種ノ經濟上ヨリ計算シテ利益ヲ得ントスルハ商ノ目的ナリ此利益ヲ得ンカ爲メニ物品ノ疏通ヲ目的トスル行爲ニ非サレハ商ト謂フヲ得ス例ヘハ醫師、官吏、辯護士、技術家等ノ精神的ノ能力ニ因リ利益ヲ得ントスルカ如キハ商ヲ行フト謂フコトヲ得ス以上述ヘタル所ハ學理上ノ觀察ニ基クモノニシテ近世歐洲諸國ノ法典ハ其法典中ニ商行為ノ定義ヲ與ヘタルモノト商行為ノ種類ヲ列記シタルモノトノ二ニ別ラコトヲ得

(一) 廣ク商行為ノ定義ヲ掲グル主義ハ舊法ハ舊法ニ當テハ其範圍ニ限リテ此主義ハ西班牙、葡萄牙等ノ採用スル所ニシテ商行為ノ定義ヲ法典ニ掲グ此主義ハ立法上甚タ不可ナルノミナラズ其定義モ極メテ曖昧ニシテ他日困難ト爲ルモノナリ故ニ此等ノ主義ハ到底正當ナルモノニ非サルナリ

(二) 商行為ヲ列記スル主義ニハ舊法ハ舊法ニ當テハ其範圍ニ限リテ此主義ハ舊法ニ列記ト謂フハ例示的ノ列舉ニ非スシテ制限的ノ列舉ノ意味ニ用ヒタルナリ此列記主義モ亦大別シテ三種ト爲ス

(甲) 人的主義 此主義ハ商人ヲ基礎トシテ商行為ヲ定ムル所ノ主義ナリ昔漏西ノ商法草案ノ如キハ先ツ商人ノ意義ヲ定メテ然後之ニ依リ商行為ナルモノヲ定メントセリ此主義ハ理論上ニ於テ少シク其當ヲ得ス商行為ハ本ニシテ之ヲ行フ者ハ商人ナラサルヘカラス然ルニ先ツ商人ノ意義ヲ定メテ然後ニ商行為ヲ定ムルハ其順序ヲ誤マレト謂ハサルヘカラス

(乙) 物的主義 此主義ハ商行為ヲ其本質ヨリ定メントスル所ノ主義ニシテ商行為ヲ爲ス者ハ商人ナルト非商人ナルト問ハス營業トシテ之ヲ爲スト非營業トシテ之ヲ爲スト問ハス總テ商行為トシテ商法ノ規定ニ從ハシムル所ノ主義ナリ

(丙) 折衷主義 前二主義ヲ併用シタルモノニシテ或種類ノ行爲ハ之ヲ爲ス者ノ商人ナルト否ト問ハス之ヲ商行為ト爲スト雖モ他ノ種類ノ行爲ハ營業トシテ爲ス場合ノミ商行為ト看做ス主義ナリ此主義ハ佛獨等ニ於テ行ハルル所ニシテ我商法ハ明カニ此主義ヲ採用セリ即チ第二百六十三條ニ於テ商人カ爲スト非商人カ爲スト問ハス總テ商行為ト看做スルモノヲ列記

シ第二百六十四條ニ於テハ營業トシテ商人カ之ヲ爲セタル場合ニ於テ商行
爲ト看做スヘキモノヲ列記セリ

商行爲ノ種類ニ付テ今日學者間ニ最モ廣ク行ハルル分類法ニ從ヘハ商行爲ヲ
別テ左ノ五種トス

- (一) 絕對的商行爲 其行爲ノ性質上商行爲タルモノニシテ商人カ爲セタルト
非商人カ爲セタルト箇箇ノ商行爲ナルト營業的ナルトト問ハス總テ商行爲ト
爲スモノナリ我商法ノ第二百六十三條ハ此絕對的ノ商行爲ヲ規定シタルナリ
- (二) 相對的商行爲 相對的商行爲トハ營業トシテ爲シタル場合ニノミ商行爲
ト爲ルモノナリ絕對的商行爲ハ其行爲ヲ爲シタル人ノ何人タルヤト問ハサル
モ相對的商行爲ニ在リテハ商行爲ヲ行フ人カ營業トシテ之ヲ爲スコトヲ必要
トス我商法第二百六十四條ハ此種類ノ商行爲ヲ規定セルモノナリ
- (三) 附屬的商行爲 商人カ其營業ノ爲メニスル行爲ヲ謂フモノニシテ我商法
第二百六十五條第一項ハ此商行爲ヲ規定セリ
- (四) 推定的商行爲 商人ノ爲シタル行爲ハ反對ノ證據ナキ限りハ商行爲ト推

定スルモノナリ第二百六十五條第二項ハ此商行爲ヲ規定シタルモノナリ

(五) 一方的商行爲 雙方的商行爲 一方の商行爲トハ一ノ行爲カ當事者ノ一方
ニ取リテノミ商行爲タルモノナリ雙方的商行爲トハ當事者ノ雙方ニ取リテ商
行爲タルモノヲ意味スルナリ此第五ノ區別ハ我商法ヲ説明スルニ付テハ不用
ノモノナリ此二者ヲ區別スルハ必要ハ獨逸古代ノ商法ノ如ク當事者ノ雙方カ
共ニ商人タル場合ニ始メテ適用スヘキモノト當事者ノ一方カ商人タル場合ニ適
用スヘキモノヲ區別セル場合ニ於テ此二者ヲ區別スル必要ヲ生スレトモ我商
法ノ如キハ第三條ニ於テ當事者ノ一方ノ爲メニ商行爲タル行爲ニ付テモ猶ホ
雙方ニ對シ商法ノ規定ヲ適用スルコトヲ定メタルヲ以テ此區別ハ實際上ニ於
テ其必要ヲ見ス

第一節 絕對的商行爲

絕對的商行爲ハ其本質上商行爲タルヘキモノニシテ箇箇ノ行爲タルト非商人
カ爲シタル行爲カルトト問ハス總テ商行爲タルモノナリ此商行爲ハ商法第二

百六十三條ノ規定スル所ニシテ即チ左ノ如シキハ、
第一ノ利益ヲ得テ讓渡ス意思ヲ以テスル動産不動産者ハ有價證券ノ有價取得又ハ其取得シタルモノノ讓渡ヲ目的トスル行為第二六三條第一

一方ヨリテ動産不動産又ハ有價證券ヲ取得シ利益ヲ得テ之ヲ他人ニ讓渡セントスル行為ハ通常之ヲ投機的ノ買入又ハ相場的ノ買入ト曰フ今此行為ヲ左ニ分析説明セン
(一) 其行為ノ目的ハ動産不動産又ハ有價證券ナラサルヘカラス動産不動産ノ利用及ヒ其效力カ證書ト離ルヘカラサルモノ又ハ其利用及ヒ效力カ證書ト離ルルコト能ハサルモノヲ謂フ例ヘハ手形上ノ債權債務ハ手形ト共ニ發生スルモノニシテ此手形ハ最モ完全ナル有價證券ナリ然レトモ此有價證券ノ中ニハ證書ナクシテ權利ハ發生スト雖モ其權利ヲ利用スルニ當リテハ證書ヲ必要トスルモノアリ有價證券ノ中ニハ或ハ物權的ノ效力ヲ生スルモノアリ例ヘハ倉庫證書ハ如シ或ハ債權的ノ效力ヲ生スルモノアリ又ハ有價證券ノ中ニハ指圖

式ノ有價證券アリ記名式ノ有價證券アリ或ハ無記名式ノ有價證券アリ
(二) 有價取得トハ報酬ヲ與ヘテ所有權ヲ取得スル意味ニシテ法律行為ニ非サル所ノ取得例ヘハ狩獵捕漁ノ如ク天産物ヲ採取スル如キモノハ有價取得ト謂フコトヲ得ス
(三) 他人ニ讓渡スノ意思ハ取得スル當時ニ於テ存在セサルヘカラス且ツ其意思ハ明示又ハ默示ニ表示セラレサルヘカラス取得ノ當時ニ讓渡ノ意思ナケルハ他日之ヲ讓渡スモ商行為ト謂フコトヲ得ス讓渡ノ意思カ取得ノ當時ニ存セシトキハ縱令後日ニ其意思ヲ實行セサルモ仍ホ其商行為タル性質ヲ失ハス
第二 他人ヨリ取得スヘキ動産又ハ有價證券ノ供給契約第二六三條第二ノ供給契約トハ他日他人ヨリ取得スルト云フ意思ヲ以テ動産又ハ有價證券ヲ供給スル契約ニシテ投機的賣却ノ義ナリ而シテ第一ノ投機買入ノ商行為ニ在リテハ取得スルコトカ先ニシテ讓渡スコトハ後ナリ此供給契約ニ於テハ讓渡カ先ニシテ取得ハ後ナリ投機的買入ノ場合ニ在リテハ讓渡ノ意思ヲ以テ之ヲ取得シタルモノナレトモ投機的賣却ノ場合ニハ取得スル意思ヲ以テ讓渡サンム

スルモノナリ此供給契約ノ條件ヲ分析スレハ「取引」ノ意思ヲ以テ「取引」セシムルモノナリ此供給契約ノ目的ハ動産又ハ有價證券ナラサルヘカラス蓋シテ「取引」ノ意思ヲ以テ「取引」セシムルモノナリ此供給契約ノ目的ハ動産又ハ有價證券ナラサルヘカラス蓋シテ「取引」ノ意思ヲ以テ「取引」セシムルモノナリ

(一) 供給契約ノ目的ハ動産又ハ有價證券ナラサルヘカラス蓋シテ「取引」ノ意思ヲ以テ「取引」セシムルモノナリ

(二) 所有權ノ移轉ヲ目的トスル行爲ナルコトヲ要ス蓋シテ「取引」ノ意思ヲ以テ「取引」セシムルモノナリ

(三) 供給者ハ他日他人ヨリ取得スルト云フ意思ヲ以テセザルヘカラス且ツ此意思ハ供給ヲ約スル當時ニ於テ存在スルモノナラサルヘカラス蓋シテ「取引」ノ意思ヲ以テ「取引」セシムルモノナリ

第一種ノ商行爲ニ於テハ取得ノ行爲カ先ニシテ之ヲ他人ニ讓渡ストキハ取得ノ際ニ存在セシ所ノ意思ヲ貫徹スルモノナリ第二種ノ商行爲ハ供給ヲ爲スノ約東カ前ニ成立シ之ヲ履行スルカ爲メニ他人ヨリ取得スルハ給付ヲ爲ス契約ヲ爲ス當時ニ存在セシ意思ヲ貫徹セシムルモノナリ即チ第二百六十三條ノ第一號ノ末段ト第二號ノ末段ニ掲ケタルモノナリ是ヲ以テ第一種ノ商行爲ニ於ケル讓渡及ヒ第二種ノ商行爲ニ於ケル給付ノ行爲ハ學者カ之ヲ實行行爲或ハ履行行爲ト稱セリ

第三 取引所ニ於ケル取引(第二六三條第三號)ハ「取引」ノ意思ヲ以テ「取引」セシムルモノナリ此取引ノ如何ナルモノナルカハ明治二十六年三月取引所法ニ掲ケアリ此取引

所ノ取引ニハ商品ノ取引ト株式ノ取引トノ二アリ取引ノ種類ニ付テ云ヘハ直取引ト延取引及ヒ定期取引トニ分ル此第二百六十三條ノ第三號ハ總テ此等ノ取引ヲ包含セルモノナリ

第四 手形其他ノ商業證券ニ關スル行爲(第二六三條第四號)ハ「取引」ノ意思ヲ以テ「取引」セシムルモノナリ

手形ノ何タルヤハ手形法ノ說明ニ讓リ手形其他裏書ヲ以テ他人ニ移轉スルコトヲ得ル證券ノ發行裏書支拂其他ノ取引ノ如キハ之ヲ商行爲ト看做スモノナリ

第二節 主觀的商行爲

第一節ニ於テ説述シタルモノハ總テ其性質上商行爲タルモノナリ客觀的商行爲ハ其商行爲ヲ爲ス人ノ如何ヲ問ハスヲ常ニ商行爲ナリト雖モ本節ニ於テ論セントスルモノハ營業トシテ爲シタル場合ニ於テ始メテ商行爲ト爲ルモノナリ

主觀的商行爲ニ付テハ我商法ハ第二百六十四條ヲ以テ之ニ關スル規定ヲ設ケ

タリ左ニ順次之ヲ説明セシメ、第二百六十四條ニ於テハ、該法ニ於テハ、
 (第一) 貸貸スル意思ヲ以テスル動産若クハ不動産ノ有償取得若クハ貸借又ハ
 其取得若クハ貸借シタル物ノ貸貸ヲ目的トスル行爲ニシテ、
 今之ヲ分析スレハ、
 (一) 其行爲ノ目的ハ動産若クハ不動産ナラサルヘカラス、
 舊商法ニ依レハ不動産ニ關スル取引ハ之ヲ商行為ト看做ササリシト雖モ、
 營利ノ目的ヲ以テ不動産ヲ讓渡シ貸貸シ若クハ其他ノ流通行爲ヲ爲シタルト
 キハ之ヲ商行為ト看做スヘカラサル理由ナキヲ以テ新法ニ於テハ不動産モ亦
 商行為ノ目的タルコトヲ得ルコトトセリ、
 (二) 有償取得若クハ貸借並ニ既ニ取得若クハ貸借シタル物ノ貸貸ヲ目的トス
 ル行爲

有償取得ナル語ハ既ニ第一節ニ於テ説明シタルカ如ク報酬ヲ出シテ所有權ヲ
 取得スル行爲ヲ意味スルモノニシテ之ヲ貸借ト區別スルコトヲ要ス所有權移
 轉ノ效果ヲ生セシムル目的ヲ以テ爲シタル行爲ハ取得ノ行爲ニシテ貸借ハ毫
 モ所有權ニ影響スルコトナク單ニ使用收益ノ權利ヲ創設スルニ過キサルモノ
 ナリ、
 (三) 他人ニ貸貸スルノ意思

他人ニ貸貸スルノ意思ハ取得又ハ貸借ノ當時ニ存在セサルヘカラス取得又ハ
 貸借ノ當時ニ於テ貸貸スルノ意思ナクシテ他日之ヲ貸貸スルコトアルモ商
 行爲ト看做スコトヲ得ス、

(第二) 他人ノ爲メニスル製造又ハ加工ニ關スル行爲
 製造又ハ加工ニ關スル行爲ト謂フハ他人ノ爲メニ物品ヲ製造シ又ハ他人ノ材
 料ニ勞力ヲ加ヘ相手方ヨリ報酬ヲ受クル行爲ヲ謂フ中ニハ、
 (第三) 電氣又ハ瓦斯ノ供給ニ關スル行爲

(第四) 運送ニ關スル行爲
 荷物運送タルト旅客運送タルト陸商タルト海商タルト問ハス苟モ運送ニ關
 スル行爲ハ總テ主觀的商行為ナリ、
 (第五) 作業又ハ勞務ノ請負

請負ノ何タルヤハ民法ノ範圍ニ屬スルヲ以テ詳述セズ要スルニ請負トハ報酬ヲ受ケテ或仕事ヲ完成セントスル契約ナリ

(第六) 出版印刷又ハ攝影ニ關スル行為

(第七) 客ノ來集ヲ目的トスル場屋ノ取引

營利ノ目的ヲ以テスル劇場、寄席、角力ノ如キモノヲ意味スルモノニシテ營利ノ目的ヲ以テセス單ニ公益ノ目的ヲ有スルモノハ本號中ニハ包含セス

(第八) 兩替其他銀行取引

銀行取引ノ範圍ハ商ノ觀念ノ異ナルニ隨ヒ同一ナラス如何ナル取引カ銀行取引ナルヤハ商慣習ニ依リテ之ヲ決スヘキノミ我銀行條例供託法等ヲ見レハ略其範圍ヲ知ルコトヲ得ン金錢ノ貸付兩替寄託契約手形ノ割引等ハ今日ニ於テハ銀行取引ト看做スコトヲ得ヘシ

(第九) 保險

保險ハ其目的ヨリ之ヲ區別スレハ生命保險及ヒ損害保險ノ別アリ又營業トシテ爲ス保險ト相互ノ保險トニ區別スルコトヲ得ヘシ本號ニ於テ保險ト稱スル

モノハ如何ナルモノナルヤ以上各種ノ保險ヲ包含スルモノナリヤ營業トシテ爲ス保險ノ商行為タルコトハ疑ナシト雖モ相互ノ保險ハ一定ノ人人集合シテ互ニ保險者被保險者ト爲リ若シ社員ノ一人ニ對シ損害アリタルトキハ之ヲ社員間ニ分ツコトヲ目的トスルモノニシテ利益ヲ得ルヲ以テ目的トセサルモノナルヲ以テ之ヲ商行為ト稱スルコトヲ得ス然レトモ今日相互ノ保險ト稱スルモノノ多數ハ純然タル相互ノ保險ニ非スニテ營業トシテ爲ス保險ト相互ノ保險ヲ折衷シタルモノナリ隨テ此種ノ相互ノ保險ハ商行為ト看做スヲ至當トス

商法第四百十八條ノ規定ノ如キモ亦此主旨ニ外ナラサルナリ

(第七) 寄託ノ引受

倉庫營業其他荷モ營業トシテ他人ノ動産又ハ有價證券ノ保管ヲ引受クル行為ハ之ヲ商行為ト看做スヘキモノナルヲ以テ本號ノ規定アル所以ナリ

(第十一) 仲立又ハ取次ニ關スル行為

(第十二) 商行爲ノ引受

以上第一號乃至第十二號ニ掲グル行為ハ營業トシテ之ヲ行フ場合ニ限リ商行

爲タルヘキモノナリ各號ニ關スル精細ノ説明ハ後ニ讓リ茲ニハ唯商法第二百六十四條但書ヲ説明シテ以テ本節ヲ終ヘントス

商法第二百六十四條ノ但書ニ曰ク但專ラ賃金ヲ得ル目的ヲ以テ物ヲ製造シ又ハ勞務ニ服スル者ノ行爲ハ此限ニ在ラスト蓋シ專ラ賃金ヲ得ル目的ヲ以テ物ヲ製造スル者ハ縱令其材料ヲ自ラ供給スルコトアルモ其目的ハ主トシテ勞力ニ對スル報酬ヲ得ント欲スル者ニシテ其職業ノ輕微ナルカ爲メニ之ヲ商行為ト看做スヘキモノニ非サルカ故ニ本條但書ヲ設ケテ之ヲ除外セリ

第三節 附屬的商行為

附屬的商行為ノ何タルヤハ商法第二百六十五條第一項ノ規定スル所ニシテ商人カ其營業ノ爲メニ爲ス行爲ヲ意味スルモノナリ抑モ商行為ノ體様タル千變萬化極リナキヲ以テ商行為ノ種類ヲ悉ク列記スルハ立法者ノ能クセサル所ナリ是ヲ以テ商法第二百六十五條ハ概括的ニ營業ヲ容易ニシ若クハ營業ヲ爲スニ必要ナル行爲ハ縱令前條主觀的商行為又ハ客觀的商行為ニ屬セザル行爲ト

雖モ仍ホ之ヲ商行為トシ商法ノ規定ヲ適用スヘキコトヲ明カニセリ

附屬的商行為ハ商人カ營業ノ爲メニ爲スニ因リテ商行為ト爲ルモノナルヲ以テ商人ハ營業トシテ之ヲ爲スノ必要ナク又繼續シテ之ヲ行フコトヲ必要トセズ是レ主觀的商行為ト異ナル所以ナリ

第四節 推定の商行為

商法第二百六十五條第二項ハ推定の商行為ニ關スル規定ナリ同條ノ規定ニ依レハ凡テ商人ノ爲シタル行爲ハ營業ノ爲メニ爲シタルモノト推定スルヲ以テ商人ノ行爲ハ反對ノ證據ナキ限リハ之ヲ商行為ト推定セザルヘカラス是レ既ニ本條第一項ヲ以テ營業ノ爲メニスル商人ノ行爲ハ之ヲ商行為トセリト雖モ果シテ商人カ營業ノ爲メニ爲シタル行爲ナリヤ否ヤハ屢事實問題トシテ疑義ノ生スルコトナルヲ以テ此等ノ疑ヲ決センカ爲メニ第二項ノ推定ヲ設ケタルナリ故ニ商人ハ其行爲ニ關シ營業ノ爲メニ爲シタルヤ否ヤノ事實問題ニ付キ反證ヲ提出シテ之ヲ爭フコトヲ得ルト雖モ其行爲ニシテ營業ノ爲メニ爲シタ

ルコト確定シタル後ハ商法ノ規定ニ從ハサルコトヲ主張スルヲ得タルモノナ
ルコトハ其法律ニ關シテ其本人ニ對シテハ其法律ニ從ハサルコトヲ主張スルヲ得
ルコトハ其法律ニ關シテ其本人ニ對シテハ其法律ニ從ハサルコトヲ主張スルヲ得
ルコトハ其法律ニ關シテ其本人ニ對シテハ其法律ニ從ハサルコトヲ主張スルヲ得

第五節 代理

代理ノ何タルヤハ民法第一節第四章第三節ノ規定スル所ナリ抑モ民法ハ通法
ナリト雖モ特別ノ事情アル場合ニ於テハ之カ例外ヲ設クルハ至當ニシテ且
必要ノ事ナリ是レ商法ノ制定アル所以ニシテ予ハ本節ニ於テ民法ニ於ケル代
理ニ關スル規定ヲ説明モス單ニ民法ニ對スル二三ノ例外ヲ説述スルニ止マル
ノミ

(第一) 第一ノ例外ハ代理ノ條件ニ關スルモノナリ民法第九十九條ノ規定ニ依レ
ハ代理人ノ爲メタル法律行為カ直接ニ本人ニ對シテ效力ヲ生スルニハ左ノ二
條件ヲ具備セサルヘカラズハ必要ナルハ其法律行為ニ對シテハ其法律行為
第一ノ代理人カ其代理權ノ範圍内ニ於テ法律行為ヲ爲シタルコトハ其法律
第二ノ代理人カ自己ノ爲メニ非ズ本人ノ爲メニ法律行為ヲ爲スコトヲ表示シ

若シ此條件ノ一ヲ缺カンカ其法律行為ハ直接ニ本人ニ對シテ效力ヲ生スルコ
トナシ換言スレハ代理關係ハ發生セサルモノナリ代理人ハ其法律行為ヲ爲ス
ニ當リテ常ニ本人ノ爲メニ爲スコトヲ表示スルヲ要スト雖モ必ズ其意思ヲ明
示スルヲ要セス默示ノ方法ニ依リテ之ヲ表示スルモ可ナリ代理人カ法律行為
ヲ爲スニ當リ若シ前述第二ノ條件ヲ缺キタルトキハ民法第百條ノ規定ニ依リ
其行為ハ單ニ代理人ニ對シテ效力ヲ生スヘキノミ本人ハ此等ノ行為ニ因リ何
等ノ權利ヲ得又ハ義務ヲ負フヘキモノニ非サルナリ

以上ハ民法上代理ニ關スル規定ナリ商業上ノ法律行為ニ於テハ時時取引上ノ
秘密ノ爲メニ本人ノ爲メニスルコトヲ隱匿スルノ必要アリ此場合ニ於テ商法
ハ其法律行為ニシテ本人ニ對シテ有效ナラシムヘキヤ否キノ疑問ヲ生ス左ニ其
場合ヲ區別シテ之ヲ論ゼン
第一ノ代理人ハ本人ノ氏名ヲ明示セスト雖モ自己ノ爲メニ法律行為ヲ行フニ
非サルコトヲ表示シタルトキハ其法律行為ハ其本人ニ對シテ有效ナラシム



予カ民法第九十九條ヲ解スル所ニ據レハ代理人ハ其法律行為ヲ爲スニ當リテ必スシモ本人ノ氏名ヲ明示スルヲ要セズ單ニ其他人ノ爲メニ爲スコトヲ表示セハ足レリ且ツ特ニ商法ニ於テ正當ナル理由ナクハ民法ノ除外例ヲ設クヘキモノニ非ス而シテ予ハ其正當ナル理由ヲ發見スル能ハサルヲ以此ノ如キ場合ニ對シテハ仍ホ民法ノ規定ヲ適用スルヲ至當ナリト信ス

第二 本人ノ爲メニスルコトヲ表示セシテ代理人カ法律行為ヲ行ヒタルトキ

民法第百條ノ規定ニ依レハ此場合ニ於テ代理人ノ爲シタル法律行為ハ唯代理人ニ對シテ效力アルノミ蓋シ純理ヨリ之ヲ論スルトキハ代理人ハ自己ノ爲メニスル意思ヲ有セスシテ尙ホ他人ノ爲メニスルコトヲ表示セザルヲ以テ意思ト其表示ハ相一致セズ隨テ其法律行為ハ無効ニシテ相手方ハ單ニ代理人ニ對シテ損害賠償ヲ求ムルコトヲ得ルノミ然レトモ抑モ損害賠償ナルモノハ相手方ヲ保護スヘキ完全ナル救済方法ニ非サルヲ以テ純理ニ拘ラス實際ノ必要ニ基キ本人ノ爲メニスルコトヲ表示セシテ爲シタル行為ハ自己

ノ爲メニスルコトヲ看做シ代理人ノミヲ拘束スルコトトセリ示スル

十 商業上ニ於テハ取引ノ迅速取引ノ安全ヲ保護スルコト篤キヲ要ス故ヲ以テ近世各國ニ於テ商法ヲ編纂スルニ當リテハ理論ヲ骨子トシ實際ノ便益ヲ參酌シテ之カ規定ヲ設ク我國商法ノ編纂ニ於テモ亦此主義ヲ採用シ民法ニ於テハ理論ヲ基礎トシ公平ヲ規矩トシ稀ニ實益ヲ參酌セリト雖モ商法ニ於テハ寧ロ實益ヲ以テ主トシ理論ヲ以テ從トセリ代理人カ本人ノ爲メニスルコトヲ示サスシテ法律行為ヲ行ヒタルトキハ民法ニ於テハ公平ノ觀念ニ基キ單ニ自己ノ爲メニスルコトヲ看做スノミ然レトモ商業上ノ取引ハ便利且ツ迅速ナラシムルコトヲ要スルヲ以テ一ノ商行爲ヲ爲スニ當リテ常ニ其本人ノ爲メニスルコトヲ表示スルニ非ザレハ其行為ハ本人ニ對シ何等ノ效力ヲ生セズト規定スルトキハ不便極リナク加之商業上ノ取引ニ於テハ屢ニ九十九條及ヒ第百條ノ例外ヲ設ケタリ

以上述ヘタル所ハ單ニ本人ト代理人トノ關係ニ過キズ更ニ代理人ト相手方ト

ノ關係ニ付キ特ニ注意ヲ要スヘキモノアリ前述ノ如ク代理人カ本人ノ爲メニ
 スルコトヲ表示セザルトキニ於テモ其法律行為ハ本人ニ對シ直接ニ效力ヲ生
 スルカ故ニ本人ハ之ニ因リテ權利ヲ得義務ヲ負擔スト雖モ代理人ハ何等ノ義
 務ヲ負擔セザルモノナリ相手方ハ其取引ヲ爲スニ當リテハ代理人自身ト取引
 ヲ爲スノ意思ヲ有シ代理人自身ヲ信任シ若クハ其資産ヲ信據スルヲ常トス然
 ルニ其行為ハ代理權ノ作用トシテ直接ニ本人ニ對シテノミ效力ヲ生シ代理人
 ハ相手方ニ對シテ何等ノ責任ヲ負擔セストセハ相手方ノ不利益ハ特ニ甚クカ
 ルヘク相手方ハ心ヲ安シテ他人ト取引スルコトヲ得ザルニ至ラン是レ商法
 上基礎ノ觀念タル取引ノ安全ヲ阻害スルモノナルヲ以テ相手方保護ノ主旨ニ
 基キ商法第二百六十六條ハ但書ニ於テ本人ノ爲メニスルコトヲ知ラザル相手
 方ニ對シテ代理人ニ對シテ履行ヲ請求スルノ權利ヲ與ヘタリ
 (第二) 例外ノ第二ハ委任ニ因ル代理權ノ範圍ニ關スルモノナリ民法第六百四
 十四條ノ規定ヲ見ルニ受任者ハ委任ノ本旨ニ從ヒ善良ナル管理人ノ注意ヲ以
 テ委任事務ヲ處理スヘキモノナリ委任ノ本旨トハ何ノヤ委任者カ明示若クハ

默示ニ委任シタル行為ノ範圍是ナリ受任者ハ明示又ハ默示ニ因リ指定セラレ
 タル行為ノ外ハ之ヲ行フノ權限ヲ有セス然レトモ受任者ノ權限ヲ限定スルハ
 商業上不便尠カラサルヲ以テ商法ニ於テハ特ニ反對ノ意思表示ナキ限ハ成ル
 ヘク代理權ノ範圍ヲ擴張セシムルコトヲ必要トス故ニ商法第二百六十七條ニ
 於テハ民法除外例ヲ設ケテ明示又ハ默示ノ方法ニ依リ指定シタル委任ノ本旨
 ニ反セザル範圍内ニ於テ爲シタル代理人ノ行為ハ代理行為トシテ本人ニ對シ
 效力アルコトヲ規定セリ

(第三) 例外ノ第三ハ代理權ノ消滅ニ關スルモノナリ民法第一百十一條ニ依レハ
 代理權ハ本人ノ死亡ニ因リテ消滅スルモノナリ委任ニ因ル代理ハ當事者間ニ
 於ケル一身上ノ信用ニ基クモノナルカ故ニ羅馬法以來諸國ノ立法ハ多ク本人
 ノ死亡ニ因リテ代理權ハ消滅スルモノトセリ然レトモ社會ノ發達ニ伴ヒ人事
 ノ關係複雜ト爲ルニ從ヒ此ノ如キ制度ハ不便極リナキヲ以テ近來ニ於テハ本
 人ノ死亡ヲ以テ代理權消滅ノ一原因ト認メザルノ傾向ヲ生セリ特ニ商事ニ於
 テ委任者ノ死亡ヲ以テ代理權ノ消滅ノ原因ト爲ストキハ當事者ニ尠カラサル

不便ヲ來スノミナラス商業ノ迅速ヲ妨害スルノ虞アルヲ以テ我商法ハ從來ノ沿革ニ拘ラス獨逸ノ例ニ倣ヒ商法第二百六十八條ニ於テ民法ノ例外ヲ掲ケ妻
作者ノ死亡ハ代理權消滅ノ原因ニ非ナルコトヲ明カニセリ

第六節 契約

本節ニ於テ述ヘントスル所ハ商法第二百六十九條乃至第二百七十二條ノ規定
ニシテ民法第三編第二章ノ例外規定ナリ契約ニ關スル本法ノ規定ニシテ民法
ノ規定ト異ナル所ハ唯僅ニ左ノ三ノ場合アルノミ

- 第一 契約ノ申込ノ效力ニ關スル規定
- 第二 承諾ノ推定ニ關スル規定
- 第三 物品ノ保管ニ關スル規定
- 第一 契約申込ノ效力ニ付テハ民法第五百二十一條以下ノ規定スル所ナリ民法第五
百二十一條及ヒ第五百二十七條ノ規定ニ依レハ申込ニ二種アリテ各其效力ヲ

異ニセリ

(甲) 承諾ノ期間ヲ定メテ爲シタル契約ノ申込
承諾ノ期間ヲ定メテ爲シタル契約ノ申込ハ其期間内ハ之ヲ取消スコトヲ得ス
ト雖モ若シ承諾ノ通知ナクシテ其期間ヲ經過シタルトキハ申込ハ其效力ヲ失
フモノトス

(乙) 承諾ノ期間ヲ定メスシテ爲シタル契約ノ申込
承諾ノ期間ヲ定メスシテ爲シタル契約ノ申込ハ申込者ノ取消又ハ相手方ノ拒
絶アルニ非スンハ單ニ一定ノ期間ノ經過ニ因リ其效力ヲ失フモノニ非ス加之
對話者間ニ於テハ申込者ハ相手方カ承諾スル以前ハ何時ニテモ其申込ヲ取消
スコトヲ得ルト雖モ隔地者間ニ於テハ申込者ハ申込者カ承諾ノ通知ヲ受クル
ニ相當ナル期間内ハ之ヲ取消スコトヲ得サルモノタリ
商法第二百六十九條及ヒ第二百七十條ノ規定ハ第二ノ場合即チ承諾ノ期間ヲ
定メスシテ爲シタル契約ノ申込ニ關スル民法ノ規定ノ例外ヲ設ケタルモノニ
シテ承諾ノ期間ヲ定メテ契約ノ申込ヲ爲シタル場合若クハ商法ノ規定ト異ナ



ル慣習アリテ當事者ハ之ニ依ル意思ヲ有スル場合ニ於テハ其適用ナキコトヲ
 怠ルヘカラス
 抑モ商業上ノ契約ニ於テハ其目的ハ主トシテ營利ニ在ルヲ以テ取引ヲシテ迅
 速且ツ確實ナラシムルコトヲ要スルモノタリ承諾ノ期間ヲ定メスシテ申込ヲ
 爲シタル場合ニ於テ全然民法ノ規定ヲ適用スルコトトセシカ取引ノ敏捷ヲ妨
 害スル恐アリ故ニ民法ノ例外ヲ設テ次
 第一ニ對話者間ニ於ケル申込ニ付テハ相手方カ直チニ承諾ヲ爲ササルトキ
 承諾ハ當然其效力ヲ失フモノトシ(第二六九條)
 第二ニ隔地者間ニ於ケル申込ニ付テハ相手方カ相當ノ期間内ニ承諾ノ通知
 ヲ發セサルトキハ其效力ヲ失フモノトセリ(第二七〇條)
 對話者間ニ於ケル申込ニ關スル規定ニ付テハ別ニ説明ヲ要セスト雖モ隔地者
 間ニ於ケル申込ニ關シ一言ヲ要スヘキコトアリ民法ノ規定ニ依レハ承諾ノ期
 間ヲ定メスシテ爲シタル隔地者ニ對スル申込ハ申込者カ承諾ヲ受クルニ相當
 ナル期間ヲ經過シタル後ハ之ヲ取消スコトヲ得ヘシト雖モ申込者カ之ヲ取消

ササル限ハ申込トシテ猶ホ有效ニ成立ス加之民法第五百二十七條ノ規定ニ依
 レハ申込者ノ發シタル取消ノ通知カ其相手方ニ到達スル以前ニ於テ相手方カ
 承諾ノ通知ヲ發シタルトキハ契約ハ完全ニ成立シ取消ノ通知ハ何等ノ效力ヲ
 生スルコトナシ此ノ如ク申込ハ之ヲ取消ササル間ハ猶ホ效力ヲ有シ之カ效力
 ヲ失ハシムルニハ取消ノ手續ヲ要ストセハ商業上ノ不便尠カラサルヲ以テ商
 法ニ於テ特ニ之カ例外ヲ設ケタリ
 第二ニ承諾ノ推定ニ關スル規定
 抑モ契約ハ二人以上ノ間ニ於ケル意思表示ノ合致ナリ申込ニ對スル承諾ナル
 意思表示アリタル時ニ於テ完全ニ成立スルヲ原則トシ承諾ナクシテ契約ハ成
 立スルモノニ非サルナリ民法ノ規定ニ依レハ縱令申込者カ其申込ニ相手方カ
 拒絕ノ意思ヲ表示セサレハ之ヲ承諾シタルモノトスヘキコトヲ附記シタリト
 雖モ申込ヲ受ケタル者カ其申込ニ對スル諾否ヲ通知セサル場合ニ於テ單ニ通
 知ナキノ故ヲ以テ承諾ヲ爲シタルモノト看做スコトヲ得ス是レ民法ニ於テ別
 ニ明文ナシト雖モ法理上明瞭ナル事ナリ契約ハ意思表示ノ合致ナルヲ以テ承

諸ナル意思表示ナキ場合ニ於テハ特ニ法律ノ推定アルニ非スンハ契約ハ成立スルモノニ非ス承諾ノ表示ナクシテ契約ノ成立スヘキ場合ハ唯民法第五百二十六條第二項ノ場合アルノミ

以上ハ民法上ノ原則ナリ然レトモ商人カ平常取引ヲ爲ス者ヨリ其營業ノ部類ニ屬スル契約ノ申込ヲ受ケタル場合ニ於テ民法ノ規定ヲ適用スルコトトセシカ取引ノ慣習上又ハ申込者ノ意思表示ニ因リテ承諾ノ通知ヲ必要トセサル場合ニ於テ承諾ノ意思表示ト認ムヘキ事實アルニ非スンハ契約ハ成立セザルヲ以テ其不便宜ニ尠カラス是ヲ以テ商法ニ於テハ民法ノ除外例ヲ設ケ商人ハ平常取引ヲ爲ス者ヨリ其營業ノ部類ニ屬スル契約ノ申込ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク諾否ノ通知ヲ發スヘキノ義務アルモノトシ若シ義務ヲ怠リタルトキハ制裁トシテ申込ヲ承諾シタルモノト看做スコトトセリ(第二七一條故ニ商法第二百七十一條ニ依リ承諾ノ推定ヲ受クヘキ場合ハ左ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス

- 一 申込者ハ平常取引ヲ爲ス者タルコト
- 二 商人カ營業ノ部類ニ屬スル契約ノ申込アリタルコト

三 申込ニ對シ遲滯ナク諾否ノ通知ヲ發セザリシコト

抑モ商法ノ規定タルヤ之ヲ純理上ヨリ論スルトキハ其當ヲ得タルモノニ非ス契約ハ當事者ノ意思ノ合致ナリ意思ノ合致ナクンハ契約ナシ商法第二百七十一條ハ申込ヲ受ケタル者ノ意思ニ反シテ契約ヲ成立セシムルモノニシテ理論上契約ト稱スルコトヲ得ス然レトモ之ヲ實際ニ徵スルニ商法上ノ取引ニ於テ商人カ平常ノ取引先ヨリ其營業ニ關シ契約ノ申込ヲ受ケタル場合ニ於テ商人ハ必ス申込ニ對シテ諾否ヲ回答スヘキ義務アルモノトシ若シ此等ノ義務ヲ怠リタルトキハ損害賠償ニ代ヘ契約ハ完全ニ成立シタルモノト看做スハ不當ナラサルノミナラス毫モ弊害ヲ生スルコトナク且ツ取引先ニ對スル商人ノ信用ヲシテ確固ナラシメ取引ヲシテ迅速ナラシムル等種種ノ利益ノ伴フアルヲ以テ理論ノ如何ニ拘ラス實際ノ便利ヲ計リ此ノ如キ推定ヲ設ケタルナリ

第三 物品ノ保管ニ關スル規定

近來商業發達シ取引ノ頻繁ト爲ルニ隨ヒ商業上ノ機敏ヲ尙ヒ商業取引ハ一ニ信用ヲ基礎トシ之ヲ重スルニ至レリ今日ノ實際ニ於テ商人ハ商取引ヲシテ迅



速ナラシメシカ爲メニ契約ノ申込ト同時ニ相手方ヲ信任シテ商品ヲ送付スル
 コト多シ此場合ニ於テ相手方若シ其申込ヲ拒絶シタリトモシカ民法ノ規定ニ
 依レハ相手方ハ其商品ヲ留置スルノ權利ヲ有セス又其物品ヲ保護シ若クハ送
 還スルノ義務ヲ負擔スルコトナシ果シテ此ノ如クシハ商業ノ迅速及ヒ商業上
 ニ於ケル信用關係ノ發達ハ得テ望ムヘカラス加之物品ヲシテ無益ニ荒廢セシ
 ムルハ公益上有害ニシテ且ツ今日ノ實際ニ於テモ其商品ヲ保管セシムルノ慣
 例多キヲ以テ商法ニ於テハ民法ノ規定ニ拘ラス商人カ其營業ノ部類ニ屬スル
 契約ノ申込ヲ受ケ且ツ此申込ト共ニ物品ヲ受取リタルトキハ縱令其申込ヲ拒
 絶シタルトキト雖モ其物品ヲ保護スヘキ旨ヲ規定セリ(第二七二條) 然レモ商人
 物品保管ノ義務ニ相牽連シテ生スヘキ問題アリ物品保管ノ費用ハ何人カ之ヲ
 負擔スヘキヤ契約ノ申込者之ヲ負擔スヘキカ或ハ其相手方ニ於テ負擔スヘキ
 カノ問題はナリ元來物品ヲ受取リタル者ニ對シ其物品ヲ保管スヘキ義務ヲ負
 擔セシメタルハ商業ノ迅速及ヒ信用ヲ尙フノ理由ニ基クモノナリト雖モ物品
 ヲ受取リタル者ヲシテ保管ノ費用ヲ負擔セシムヘキ理由ナキノミナラス物品

ヲ受取リタル者ヲシテ其費用ヲ負擔セシムルコトトセハ弊害ヲ生スルノ虞ナ
 リ且ツ物品ノ所有者ハ其所有ニ係ル物品ノ費用ヲ負擔スヘキハ至當ノ事ニシ
 テ物品ヲ受取リタル者ハ自己ノ費用ヲ以テ其物品ヲ保管スルノ必要ナク申込
 者ノ費用ヲ以テ保管スヘキモノトス是レ商法第二百七十二條ニ申込者ノ費用
 ヲ以テ云云ノ規定アル所以ナリ 然レモ商人カ其營業ノ部類ニ屬スル
 以上述ヘタル物品保管ノ義務ニ關スル原則ニ二箇ノ例外アリ是レ商法第二百
 七十二條但書ノ規定スル所ナリ申込ト同時ニ物品ヲ送付ヲ受ケタル者ハ其物
 品ヲ保管スヘキ義務アリト雖モ保管ノ義務ヲシテ絕對的ナラシムルトキハ時
 トシテ保管人ニ損失ヲ來スノ虞アルヲ以テ商法ハ二箇ノ例外ヲ認メタリ

第一 物品ノ價額カ費用ヲ價フニ足ラサルトキ

第二 商人カ其保管ニ因リテ損害ヲ受クヘキトキ

第一ノ例外ノ場合ニ於テ物品ノ價額ニ比シ保管ニ要スル費用夥多ナルニ由リ
 其物品ノ保管ハ一方ニ於テ所有者ニ利益ナキノミナラス他方ニ於テ徒ニ保管
 者ヲシテ義務ヲ負擔セシムルモノナルヲ以テ此場合ニ於テハ物品ヲ受取リタ

ル者ヲシテ保管ノ義務ヲ免レシムルコトトセリ
第二ノ例外ニ付テハ別ニ説明ヲ要セス物品ヲ受取リタル者ヲシテ損害ヲ受クヘキ時ト雖モ猶ホ其物品ヲ保護スヘシトスルトキハ所有者ニ取リテハ極メテ利益ナリト雖モ相手方ニ對シテハ苛酷ニ失シ當事者ノ一方ヲ保護スルコト厚キノ嫌アルヲ以テ原則ノ例外ヲ設ケ保管ノ義務ヲ負ハサルコトトセリ

第七節 多數當事者ノ債權

本節ニ於テ論セント欲スルモノハ連帶債務及ヒ保證債務ニ關スル民法ノ例外ナリ今先ツ連帶債務ニ關スル例外ヲ述ヘントス
民法第四百二十七條ノ規定ニ依レハ數人ノ債務者アル場合ニ於テ別段ノ意思表示ナキトキハ各債務者ハ平等ノ割合ヲ以テ債務ヲ負擔スヘキモノニシテ各債務者カ連帶シテ債務ヲ負擔スヘキ場合ハ左ノ二箇ノ場合アルノミ即チ
第一 法律カ連帶シテ債務ヲ負擔スルコトヲ命スルトキ 例ヘハ民法第七百十九條ノ如キ當事者ノ意思ニ拘ラス法律カ連帶シテ其實ニ任スヘキコ

トヲ定メタルトキ

第二 當事者カ連帶シテ債務ヲ負擔セントスル意思ヲ表示シタルトキ
是レ民法ノ規定ニシテ民法ハ連帶ヲ推定セサルヲ以テ原則トセリ近來社會ノ進歩ニ伴ヒ多數ノ債務者アル場合ニ於テ民法ノ規定トシテモ猶ホ連帶ヲ推定スルノ當ヲ得タルモノナルコトヲ主張スル者多シ殊ニ商法ノ如キ商業ノ發達ヲ保護スヘキ法律ノ規定トシテ連帶ヲ推定スルハ債務ノ履行ヲ鞏固ニシ取引上ノ信用ヲ増シ商業ノ安全ヲ保護スル所以ナルヲ以テ民法ニ於テハ連帶ヲ推定セサルニ拘ラス商法ニ於テハ連帶ヲ推定スルコトトセリ而シテ商法ニ於テ連帶ヲ推定スヘキ場合ハ左ノ如シ(第二七三條第一項)

第一 多數債務者全員ノ爲メニ商行爲タル行爲ニ因リ債務ヲ負擔シタルトキ
第二 多數債務者中ノ一人ノ爲メニ商行爲タル行爲ニ因リ債務ヲ負擔シタルトキ
以上ハ連帶債務ノ推定ニ關スル規定ナリ以下保證債務ニ關シテ連帶ヲ推定スヘキ

持場合ヲ説明セシメテ通常ノ保證債務ニ於テハ一般ノ債務ニ於テ連帶ヲ推定セラルト同シク連帶ノ推定ナキヲ以テ原則トス是レ民法第四百五十二條及ハ第四百五十三條ノ規定アル所以ニシテ保證人ハ(第一)ニ先ヅ主タル債務者ニ催告スヘキ旨ヲ請求スルノ權利ヲ有シ(第二)ニ檢索ノ利益ヲ有スルモノナリ

商業上ノ關係ニ於テハ商取引ヲシテ鞏固ナラシメ信用ヲ増進シ取引ヲ迅捷ナラシムルコトヲ力メタルハカラス故ニ保證債務ニ付テモ亦一般ノ債務ニ於ケルト同シク當事者間ニ反對ノ意思表示ナキ限ハ連帶ヲ推定スルヲ可トス

商法第二百七十三條第二項ハ此趣旨ニ外ナラズ同條ノ規定ニ依リ連帶ヲ推定スルキ場合ハ左ノ如シ

第一項 主タル債務ヲ發生セシメタル行為カ主タル債務者ニ對シテ商行爲ヲ爲シタルキハ保證自身ハ商行爲ナルト否トヲ問ハズ主タル債務者及ヒ保證人共ニ連帶ヲ推定ス

第二項 主タル債務者ノ行為カ商行爲ナルト否トヲ問ハズ主タル債務者及ヒ保證人共ニ連帶ヲ推定ス

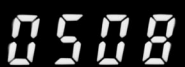
第三項 保證自身カ商行爲ナルトキ主タル債務者ノ行為カ商行爲ナルト否トヲ論ゼズ連帶ヲ推定ス

以上列記シタル二箇ノ場合ニ於テハ主タル債務者及ヒ保證人カ各別ノ行為ヲ以テ債務ヲ負擔シタルトキト雖モ仍ホ連帶ヲ推定スルモノトセルニ拘ラス商法第二百七十三條第一項ノ場合ニ於テ各債務者カ各別ノ行為ヲ以テ債務ヲ負擔シタルトキハ連帶ヲ推定セサルモノトセリ是レ債務ノ性質ヨリ生スル區別ニシテ通常ノ債務ニ於テハ同一ノ行為ニ因リ發生シタル債務ノ外其債務ハ互ニ相關連スルモノナリト推定スルハ不當ノ事ナリ之ニ反シテ保證債務ハ從タル債務ニシテ主タル債務ニ伴ヒ必ス之ト關係ヲ有スルモノニシテ主タル債務ト從タル債務トハ各別ノ行為ニ因リテ發生シタル場合ニ於テモ仍ホ其間ニ主從ノ關係ヲ有スルモノナリ故ニ此主從ノ關係アル債務間ニ連帶ヲ推定スルハ不當ノ事ニ非サルナリ

連帶及ヒ連帶保證ノ效力ハ民法第四百三十二條以下第四百四十五條及ヒ第四百五十四條ノ規定スル所ニシテ別ニ説明ヲ要キス

第八節 報 酬

商法施行法 總論 報 酬



他人ノ爲メニ法律行爲ヲ爲シ若クハ他人ノ爲メニ勞役ニ服スル場合ニ於テ報酬ニ關スル特約ナキトキハ其行爲者ハ報酬ヲ請求スルコトヲ得ヘキヤ否ヤノ問題ニ付テハ民法ハ概括的ノ規定ヲ設ケス然レトモ民法第六百四十八條ノ規定他人ノ爲メニ法律行爲ヲ爲シタル場合及ヒ同第六百五十六條ノ規定他人ノ爲メニ法律行爲ニ非サル行爲ヲ爲シタル場合ヲ觀ルトキハ特約アルニ非ザレハ其行爲ニ對スル報酬ヲ請求スルコトヲ得ナルモノノ如シ抑モ商人カ資本ヲ投下シ勞力ヲ費シテ營業ヲ營ムハ皆營利ノ爲メニシテ營利ノ目的ナクシハ之ヲ商トシスルコトヲ得サルモノナリ此ノ如キ營利ノ觀念ハ商事ニ缺クヘカラサルモノナルヲ以テ苟モ營業ノ範圍内ニ於テ他人ノ爲メニ或行爲ヲ爲シタルトキハ亦營利ノ目的ヲ以テ爲シタルモノナリト看做スラ至當トス是レ商法第二百七十四條ニ於テ反對ノ特約ナキ場合ニ於テハ行爲者ハ報酬ヲ請求スルノ權利アルコトヲ規定セル所以ナリ

第九節 利息

商行爲ハ常ニ營利ヲ目的トスルモノナリ而シテ商事ニ於テハ金錢ノ利用頻繁ナルヲ以テ商法ニ於ケル法定利率ハ民法ニ於ケル法定利率ニ比シ高利ナラシムルノ必要アリ是レ商法第二百七十六條ニ於テ法定利率ヲ六分トシ民法上ノ法定利率ニ比シ一分ヲ高メタリ

新商法ハ法定ノ利率ノ外向ホ法定利息ヲ請求スルコトヲ得ヘキ場合ニ關シ民法ノ例外ヲ設ケ商法第二百七十五條ニ於テ之ヲ規定セリ法定利息ヲ請求スルコトヲ得ル場合ハ民法ノ一般規定ニ依ルモノノ外左ノ二ノ場合トス

第一 商人間ニ於テ金錢ノ消費貸借ヲ爲シタルトキ

第二 營業ノ範圍内ニ於テ他人ノ爲メニ金錢ノ立替ヲ爲シタルトキ
 金錢ノ消費貸借ヲ爲シタル場合ニ於テ民法ノ規定ニ依レハ別段ノ意思表示ナキ限ハ無利息ナルヲ原則トス然レトモ商人間ノ關係ニ於テ特約ナシト雖モ借主ヲシテ利息ヲ支拂ハシムルハ當事者ノ意思ニ適合スルヲ以テ商法第二百七十五條第一項ニ於テ貸主ノ請求權ヲ認メタリ

民法ノ規定ニ依レハ商人カ其營業ノ範圍内ニ於テ他人ノ爲メニ金錢ノ立替ヲ



爲シタル場合ニ於テ立替ノ日ヨリ直チニ法定利息ヲ請求スルコトヲ得テ其法定利息ヲ請求スルヲ得ルニハ先テ債務者ニ對シテ催告ヲ爲ササルヘカラス是レ民法第四百十九條ノ規定スル所ナリ然レモ商業上ノ關係ニ於テハ金錢ノ利用頻繁ニシテ金錢アレハ之ニ利息ノ伴フテ普通ノ狀況ナルヲ以テ商人カ立替ヲ爲シタルトキハ之ニ因リ不當ニ他人ヲ利益セシムヘキ理由ナキヲ以テ商人ニ對シ立替ノ日以後ノ法定利息ヲ請求スルコトヲ得セシメタリ(第二七五條第二項) 商人間ニ於テ金錢ノ借貸關係ニ於テハ之ニ依リテ

第十節 質權

質權トハ債權ノ擔保ノ爲メニ存在スル物權ノ一種ニシテ債權者ハ一定ノ目的物ヲ占有シ他人ノ債權者ニ先テテ辨濟ヲ受クルノ權利アリ質權者ハ常ニ質物ヲ占有セサルヘカラス占有ナル要素ハ質權ニ缺クヘカラスアルモノナリ而シテ質權者ハ其質物ニ付キ他人ノ債權者ニ先テ支拂ヲ受クル權利アリト云フト雖モ此權利ハ常ニ行使スルコトヲ得ヌシテ單ニ債務ノ辨濟期ニ於テ主タル債務人

履行ヲ受ケサル場合ニ於テ始メテ之ヲ行使スルコトヲ得ヘシ質權ノ定義性質效力等ニ關シテハ之ヲ民法ノ說明ニ譲リ茲ニハ唯其效力ニ關シテ一言セントス

質權ノ設定ニ因リテ質權者ノ取得スヘキ主タル權利ハ左ノ如シ

一 占有權 占有權ノ何タルヤハ民法第八十條ノ規定スル所ナリ民法第三百四十二條ノ規定ニ依レハ原則トシテ占有ハ質權ノ成立ニ缺クヘカラスアルモノナリ隨テ質權ノ成立ト共ニ其目的物ノ占有ハ必ス質權者ノ掌中ニ屬スルモノト謂ハサルヘカラス隨テ其占有ヲ侵害シタル者アルトキハ質權者ハ自己ノ名義ヲ以テ占有回收訴訟ヲ行使スルコトヲ得ヘシ

二 使用權 原則トシテハ質權者ハ其質物ノ上ニ使用權ヲ有スルコトナシ換言スレハ使用權ハ通常質權ノ效果ト稱スルコトヲ得ス然レトモ民法第三百五十六條ノ規定ヲ見ルニ不動産質ニ付テハ質權者ハ其質物ヲ使用シ收益スルノ權利ヲ有スルモノノ如シ一方ニ於テ不動産質權者ニ使用權ヲ與フルト同時ニ他方ニ於テ質權者ヲシテ其債權ノ利息ヲ請求スルコトヲ得サラシムルハ沿革的ノモノニシテ今日歐洲諸國ニ於テモ亦此ノ如キ制度ヲ採用セル



モノ多シ之ヲ要スルニ民法第三百五十六條ニ掲クル不動産質ノ場合ニ於テハ反對ノ契約ナキ限ハ使用權ハ質權ニ伴フモノナリ

三 留置權 質權者ハ債務ノ辨濟ヲ受クルマテハ其質物ヲ留置スルノ權利ヲ有スレ民法第三百四十七條ノ規定スル所ナリ

四 競賣ノ方法ニ依ル賣却權 賣却權ハ質權ノ效果中最モ主ナル效果ニシテ質權ニシテ賣却權ナクンハ殆ト其用ナシト謂フモ可ナリ抑モ質權ハ占有ノ有無ニ依リテ之ヲ抵當權ト區別スルコトヲ得ヘク賣却權ノ有無ニ依リテ之ヲ留置權ト區別スルコトヲ得ヘク

賣却權トハ主タル債權カ辨償ノ時期ニ達シタルニ拘ラス債務者カ其辨濟ヲ怠リタル場合ニ於テ債權者ハ其質物ヲ賣却シ其代金ヨリシテ辨濟ヲ受クルノ權利ナリ抑モ質物ヲ賣却スル權利ヲ以テ所有者ニ非サル質權者ノ權利トシセルハ立法上如何ナル理由ニ基クモノナルカ此點ニ付キ古來學者間ニ於テ其見解ヲ異ニセリト雖モ今日ニ於テハ質權ノ性質ニ基クモノナリトノ說最モ行ハルルニ至レリ質權ニシテ賣却權ナクンハ何ソ之ヲ他ノ留置權ト區別スルノ要アラシキ賣却權ハ質權ノ主腦ニシテ其權利アルニ由リテ擔保ヲシテ益確實ナラシムルモノナリ故ニ近世諸國ノ法律ハ盡ク質權ノ制度ヲ認ムルト同時ニ賣却權ヲ以テ其主タル效果ト爲スニ至レリ

質權ハ通常其效果トシテ以上掲ケタル四種ノ權利ヲ生スルモノトス然レトモ質權者ハ右四種以外ニ何等ノ權利ヲ取得スルコトヲ得サルモノト解スヘカラズ質權者ハ法令ノ範圍内ニ於テ設定行爲ニ因リ隨意ニ此他ノ權利ヲ取得スルコトヲ得ルモノナリ

民法第三百四十九條ハ所謂流質契約ニ關スル規定ニシテ債務者若シ流質契約ヲ總括シ債務ノ辨濟期ニ於テ辨濟ヲ爲ササルトキハ質物ハ直チニ債權者ノ所有ニ歸スルモノナリ是レ羅馬ノ「レククス」コンミツソリヤニ起因セルモノニシテ我國ニ於テモ古來ノ慣習上流質契約ヲ以テ質權ニ伴フ效力ノ一ト看做シタルモノノ如シ然レトモ流質契約ノ制度タル質權者ノ爲メニハ極メテ利益アリト雖モ債務者ノ爲メニハ斷ハ失スルノ嫌アルヲ以テ近世ノ法律ハ皆明文ヲ以テ流質契約ヲ禁止セリ我民法第三百四十九條モ亦此趣旨ニ外ナラサルナリ



總テ商法第二百七十七條ノ規定ヲ見ルニ商行為ニ因リテ生シタル債權ヲ擔保
スル爲メニ設定シタル質權ニ付テ民法ニ於ケル流質契約ノ禁止ヲ解除セリ是
レ流質ノ制度タル債務者ニ對シテハ稍苛酷ナリト雖モ資本ノ流通並ニ商取引
ニ於ケル取引ニシテ迅速且ツ確定ナラシメシカ爲メ特ニ流質契約ヲ結ブコト
ヲ許セリ故ニ商法上ニ於ケル質權ノ效果トシテハ第五ノ效果トシテ流質及ヒ
競賣以外ノ方法ニ依ル競賣權ヲ加ヘタルヘカラス

第十一節 商行為ノ履行

本節ニ於テ講セントスルモノハ民法第三篇第一章中ニ規定セル債務ノ履行ニ
關スル規定ノ例外規定ニシテ商法第二百七十八條乃至第二百八十三條ニ規定
セル所ノモノナリ
法律行為ノ履行ニ付テハ先ツ當事者間ニ於ケル契約ノ約款ニ依ルヘキモノニ
シテ若シ當事者間ニ此ノ如キ契約カ明示若クハ暗黙ニ締結セラレタル場合ニ
於テ始メテ法律ノ規定ニ從フヲ以テ原則トス故ニ商行為ノ履行ニ付テモ亦當

事者ノ意思表示ナキ場合ニ限り民法及ヒ商法ノ規定ヲ適用スヘキモノナリ民
法ノ規定ニ付テハ既ニ諸君ノ知ル所ナルヲ以テ此所ニ贅セスト雖モ便宜ノ爲
メ民法及ヒ商法ノ規定ヲ對照シテ以下左ノ順序ニ從ヒ説明セントス

第一 履行ノ場所

第二 履行ノ時期

第三 債權ノ保全

第一 履行ノ場所 債務ヲ履行スヘキ場所ハ先ツ當事者間ニ於ケル明示又ハ
默示ノ契約若クハ行為ノ性質ニ從フヘキモノナルコトハ商法第二百七十八條
ノ豫想スル所ニシテ若シ此ノ如キ特約等ナキ場合ニ於テハ左ノ規定ニ從フヘ
キモノトス

一 特定物ノ場合 特定物ノ場合ニ於テハ商行為ヲ爲シタル當時其物ノ存在
セシ場所ヲ以テ履行ノ場所トス(第二七八條第一項)
民法第四百八十四條ノ規定ヲ見ルニ特定物ノ引渡ハ債權發生ノ當時其物ノ存
在セシ場所ニ於テ之ヲ爲スヘキモノナリ然ルニ商法第二百七十八條ニ於テハ

行爲ノ當時其物ノ存在シタル場所ニ於テ履行スヘキモノナルヲ定メタリ
 此ノ如ク民法ト商法ト其規程ヲ異ニスルハ如何ナル理由ニ基クモノナルカ予
 ノ解スル所ニ據レハ民法ノ規定ハ衡平ニ重キヲ置キ商法ノ規定ハ便宜ニ重キ
 ヲ置キタル結果ニシテ民法ニ於テ當事者ノ意思ヲ推測スルニ當リテハ成ルヘ
 ク各當事者ニ對シテ衡平ナラシメシメテ思ヒ商法ニ於テハ之ニ反シテ各當
 事者ニ對シテ便利ナラシメシメシメテ思ヒ此ノ如キ規定ヲ異ニス
 ルノ必要ヲ生セリ

二 不特定物ノ場合 不特定物ノ場合ニ於テハ債權者ノ現時ノ營業所ニ於テ
 履行ヲ爲スヘク若シ營業所ナキトキハ債權者ノ住所ヲ以テ履行ノ場所トス第
 二七八條第一項

民法第四百八十四條ノ規定ニ依レハ不特定物ノ給付ヲ目的トスル債務ハ債權
 者ノ現時ノ住所ニ於テ之カ履行ヲ爲スヘキモノナリ然ルニ商行爲ヨリ生シタ
 ル債務ニシテ不特定物ヲ目的トスルモノニ付テハ民法ノ原則ヲ離ルルニ必要
 アルカ故ニ商法第二百七十八條ノ規定アリ抑モ商行爲ノ場合ニ在リテハ少ク

トモ當事者ノ一方ハ商人ナルコト多シ而シテ商人ハ其營業所ヲ以テ營業ノ中
 心ト爲スモノナルヲ以テ營業所アル場合ニ於テハ先テ其營業所ニ於テ履行ス
 ルヲ至當トス若シ營業所ニ於テ履行スルコトヲ許サザラシカ債務ノ履行ハ常
 ニ債權者ノ現時ノ住所ニ於テ爲ササルヘカラス此ノ如キハ當事者雙方ニ對シ
 テ不便ナルノミナラス營業所ノ性質ニ反スル嫌アリ且ツ營業所ヲ以テ債務履
 行ノ場所ト定ムルモ毫モ當事者ニ不利ヲ來ササルヲ以テ我商法ハ獨逸商法ノ
 規定ニ倣ヒ債權者ニシテ營業所ヲ有シタルトキハ履行當時ノ營業所ニ於テ債
 務ヲ履行スヘク債務者ニシテ營業所ヲ有セザルトキハ民法ノ原則ニ立戻リテ
 其住所ニ於テ履行スヘキコトヲ定メタリ

以上述ヘタル所ハ債務ノ履行ニ關スル一般ノ原則ナリ此原則ニ付キ一ノ例外
 アリ是レ商法第二百七十八條第二項ノ規定スル所ニシテ指圖債權無記名債權
 及ヒ民法第四百七十一條ニ規定セル債權ニノミ適用スヘキモノナリ抑モ債權
 ハ之ヲ讓渡ノ點ヨリ觀察スルトキハ左ノ四種ニ區別スルコトヲ得ヘシ

(一) 指名債權 即チ債權者ヲ指名セル債權

(一) 指圖債權 即チ債權者又ハ債權者ノ指圖人ニ對シテ履行スヘキ債權
 (二) 無記名債權 即チ債權者ヲ指名セス單ニ證書ノ所持人ニ對シテ履行ス
 (三) 有記名債權 即チ債權者ヲ指名セシテ對シテ履行ス
 (四) 民法第四百七十一條ニ規定セル債權 即チ證書ニ債權者ヲ指名スルト
 雖モ其證書ノ所持人ニ對シテモ仍ホ履行スヘキ旨ヲ附記シタル債權
 此等四種ノ債權ノ本質及ヒ效力ニ付テハ民法債權編ノ講義ニ譲リ茲ニハ單ニ
 其如何ナルモノナルヤヲ大略説明シタルニ過キス
 以上四種ノ債權中ニ於テ第一種ノ債權即チ指名債權ノ履行ハ債權者ノ現時ノ
 營業所ニ於テスルヲ原則トシ若シ此等ノ營業所ナキトキハ其住所ニ於テ履行
 スヘキモノナリト雖モ指圖債權無記名債權及ヒ民法第四百七十一條ニ規定セ
 ル債權ノ履行ハ債權者ノ現時ノ營業所ニ於テスルヲ本體トシ若シ其營業所ナ
 キトキハ其住所ニ於テ履行スヘキモノタルハ商法第二百七十八條第二項ノ規
 定スル所ナリ此ノ如キ債權ノ種類ニ依リ其履行ノ場所ヲ異ニスルハ各債權ノ
 性質ニ伴フ自然ノ結果ニシテ毫モ怪シムニ足ラザルナリ

指名債權ノ讓渡ハ民法第四百六十七條以下ノ規定スル所ナリ同條ノ規定ニ依
 レハ指名債權ノ讓渡ハ當事者ニ於テハ意思表示ノミヲ以テ完全ニ成立スト雖
 モ債務者又ハ其他ノ第三者ニ對シテ對抗センカ爲メニハ讓渡人ニ於テ之ヲ債
 務者ニ通知シ又ハ債權者カ之ヲ承諾スルコトヲ必要トス加之債務者以外ノ第
 三者ニ對シテ對抗センカ爲メニハ更ニ確定日附アル證書ヲ以テ通知又ハ承諾
 ヲ爲ササルヘカラス此ノ如キ指名債權ノ讓渡ヲシテ完全ナル效力ヲ有セシメ
 シカ爲メニハ種種ノ手續ヲ要スルモノナリ然レトモ社會經濟ノ進歩ニ伴ヒ財
 産ヲシテ自由ニ運轉セシムルノ必要ヲ生シ簡易ナル方法ニ依リ讓渡スコトヲ
 得ヘキ債權ノ種類ヲ生スルニ至レリ此種ノ債權中現今歐洲諸國ニ於テ盛ニ行
 ハルルモノハ指圖債權及ヒ無記名債權ノ二種ナリ
 指圖債權ノ讓渡ハ裏書ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ得ヘク別ニ債務者ノ承諾又ハ
 債務者ニ對スル通知ヲ要セザルモノナリ且ツ指名債權ニ在リテハ證書ハ單ニ
 證據物件タルニ過キスト雖モ指圖債權ニ在リテハ債權ノ範圍ハ一ニ證書ニ依
 リテ定マリ債權ノ成立ハ毫モ證書ト離ルルコトヲ得ザルモノナリ



無記名債權ノ讓渡ハ單ニ證書ノ交付ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ得ヘク裏書ノ手續ヲモ要セザルモノナリ且ツ債權ノ發生及ヒ效力ハ證書ト分離スルヲ得ヌ其證書債權タルハ指圖債權トモ異ナルトナシ

以上述ヘタル所ニ依リ指圖債權及ヒ無記名債權ヲ讓渡シタル場合ニ於テハ之ヲ債權者ニ通知スルヲ必要トセザルノミナラス此等ノ債權ハ流通スヘキ性質ヲ有スルモノナルヲ以テ債務者ハ其證書ノ何人ノ手ニ存在スルヤヲ知ラス隨テ債權者ノ營業所又ハ住所ニ於テ履行セヨメントスルハ不能ヲ強フルモノト謂ハサルヘカラス故ニ我商法ハ第二百七十八條第二項ノ規定ヲ設ケ同條第一項ノ例外ヲ設クタリ

第四種ノ債權即チ民法第四百七十一條ニ規定セル債權ハ指名債權ニ非ス無記名債權ニ非ス又指圖債權ニ非スヤテ特種ノ債權ナリ故ニ其債權ノ效力モ亦前三種ノ債權ト異ナラナルヲ得ヌ裏書ヲ要セスレテ單ニ證書ノ交付ニ依リテ移轉スルノ點ニ於テハ無記名債權ト同一ナリ又其債權者ヲ指名シタルニ拘ラス簡易ナル方法ニ依リテ移轉スルヲ得ルノ點ニ於テハ指圖債權ニ類スルモノナ

ノ此種ノ債權ノ本質ニ付テハ種種ノ説アリト雖モ予ノ解スル所ニ據レバ我民結ハ此種ノ債權ヲ以テ指名債權ナリトキヌ又指圖債權或ハ無記名債權ノ一種ナリト認メスレテ此三種ノ債權ト相對立スル特種ナル債權ナリト認メタルカ如シ且ツ我民法ノ規定ニ依レバ此種ノ債權ハ指圖債權及ヒ無記名債權ノ中間ニ位スルモノニシテ其本質ニ於テハ無記名債權モ近ク其效力ハ指圖債權ニ近キモノナリ

以上述ヘタル如ク第四種ノ債權モ亦證書ノ交付ニ依リ移轉スヘキモノナルヲ以テ債務者ハ殆ト其所持人ノ誰ナルヤヲ知ルコトヲ得ヌ故ニ無記名債權等ト同一ナル規定ヲ設クルノ必要アリ是レ商法第二百八十條ノ規定アル所以ナリ

終ニ臨ミテ履行ノ場所ニ付キ注意スヘキ一點アリ本店以外ニ營業所ヲ有スル者カ其營業所ノ一ニ於テ取引ヲ爲シタル場合ニ於テ其取引ハ孰レノ場所ニ於テ履行スヘキヤ是ナリ我商法第二百七十八條第三項ハ此場合ニ於ケル疑ヲ決セムモノナリ抑モ商人カ本店以外ニ支店ヲ設クルハ一方ニ於テハ支店附近ニ於ケル相手方ノ便益ヲ計リ一方ニ於テハ自己ノ便宜ヲ計リタルモノナリ故ニ



支店ニ於テ爲セル取引ハ其支店ヲ以テ營業所ト看做シ其支店ニ於テ履行地ト
 爲ルハ當事者ノ意思ニ適スルモナラバ以テ此ノ如キ規定ヲ生セリ
 第二 履行ノ時期 履行ノ時期ニ付テモ亦履行ノ場所ニ關スル原則ト同一
 原則行ハルルモノナリ即チ履行ノ時期ハ先ツ當事者ノ意思ニ因リテ之ヲ決ス
 ベク當事者間ニ何等ノ意思表示ナキ場合ニ於テ法律ノ規定ニ從フヘキモノ
 ナリ
 民法ノ規定ニ從フトキハ履行ノ時期ハ左ノ標準ニ依リテ決スヘキモノトシ如シ
 一 確定期限アルトキ 其期限ノ到來シタル時ニ履行スヘキモノニシテ若シ
 此時期ノ到來シタルニ拘ラス履行ヲ怠リタルトキハ別ニ何等ノ方式ヲ要セス
 シテ其期限到來ノ時ヨリ遲滞ノ責ニ任スヘキモノトス
 二 不確定期限アルトキ 不確定期限トハ其時期ノ到來スヘキコトハ確定セ
 ラト雖モ其到來スヘキ時期ノ確定セザルモノヲ意味ス而シテ此種ノ期限アル
 債務ノ履行ハ同シク其期限到來ノ日ニ於テ履行スヘキモノナリト雖モ債務者
 六 其期限ノ到來ヲ知ラサルコト多キヲミナラス時トシテハ殆ト不能ノ事トス

フテ其到來ノ日ヨリ直チニ債務者ヲシテ遲滞ノ責ニ任セザルハ苛酷ナリ
 ト謂ハサルヘカラス故ニ其期限到來シタルコトヲ知リタルニ拘ラス猶ホ履行
 セザル時ヨリ遲滞ノ責ニ任スヘキモノトセリ
 三 期限ヲ定メザルトキ 債務者ニ於テ履行ノ請求ヲ受ケタルニ拘ラス履行
 ラ爲サザルトキハ其履行ノ請求ヲ受ケタル時ヨリ遲滞ノ責ニ任ス指圖債權及
 ヒ無記名債權ニ於テモ或ハ履行ノ期限ヲ定メタルモノアリ或ハ之ヲ定メザル
 モノアリ民法ノ規定ニ依レハ期限ヲ定メタル場合ニ於テハ債權者カ履行ノ請
 求ヲ爲シタル時期ニ於テ履行スヘキモノナリ之ニ反シテ豫メ期限ヲ定メタル
 トキハ其期限到來ノ日又ハ不確定期限アルトキハ其期限ノ到來セタルコトヲ
 知リタル日ニ於テ履行スルコトヲ要ス而シテ若シ此等ノ日ニ於テ履行スルコ
 トヲ忘ランカ遲滞ノ責ニ任セザルヘカラス然ルニ既ニ述ヘタルカ如ク指圖債
 權無記名債權及ヒ民法第四百七十一條ニ規定セル債權ニ在リテハ債務者ハ其
 債權者ノ誰ナルヤヲ知ルヲ得ス隨テ其債務ヲ履行スル能ハサルナリ而シテ此
 等ノ債務者ニ對シ期限ノ到來ノ日ヨリ直チニ不履行ノ責ヲ負ハシムルハ不能



ヲ強フルモノナルヲ以テ商法第二百七十九條及ヒ第二百八十條ニ於テハ民法第四百十二條ノ除外例ヲ設ケ縱令期限ノ定メタルトキト雖モ指圖債權無記名債權及ヒ民法第四百七十一條ノ債權ハ所持人カ其證書ヲ呈示シ履行ヲ請求シタル時ヨリ遲滞ノ責ニ任スヘキコトトモリ然レモ其日ニ於テ履行ヲ請ル期間ヲ以テ定メタル期限ノ場合ニ於テ期間ノ末日カ一般ノ休業日ニ當リ且ツ其日ニ於テ取引ヲ爲ササル信習アルトキハ其翌日ヲ以テ期間満了シ隨テ其日ニ於テ期限ノ到來スルコトハ民法第四百四十二條ノ定ムル所ナリ故ニ商行爲ノ履行ニ付テモ亦此規定ノ適用ヲ免ルルコト能ハサルモノナリ

法律行爲ヲ履行スヘキ時間ニ付テハ民法中特別ノ規定ノ存在スルコトナキヲ以テ原則トシテハ債務者ハ何時ニテモ履行ヲ爲スコトヲ得ヘシ唯其例外トシテ當事者ノ意思表示ニ因リ其時間ヲ定メタル場合及ヒ債務ノ性質上或時間内ニ履行ヲ要スヘキ場合ニ於テハ其時間内ニ於テ履行スヘキモノタリ然ルニ近來文明諸國ニ於テハ商店ハ普通營業時間ヲ定メテ營業スルノ慣習アリ而シテ此等ノ慣習アルニ拘ラズ營業時間外ニ債務ヲ履行スルコトヲ許ストキハ營業

時間ヲ定メタル精神ト背馳シ債權者ハ不便者トヘカ諒サルモノアリ故ニ獨逸等ニ於テハ商法中ニ履行ノ時間ニ關スル規程ヲ設ケ普通ノ營業時間内ニ於テ履行スヘキモノト定メ英國ノ如キモ之ニ類スル判決例アリテ實際取引時間以外ニ履行スルコトナシ我國現時ノ狀況ニ於テハ各種ノ商人中營業時間ヲ定メテ取引ヲ爲ス者甚タ少ク通常ハ營業時間ヲ定ナシニ取引スル者多シ然レトモ將來ニ於テハ營業時間ヲ定メテ取引ヲ爲ス者次第ニ増加セシトスル傾向アルノミナラス地方ニ依リテハ現ニ營業時間ヲ設ケ取引ヲ爲ス慣習存在スルヲ以テ商法ハ之ニ關スル規定ヲ設ケ法令又ハ慣習ニ依リテ一定ノ取引時間アルトシハ其時間内ニ限り履行ヲ爲シ又ハ履行ヲ請求スルコトヲ得トセリ第二八三條(其中ニ其規定マデハ若シテハ其ノ場合ニ依リテハ其ノ時限ニ拘ラスコトイフ)

第三ノ債權ノ保全ノ予カ茲ニ債權ノ保全ト題シテ講セントスル所ハ指圖證券及ヒ無記名證券ニ特殊ナル規定ヲ說明ナルヲ以テ寧ろ金銭其他ノ物ヲ給付ヲ目的トスル指圖證券又ハ無記名證券ヲ保全ト題スルヲ穩當ナリトシ且モ其民法施行法第五十七條ノ規定ニ依リテ指圖證券及ヒ無記名證券ヲ無効ナラシ

ハルニハ公示催告ノ手續ニ依ルヘキモノナリ公示催告ノ如何ナルモノナルヤ
ハ訴訟法ニ讓リ茲ニ説明セスト雖モ要スルテ請求若クハ權利ノ届出ヲ爲サ
ムルノ方法ニシテ權利者ニ於テ若シ此等ノ届出ヲ爲サザルトキハ權利ヲ喪失
スルノ效果ヲ生スルモノナリ而シテ公示催告ヲ爲スコトヲ得ヘシ場合ハ各種
ノ法律中ニ其規定アリテ法律ニ定メタル場合ニ非ナレハ此手續ニ依ルコトヲ
得サルモノナリ又ハ債權者ハ其權利ノ行使ニ依リテ其債權者ニ對シテ
指圖證券及ヒ無記名證券ノ所持人カ其證券ヲ失ヒタル場合ニ於テハ公示催告
ノ手續ニ依ルコトヲ得ヘシト雖モ除權判決ノ宣言アルマテハ債務ノ履行ヲ請
求スルコトヲ得ス其履行ヲ請求スルヲ得ルニ先テ債務者ハ其目的物ヲ處分ス
ルノ恐アリ此ノ如キハ商業ノ安全ヲ妨タルモノナルカ故ニ商法ハ此場合ニ於
テ債務者ニ與フルニ債權保全ノ權ヲ以テセリ又ハ商人中債權者ハ其
債權保全ノ權トハ商法第二百八十一條ノ規定スル所ノモノニシテ債務者ハ自
己ノ選擇ニ依リテ左ノ權利ノ一ヲ行使スルコトヲ得ルハ其債權者ハ其
二債權者ヲシテ其債務ノ目的物ヲ供託セシムルノ權ヲ得ル

二、債務者ヲシテ證券ノ總旨ニ從ヒ履行ヲ爲サシムルハ權但此權利ヲ行使
イヌルニ當テラズ債務者ハ相當ノ擔保ヲ供スルニ要スルニ依リテ其
權利ヲ行使スルコトヲ得ル

第十二節 留置權

留置權ハ質權ト酷ク類似スルモノ而モ此二者ヲ混同スヘカラス民法ノ規定ニ依
リテ留置權者カ其權利ヲ行使スルニハ左ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス民法第
二九五條所定ニ依リテ其條件ハ左ノ如キニシテ之ヲ要ス

(一) 他人ノ物ヲ占有スルコトヲ得ルニ由リテ其債權者ハ其債權者ニ對シテ
(二) 其物ニ關シテ生シタル債權ヲ有スルニ由リテ其債權者ハ其債權者ニ對シテ
(三) 未タ其債權ニ付キ辨濟ヲ受ケザルコトヲ得ルニ由リテ其債權者ハ其債權者ニ對シテ

留置權ヲ行使スルコトヲ得ヘキ場合ハ債務者ノ所有スル物ト債權者ノ債權ト
カ必ス一定ノ關係ニ在ルコトヲ要ス然ルニ商業取引ヲシテ確實安全ナラシム
ルニハ其取引ノ擔保ヲ確實ナラシムルヲ可トス故ニ商法ニ於テハ民法ノ規定
ニ反シテ留置權ノ範圍ヲ擴張スルノ主義ヲ採リ商法ニ於テハ質權ノ規定ニ相



待チテ以テ取引ヲシテ確實トシタシメ下定期ニ對シテ今商法ニ於ケル留置權行使ノ必要條件ヲ舉ケレハ左ノ如シ(商法第二八四條) 商法ニ於テハ其條ノ規定ニ依リテ(一)當事者ノ雙方カ商人タルコトヲ要ス(二)其債權ハ當事者ノ雙方ニ對シテ商行為タル行為ニ因リテ生シタルコトヲ要ス(三)債權者ハ債務者トシテ商行為ニ因リテ債務者ノ所有物ヲ占有スルコトヲ要ス(四)辨濟期ノ到来セタルニ拘ラズ未タ其債權ノ辨濟ヲ受ケザルコトヲ要ス

民法ノ規定ニ依リテ留置權ノ目的タル物ト債權トノ間ニハ或關係ヲ要ストモ(一)ト雖モ商法ニ於テハ此等ノ關係ヲ必要トセス債權者ハ債務者トシテ商行為ニ因リ債務者ノ所有物ヲ占有スルコトキハ其所有物ト何等ノ關係ナキ商行為ニ因リテ發生シタル債權ノ爲メニ其物ヲ留置スルコトヲ得ルモノナリ而シテ留置權者カ商法上ノ留置權ヲ行使スルニ付キ此他民法ノ規定ト異ナリタル二箇ノ條件ノ存スルコトヲ忘ルヘカラス其一ハ當事者雙方共ニ商人タルコトヲ必要トスルモノモモテ商人間ニ非ズルハ商法上ニ留置權ハ存在スルコトヲ得ザルモノナリ其二ハ留置權ノ擔保スル債權ハ當事者雙方ノ爲メニ商行為タル行為

第十三節 時 效

ニ因リテ生シタルモノナルコトヲ要ス換言スレハ雙方の商行為ナルコトヲ必要トスルモノニシテ其一方ニ對シテ商行為ナルモノ他ノ者ニ對シテハ商行為タルナル場合ヲ包含セザルモノナリ

商法上ノ留置權ハ商取引ヲシテ確固ナラシメカ爲メニ特ニ認めラレタル制度ニシテ各商人ヲ保護セントノ主旨ニ出ツルモノナリ然レトモ商人間ニ於テ時トシテ商法上ノ留置權ノ適用ヲ受ケルヨリハ民法上ノ留置權ヲ便トスルコトアリ此場合ニ於テ特別ノ明文ナクシテ當事者ニシテ商法所定ノ條件ヲ具備シタルトキハ必ス商法上ノ留置權ノ適用ヲ受クヘキモノニシテ當事者ノ選擇ニ依リ自由ニ民法ノ規定ニ依ルコトヲ得スト解釋スルヲ穩當トス然レトモ此ノ如キ場合ニ於テ當事者ノ自由意思ヲ制限スル必要ナキヲ以テ商法第二百八十四條但書ニ於テ當事者ノ自由意思ヲ認メタリ



法第六十七條乃至第七十四條ノ規定ニ於テハ債權ノ種類ニ依リ時效ヲ異ニスト雖モ第六十九條以下ノ規定ニ包含セラレル債權ニ非ナルヨリハ其他ノ債權ハ十年ノ時效ニ因リテ消滅スヘキモノナリ然レトモ商業上ノ取引ニ於テハ迅速ヲ尙フヲ以テ取立ツヘキ債權アラハ迅速ニ之ヲ取立ツヘキニ拘ラス之ヲ拋擲スルハ債權者ノ過失又ハ怠慢ト稱スルヲ得ヘク尙ホ商事ニ於テハ民事ニ比シ債權利ヲシテ長ク不確實ノ情態ニ在ラシムヘカラサルノ必要アルヲ以テ民法上ノ時效ヲ短縮セラルヘカラス故ニ我商法ハ第二百八十五條ヲ以テ之カ規定ヲ設ケ商行爲ニ因リテ生シタル債權本法ニ於テ別段ノ規定アル場合ノ外ハ五年間行使セサルニ因リテ消滅スルコトヲ明カニセリ且ツ本條ノ規定ハ可成早ク權利ヲシテ確定ナラシメントノ主旨ニ外ナラサルヲ以テ他ノ法令中ニ五年ヨリ短キ時効ノ定アル場合ニ於テモ猶ホ商法ノ規定ニ依リ五年ノ時効ニ據ラシメントスルハ其精神ニ於テ前後矛盾スルモノト謂ハサルヲ得ス故ニ商法第二百八十五條但書ヲ以テ此場合ニ關スル規定ヲ設ケタリ

第二章 賣 買

賣買ニ關スル精細ナル諸點ハ民法ノ範圍ニ屬スルヲ以テ茲ニ贅ヒスト雖モ商事ニ於ケル賣買ナルモノハ民法ニ於ケル賣買ト其性質ヲ異ニスルモノニ非ナルカ故ニ商法ニ於テ賣買ヲ論スルニ當リテハ勢ヒ民法ノ規定ヲ參酌スルノ必要アリ予カ本章ヲ論スルニ當リテハ力メテ民法上ノ賣買ニ關スル説明ヲ避クヘシト雖モ間ニ枝葉ニ涉リテ論議スルノ已ムヲ得サルコトアリテ民法ノ講義ト重複スルノ嫌アルコトアルヘシ幸ニ諒セヨ

第一節 總論

第二節 買主ノ義務

第三節 賣買契約ノ解除

第一節 總論

(第一) 定義 買賣ノ如何ナルモノナルヤハ民法第五百五十五條ノ規定スル所ナリ同條ニ依レハ買賣トハ當事者ノ一方カ或財產權ヲ相手方ニ移轉シ相手方ハ之ニ對シテ代金ヲ拂フコトヲ約スル契約ナリ此定義ニ從ヘハ買賣ノ目的物ハ必ス財產權及ヒ代金ナラサルヘカラス苟モ財產權タルモノハ明カニ之カ讓渡ヲ禁止シタル場合ヲ除クノ外買賣ノ目的物ト爲ルヲ得サルモノナシ古來未ダ債權ノ讓渡ヲ認メサル時代ニ於テハ買賣ノ目的物ハ財產權ナリト謂フハ廣キニ失スルノ嫌アリト雖モ我民法ハ原則トシテ債權ノ讓渡ヲ認メタルノミナラス著作權、專賣權等ノ如キ無形ノ權利ノ移轉ヲ認メタルカ故ニ廣ク財產權ナリト云フハ不當ノコトニ非サルヘシ

買賣當事者ノ一方ハ財產權ヲ移轉シ相手方ハ反對給付トシテ金錢ヲ支拂ハタルヘカラス代金ナル觀念ハ買賣ニ缺クヘカラサル所ニシテ之ニ由リテ雇傭交換請負等ト區別スルコトヲ得ヘシ而シテ代金トハ對價トシテ交付スヘキ金錢ヲ意味スルモノナリ故ニ或財產權ノ移轉ニ基キ相手方ニ對シテ金錢ヲ支拂フコトアリト雖モ對價トシテ支拂フニ非サレハ買賣ト稱スルコトヲ得ス是レ負

擔附贈與ト異ナル所ナリ茲ニ注意スヘキハ代金ノ數量ハ必スシモ契約當時ニ於テ定マルコトヲ要セス買賣契約ノ當時ニ於テ代價ノ數量ヲ確定セス更ニ後日ニ於テ第三者ヲシテ其價格ヲ定メシメ若クハ市價ニ應ジテ代金ヲ支拂ハント約スルカ如キハ毫モ賣買タルノ要件ヲ缺クモノニ非サルナリ

(第二) 性質 以上述べタル所ニ依レハ買賣契約ノ要素ハ(一)財產權(二)代金(三)合意ニシテ若シ其一ヲ缺ケハ最早賣買契約ニ非サルナリ

(一) 賣買契約ハ諾成契約ナリ 諾成契約トハ單ニ當事者ノ意思ハ合致ニ因リテ成立スルモノニシテ契約ノ成立ニ關シ何等ノ方式ヲ要セサルモノナリ諾成契約ナル語ハ羅馬法以來行ハルル所ニシテ書面契約口頭契約及ヒ要物契約ニ對峙スルノ語ナリ古來社會ノ幼稚ナル時代ニ於テハ舉證及ヒ公示ノ方法不完全ナルヲ以テ勢ヒ方式ニ重キヲ置カサルヲ得ス然レトモ今日世運ノ進歩ニ伴ヒ舉證及ヒ公示ノ方法完備スルニ至リテハ方式ニ拘泥スルノ必要ナク隨テ今日ニ於テハ諾成契約ノミ行ハレ書面契約口頭契約及ヒ要物契約ハ僅ニ例外トシテ存スルノミ民法第五百五十五條ノ規定ヲ觀ルニ當事者ノ一方ハ相手方ニ對



シ財産權ヲ移轉シ相手方ハ之ニ對シテ代金ヲ拂フコトヲ約スルニ因リテ其效力ヲ生スルモノニシテ別ニ物ノ引渡若クハ書面ノ方式ヲ要セスシテ成立スルモノナルカ故ニ其諾成契約タルコト明カナリ

(二) 買賣契約ハ雙務契約ナリ 雙務契約トハ其契約ノ效果トシテ契約當事者雙方ニ對シ債務ヲ發生セシムルモノナリ民法第五百五十五條ニ依レハ當事者ノ一方ハ財産權ヲ移轉シ相手方ハ代金ヲ拂フヘキモノナルヲ以テ多數ノ場合ニ於テハ其雙務契約ナルコト疑ナシト雖モ特定物ヲ目的トスル賣買ニ在リテハ雙務契約ニ非スト主張スル者アリ然レトモ特定物ノ賣買ト雖モ必ス先ツ債權ヲ發生シ權利ヲ移轉スルノ義務ヲ生スルモノタリ唯其目的物ニシテ特定物ナルトキハ債權ノ發生ト共ニ其目的物ニ關スル權利ノ移轉ハ履行セラレタルニ過キス且ツ賣主ハ此他目的物引渡ノ義務及ヒ擔保ノ義務アルニ於テハ其雙務契約タルコトハ多辯ヲ要セスシテ明カナリ

第二節 買主ノ義務

既ニ述ヘタル如ク買賣契約ハ雙務契約ナリ隨テ買主及ヒ賣主ノ雙方ニ對シ權利ヲ與ヘ義務ヲ負擔セシムルヲ原則トス而シテ賣買契約ノ效力下シテ生スル權利義務ノ種類ハ數多アリト雖モ要ハ買主ヲシテ財産權ヲ取得セシメ賣主ヲシテ代金ヲ受取ラシムルニ在リ今主要ナル賣主及ヒ買主ノ義務ヲ舉クレハ

第一 賣主ノ義務

- 一 權利移轉ノ義務
- 二 權利ノ目的物アル場合ニ於テハ其引渡ノ義務
- 三 權利ノ目的物アル場合ニ於テハ其保存ノ義務
- 四 擔保ノ義務

(一) 權利移轉ノ義務トハ買賣契約ノ最モ主要ナル效力ノ一ニシテ買主ノ主ト

シテ目的トスル所ノモノナリ賣主ニ權利移轉ノ義務アルコトハ民法第五百五十五條ノ豫想スル所ニシテ賣主ハ其權利ヲ移轉スルニ付キ必要ナル行為ヲ爲スノ義務アルモノナリ

(二) 目的物引渡ノ義務ハ買賣契約ニ目的物アル場合ニ於テ始メテ存在スルモ

(一) ノナリ而シテ目的物ノ引渡ニ因リテ種種ノ效力ヲ生スルカ故ニ此種ノ義務モ亦稍、主要ナルモノナリ而シテ引渡ノ方法時期場所及ヒ費用ニ付テハ民法第四百八十三條乃至第四百八十五條及ヒ第五百七十三條第五百七十四條等ノ規定アリ

(二) 目的物保存ノ義務ハ民法第四百條ノ規定スル所ニシテ賣主ハ其目的物ヲ引渡スマテ善良ナル管理人ノ注意ヲ以テ其物ヲ保存セサルヘカラサルモノトス

(四) 擔保ノ義務ハ民法第五百六十一條以下ノ規定スル所ナリ賣主ハ買主ニ對シテ賣買ノ目的タル權利ヲ完全ニ移轉スルノ義務アルニ拘ラス賣主ニシテ其義務ノ履行ヲ怠リタルコトアラシカ買主ニ對シテ擔保ノ責ニ任セサルヘカラス而シテ賣主カ其擔保ノ責ニ任スヘキ場合ハ

- (甲) 追奪擔保 賣主カ賣買ノ目的タル權利ヲ完全ニ移轉セサルニ因リテ賣主ノ權利ニ欠缺ヲ生スル場合ニ於テ發生スル義務ニシテ賣主ノ義務不履行ノ結果ニ外ナラサルモノナリ

(乙) 瑕疵擔保 賣主ハ買主ニ對シテ完全ナル目的物ヲ移轉スヘキ義務アル人間モノトス然ルニ買主ニ對シテ瑕疵アル物件ヲ移轉シタルトキハ其物件移

轉スル時義務ヲ履行セサルモノニシテ買主ニ對シテ責任ヲ負擔セサルヘカラズ此義務ヲ稱シテ瑕疵擔保ノ義務ト謂フニ此義務ハ買主ノ義務ニ屬ス

第二條 買主ノ義務 一、買主ハ其買得タル物ニ對シテ、民法第四百條ノ規定ニ從テ、

一、代金支拂ノ義務 買主ハ買得タル物ニ對シテ、民法第四百條ノ規定ニ從テ、代金支拂ノ義務ヲ負フ

二、目的物ヲ受取ルノ義務 買主ハ買得タル物ニ對シテ、民法第四百條ノ規定ニ從テ、目的物ヲ受取ルノ義務ヲ負フ

三、目的物ヲ受取ルノ義務 買主ハ買得タル物ニ對シテ、民法第四百條ノ規定ニ從テ、目的物ヲ受取ルノ義務ヲ負フ

供シテ買主ヲ運掃ノ責ニ任キシキルコトヲ得
 以上ヲ以テ民法ノ規定ニ依ル賣主及ヒ買主ノ主要ナル義務ヲ略述セリ是ヨリ
 更ニ歩ヲ進メテ商法ニ於ケル民法ノ規定ノ例外ヲ説カントス主ハ其細則ニ
 一 擔保ニ關スル規定 民法第五百六十三條第五百六十五條及ヒ第五百七十
 條ノ規定ヲ觀ルニ目的物ニ瑕疵アルトキ又ハ其數量不足ナル場合ニ於テハ買
 主ハ賣主ニ對シテ契約ヲ解除シ若クハ代金減額又ハ損害賠償ヲ請求スルコト
 ヲ得ヘシ而シテ買主カ契約ノ解除又ハ代金減額若クハ損害賠償ヲ請求ヲ爲ス
 コトヲ得ヘキ期間ハ民法第五百六十四條ニ依リ買主カ善意ナル場合ニ於テハ
 事實ヲ知リタル日ヨリ一年内ニ其惡意ナル場合ニ於テハ契約ノ日ヨリ一年内
 ニ行使セサルヘカラス然レトモ此ノ如キハ權利ヲシテ永ク不確定ナル狀態ニ在
 ラシメ且ツ取引ノ安全ヲ妨ケルノ虞アルカ故ニ其權利ノ行使ニ付キ買主ヲ制
 限スルハ其宜キヲ得タルモノナリ乃チ商法ハ第二十八條第一項ヲ以テ商
 人間ノ賣買ニ限リ買主ハ其目的物ノ引渡ヲ受ケルキ否直チニ其目的物ヲ検査
 スルノ義務ヲ負擔セシメ而シテ若シ其目的物ニ瑕疵アルコト又ハ數量ニ不足

アルコトヲ發見シタル場合ニ於テハ直チニ買主ニ對シテ其旨ヲ通知スルノ義
 務アルコトヲ定メタリ買主ニ於テ若シ此等ノ義務ヲ怠リ目的物ヲ受取リタル
 後遲滯ナク検査ヲ行ハス又ハ瑕疵アルコトヲ發見スト雖モ賣主ニ通知ヲ發セ
 タルトキハ制裁トシテ賣主ニ對シテ契約ノ解除代金ノ減額又ハ損害賠償ノ請
 求ヲ爲スコトヲ得サラシメタリ
 然レトモ前述検査ノ義務ヲシテ絕對的ニシテ且ツ速時ニ爲スヘキモノトセハ
 受取人ニ對シテ苛酷ニ失スルノ場合ナシトセス目的物ニ隠レタル瑕疵アル場
 合ニ於テハ通常ノ検査方法ニ依リ容易ニ瑕疵ヲ發見スルコトヲ得ヌ受取人ニ
 シテ速時ニ瑕疵ヲ發見スルニ非サレバ救済ノ方法ナシトスルハ受取人ニ對シ
 テ苛酷ナリト謂ハサルヲ得ヌ受取人ハ元來民法ノ規定ニ依リシ検査ノ義務ナ
 キニ拘ラス商人間ノ賣買ニ於テ可成速ニ權利ヲ確定セ後日ニ至リテハ擔保ヲ
 請求スルコトヲ得サラシムルコトヲ必要トシ特ニ商法ニ於テハ検査ノ義務ア
 ルコトトセリ然レトモ隠レタル瑕疵アル場合ニ於テハ多クハ普通ノ検査方法
 ニ依リテハ之ヲ發見スルコトヲ得ヌ商人ヲシテ物品ヲ受取ルキ否直チニ精細

ナル検査ヲ爲スヘキモノトスルハ時ヲシテ不能ナルハ買主ハ商業ノ迅速ヲ妨害スルノ弊アリ故ニ隠レタル瑕疵ニ付テハ六箇月内ニ発見シタル場合ニ於テ直チニ其旨ヲ賣主ニ通知シタルトキハ契約ノ解除代金減額若シハ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得トノ規定アルナリ

以上述ヘタル所ハ賣主カ善意ナル場合ノ規定ナリ買主ヲシテ目的物ヲ受取ルヤ否直チニ之ヲ検査シ若シ瑕疵又ハ數量ニ不足アルコトヲ発見シタルトハ之ヲ通知セシムル義務アルモノト定メタルハ公益上ノ理由ニ基クモノナリト雖モ若シ賣主カ惡意ナル場合ニ於テモ猶ホ直チニ検査シ瑕疵又ハ數量ノ不足ヲ發見シタルトキハ之ヲ通知スヘキ義務アルモノトセハ其弊ヤ實ニ尠カラズ賣主ハ惡意ナルカ故ニ既ニ瑕疵又ハ數量ノ不足ナルコトヲ知ルモノナリ既ニ瑕疵アリ數量ニ不足アルコトヲ知ル者ニ對シ再ヒ通知ヲ發セシムルハ無用ノ手續ナリトス此公益上ノ理由ニ基キ買主ヲシテ或種類ノ義務ヲ負擔セシメタリ

「雖モ之カ爲メニ惡意ノ賣主ニ對シテモ尙ホ検査及ヒ通知ノ義務アリトシ此義務ヲ怠ルトキハ擔保ヲ請求スルコトヲ得ストノ規定アランカ惡意ノ賣主ハ

目的物ニ瑕疵アリ數量ノ不足ナルコトヲ知ルニ拘ラス萬一テ僥倖セントシ其目的物ヲ買主ニ送付スルノ弊ヲ生セン此ノ如キハ商業ノ安全及ヒ商業上ノ信用ヲ妨害スルモノニシテ公益ノ爲メニ設ケタル規定ハ時トシテ却テ公益ヲ害スルノ規定タルノ場合ヲ生セン故ニ商法第二百八十八條第二項ニ於テ第一項ニ對スル除外例ヲ設ケ買主ハ惡意ノ賣主ニ對シテハ目的物ヲ受取ルヤ否之ヲ検査スルノ義務ナク又瑕疵及ヒ數量ノ不足ヲ發見スルモ其旨ヲ通知スルノ義務ナキモノトセリ隨テ賣主ニ惡意アリタル場合ニ於テハ民法ノ規定ヲ適用スヘク買主ハ民法第五百六十四條ニ依リ契約ノ時又ハ事實ヲ知リタル時ヨリ一箇年内ニ民法第五百六十五條及ヒ第五百七十條ノ規定ニ從ヒ擔保ヲ請求スルコトヲ得ヘシ

二 買主ノ遲滞ニ關スル規定 既ニ述ヘタル如ク買主ハ一定ノ時期ニ於テ履行ヲ受クルノ義務アリ而シテ買主カ其目的物ヲ受取ルコトヲ拒ミタルトキハ賣主ハ其目的物ヲ供託シテ債務ヲ免レ其目的物カ供託ニ適セス又ハ滅失毀損ノ虞アルトキ又ハ其保存ニ付キ過分ノ費用ヲ要スルトキハ裁判所ノ許可ヲ得テ

競賣ニ付シ其代價ヲ供託スルコトヲ得ルハ民法第四百九十四條及ヒ第四百九十七條ノ規定スル所ナリ然レトモ民法ノ規定ニ依レハ其目的物ヲ競賣スルニハ裁判所ノ許可ヲ要シ商業上ニ於テハ不便尠カラズ故ニ商法ハ其第二百八十六條ヲ以テ外國ノ例ニ倣ヒ之ニ關スル例外ノ規定ヲ設ケ裁判所ノ許可ヲ必要トセス之ニ代フルニ他ノ條件ヲ以テセリ其競賣ヲ爲スニ必要ナル條件ハ

第一 賣主ハ其目的物ノ競賣前相當ノ期間ヲ定メ催告ヲ爲スコト

第二 賣主ハ其目的物ノ競賣後遲滞ナク買主ニ通知スルコト

ニシテ其目的物損敗シ易キ物ナルトキハ催告ノ暇ナキヲ以テ催告ヲ要セス直ニ競賣ニ付スルコトヲ得ヘシ商法第二八六條第二項

以上述フル所ニ據リ賣主ハ其目的物ヲ競賣ニ付シタルトキハ其代價ヲ供託セタルヘカラス然レトモ買主ニシテ賣主ニ對シ未タ代價ヲ支拂ハサルトキハ賣主ハ其競賣ニ依リ得タル代價ノ全部又ハ一部ヲ以テ自己カ買主ニ對シテ有スル債權ニ充當スルコトヲ得ヘシ

第三節 買賣契約ノ解除

契約ノ解除ニ關スル原則ハ民法第五百四十條以下ノ規定スル所ナリ茲ニハ唯解除ニ關スル民法規定ノ例外ヲ説明セントス

民法第五百四十二條ニ依レハ契約ノ性質又ハ當事者ノ意思表示ニ因リ一定ノ期間内ニ履行ヲ爲スニ非サレハ契約ノ目的ヲ達スルコト能ハサル場合ニ於テ當事者ノ一方カ履行ヲ爲ササルトキハ催告ヲ爲サシテ直チニ解除ヲ爲スコトヲ得ヘシ然レトモ同第五百四十條ノ規定ニ依リ其解除ハ之ヲ相手方ニ表示スルコトヲ必要トスルカ故ニ之ヲ商事ニ適用セシカ無益ノ手數ヲ要シ不便極リナク且ツ此解除權ハ民法第五百四十七條ノ規定ニ依リテ催告ヲ爲シタル後ニ非サレハ消滅セタルカ故ニ時トシテ當事者ノ一方ニ意外ノ損失ヲ被ラシムルコトナシトセス故ニ實際ノ便宜ニ依リ我商法ハ第二百八十七條ニ於テ契約ノ性質又ハ當事者ノ意思表示ニ依リ一定ノ日時又ハ一定ノ期間内ニ履行ヲ爲スニ非サレハ契約ヲ爲シタル目的ヲ達スルコト能ハサル場合ニ於テ相手方カ

義務ノ履行ヲ怠リ其時期ヲ經過シタルトキハ相手方カ特ニ其義務ノ履行ヲ請
求シタル場合ノ外契約ハ解除セラレタリト看做スヘキ旨ヲ規定セリ

第三章 交互計算

交互計算ハ信用制度ノ一ニシテ經濟思想ノ發達ニ伴ヒ商人間于於テ箇箇ノ取
引ニ付キ一計算ヲ爲スノ煩ヲ避ケシカ爲メニ一定ノ期間内ニ生シタル債權
債務ハ直チニ之カ計算ヲ爲サスシテ其期間終了ノ時ニ至リ債權債務ノ總額ヲ
一括シテ相殺ヲ爲シ其殘額ヲ授受スルノ慣例ヲ生セリ我商法モ亦此慣例ヲ認
メ之ニ關スル規定ヲ設ケタリ今左ノ順序ニ從ヒ交互計算ノ概要ヲ説明セシメ

- (第一) 定義 十二條ニ於テハ其時ノ對價又ハ當事者ノ意思表示ニ因リ一或ク
- (第二) 交互計算ノ效力 同條ニ於テハ其時ノ對價又ハ當事者ノ意思表示ニ因リ一或ク
- (第三) 交互計算ノ終了 同條ニ於テハ其時ノ對價又ハ當事者ノ意思表示ニ因リ一或ク

第一節 交互計算ノ定義

交互計算トハ平常取引ヲ爲ス商人間又ハ商人及ヒ非商人間ニ於テ一定ノ期間
内ニ其取引ヨリ生スル債權債務ノ總額ヲ付キ相殺ヲ爲シ若シ殘額アルトキハ
其殘額ヲ支拂フコトヲ約スルモノニシテ商法第二百九十一條ニ掲クル所タリ
左ニ此定義ヲ分析スレハ其間内ノ單據ヨリ生ズル債權債務ノ總額ニ付キ

(第一) 交互計算ハ契約ナリ

交互計算關係ハ契約ニ因リ生スルモノニシテ其契約ハ明示タルト默示タルト
ヲ問ハス又書面ヲ以テスルコトヲ必要トセザルモノナリ其契約ハ對價ニ基キテ
第二) 交互計算ノ當事者ハ其雙方商人ナルカ若クハ少クトモ其一方カ商人タ
ルコトヲ要スルニハ一或ク對價對價ハ一家ノ範圍内ノ單據ヨリ生ズル債權債務

交互計算ハ前述ノ如ク經濟上ノ必要ニ基クモノニシテ箇箇ノ取引ニ付キ一一
計算ヲ爲スノ煩ヲ避ケルカ爲メニ生シタル制度ナリ而シテ商人ニ非タル者ノ
間ニハ取引ノ頻繁ナルコト稀ナルヲ以テ此等ノ者ノ間ニ交互計算ヲ認ムルノ
必要ナク若シ之ヲ認ムルノ必要アリトモハ民法中ニ規定スヘキモノナルカ故
ニ商法ニ於テハ少クトモ當事者ノ一方カ商人タルコトヲ必要トス

(第三) 交互計算ハ平常取引ヲ爲ス者ノ間ニ於テ人ニ成立スルモノナリ
 平常取引ヲ爲サザル者ノ間ニ交互計算關係ヲ認ムルノ必要ナキコトハ交互計
 算ノ目的ヨリ推知スルコトヲ得ヘキ自然ノ結果ニシテ其平常取引ヲ爲スヤ否
 ヤハ事實問題トシテ箇箇ノ場合ニ付キ之ヲ決スルノ外一定ノ標準ヲ與スルハ
 殆ト不能ニ屬スル也

(第四) 交互計算ニ入ルヘキ債權債務ハ一定ノ期間内ノ取引ヨリ生ザタルモノ
 ナルコトヲ要ス、當事者ハ其發式商人キヤモ其ノ外ニ於テ一式ノ商人キ
 交互計算ニ於テ一定ノ期間ヲ設クルヲ必要トセルハ交互計算ノ性質ニ基クモ
 ノニシテ其期間ハ當事者間ノ契約ニ因リ定マルモノニシテ當事者間ニ特約ナ
 クハ六箇月ヲ期間トス

(第五) 交互計算ハ一定ノ期間内ノ取引ヨリ生スル債權債務ノ總額ニ付キ之ヲ
 爲スコトヲ要ス、此ノ總額ハ一定ノ期間内ニ發生セル債權債務ニ付キ一此ノ相殺ヲ
 交互計算トヘ一定ノ期間内ニ發生セル箇箇ノ債權債務ニ付キ一此ノ相殺ヲ
 爲スノ謂ニ非ズシテ一定ノ期間内ニ發生セル債權債務ノ總額ニ付キ相殺ヲ爲

スノ期ナリ

(第六) 交互計算ハ一定ノ期間内ノ取引ヨリ生スル債權債務ノ總額ニ付キ相殺
 ヲ爲シ其殘額ヲ支拂ラヘキモノナリ、此ノ場合ハ債權債務ノ總額ニ付キ相
 殺者カ債權債務ノ各項目ヲ記載シタル計算書ヲ承認シタル後ハ原則トシテ
 其計算書中ニ掲ケタル債權債務ノ各項目ニ付キ異議ヲ述フルコトヲ得、換言
 スレハ其決算ハ確定不可分ニシテ其決算ノ殘額カ始メテ特立ノ債權債務ト爲
 ルモノナリ

第二節 交互計算ノ效力

交互計算ノ效力ニ付キ其主要ナルモノヲ舉クレハ、(第一) 其不願行ニ付キ、(第二) 相殺後殘額アル場合ニ於テ債權者ハ其殘額ノ支拂ヲ受タル權利アリ、(第三) 此效力ハ交互計算ノ效力中最モ主要ナルモノニシテ一定ノ期間終了後其期間内ニ生セル債權債務ヲ綜合シ交互計算契約者中孰レカ殘額ノ支拂ヲ受タル權利アリキヲ確定スルハ交互計算ノ主タル目的ト謂ハザルヘカラス一定ノ期間



終了ノ後當事者ハ債權債務ノ各項目ヲ記載シタル計算書ヲ調製セサルヘカラ
 ス而シテ相手方ニ於テ其計算書ヲ承認シタル後ハ其計算書ハ確定不可分ノ
 ノト爲リ錯誤及ヒ脱漏セル場合ヲ除ク外異議ヲ唱フルコトヲ得サルモノナ
 ルコトハ實ニ商法第二百九十四條ノ規定スル所ニシテ其計算書ニ依リ債權者
 ト爲リタル者ハ其殘額ノ支拂ヲ請求スルノ權利ヲ有シ其不履行ニ對シ別ニ
 簡ノ債權債務發生ノ原因ヲ證明セスシテ訴訟ヲ提起スルコトヲ得ルモノトス
 (第二) 交互計算ノ債權者ハ反對ノ契約ナキ場合ニ於テ計算閉鎖ノ日以後ハ其
 殘額ニ對シ法定利息ヲ請求スルノ權利アリ

是レ商法第二百九十五條ノ規定スル所ナリ抑モ交互計算當事者間ニ於テ此ノ
 如キ契約ヲ爲ナス且ツ法律ニ於テモ亦此ノ如キ規定ヲ設ケザルトキハ計算閉
 鎖ノ日以後其殘額ニ對シ利息ヲ請求スルコトヲ得ス是レ商法第二百七十五條
 ハ法定利息ヲ請求スルコトヲ得ヘキ場合ヲ列記シタルヲ以テナリ然レトモ計
 算閉鎖後之ニ利息ヲ附スルハ至當ノ事ニシテ商法第二百七十五條ヲ設定セ
 ルト同一ノ理由ニ基クモノナリ諸君或ハ曰ハン交互計算當事者ハ債權債務ノ

各項目ヲ交互計算ニ組入レタル日ヨリ之ニ利息ヲ附スルコトヲ得タルヤト然
 レトモ既ニ述ヘタル如ク商法第二百九十五條ハ實ニ商法第二百七十五條ト同
 一ノ精神ニ基キ規定セラレタルカ故ニ當事者間ニ此ノ如キ契約ヲ結ブハ全ク
 自由ナルノミナラス計算閉鎖後其殘額ニ對シ利息ヲ附セザルコトヲ約スルモ
 亦自由ナリ隨テ商法第二百九十五條ハ單ニ當事者間ニ反對ノ契約ナキ場合ニ
 於テ之カ適用ヲ見ルノミ
 商法第二百九十五條ハ第二項ニ於テ前項ノ規定ハ債權債務ノ各項目ヲ交互計
 算ニ組入レタル日ヨリ之ニ利息ヲ附スルコトヲ妨ケズト明言セリ予ハ本項ノ
 如キ規定ノ必要ヲ認メサル者ナリ本項ノ規定ナシト雖モ特ニ禁止ナキ限リハ
 此ノ如キ契約ヲ爲スハ當事者ノ自由ニシテ當事者ハ本項ノ規定ヲ待テ始メ
 テ此ノ如キ契約ヲ爲スコトヲ得ルモノニ非ス本項ノ規定ハ單ニ疑ヲ避ケンカ
 爲メニ特ニ明文ヲ掲ケタルモノナリト解スルヲ至當トス
 以上列記シタル效力ハ其主要ナルモノニシテ特ニ注意ヲ要スヘキモノナリ此
 他交互計算ノ性質ヨリ生スヘキ數多ノ效力アルモ別ニ説明ヲ要セザルヲ以テ

第三節 交互計算ノ終了

既に述べタル如ク交互計算ハ一ノ契約ナルヲ以テ其終了モ亦一般契約ノ終了ト異ナルコトナシト雖モ商法ニ於テハ交互計算ノ解除ニ關シ特別ノ規定アルヲ以テ茲ニハ一般ノ終了原因ヲ説明セシメテ單ニ解除ノ場合ヲ説明セシメテ交互計算ハ信用制度ノ一ナルカ故ニ契約當事者相互間ニ信用アルニ非サレハ成立セタルモノナリ隨テ當事者間ニ信用ノ失墜ヲ來シタル場合ニ於テ各當事者ヲシテ契約ヲ解除スルノ權利ヲ有セシムルハ至當ノ事ト謂ハサルヘカラス彼ノ委任契約ハ實ニ信用ヲ基礎トスルモノナルカ故ニ民法第六百五十一條ハ「委任ハ各當事者ニ於テ何時ニテモ之ヲ解除スルコトヲ得」定メタリ商法第二百九十六條モ亦同一ノ理由ニ基クモノニシテ各當事者ハ期間ヲ定メタルト否トニ拘ラス何時ニテモ契約ヲ解除シ計算ヲ閉鎖シテ差引殘額アルトキハ其殘額ヲ請求スルコトヲ得ルノ權利ヲ有ス

第四章 匿名組合

第一節 匿名組合ノ定義

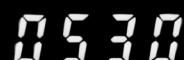
匿名組合ノ定義ハ商法第三百九十六條ノ規定スル所ニシテ匿名組合トハ當事者ノ一方カ相手方ノ營業ノ爲メニ出資ヲ爲シ其營業ニ因リ生スル利益ヲ分配スル契約ヲ謂フ員ハ株式ノ發賣ニ因リて生スル利益ニ受クハクセリ此定義ヲ分析スレハ左ノ四條件ヲ具備スルコトヲ要ス

(第一) 匿名組合ハ契約ナリ

(第二) 當事者ノ一方ハ營業者タラサルヘカラス

(第三) 當事者ノ一方ハ出資ヲ爲スヲ要ス

營業者ノ營業ニ對シテ出資ヲ爲ス者ヲ匿名組合員ト謂フ而シテ匿名組合員ハ出資ハ營業者ノ財産ニ歸屬ス是レ會社又ハ民事上ノ組合ト異ナル主要ナル點



ナリトス會社ニ在リテハ社員ヲ出資ハ法人ノ財産ト爲リ民事上ノ組合ニ在リ
テハ其財産ハ組合員ノ共有ニ屬スト雖モ匿名組合ニ在リテハ其財産ハ相手方
ニ歸屬スルモノナリトシテ出資モ其ノ要ス

茲ニ出資ト稱スルハ財産及ヒ勢力ヲ總稱スルモノニ非スシテ之ヲ狹義ニ解セ
サルヘカラス蓋シ匿名組合ニ於テハ常ニ當事者ノ一方ハ營業者ニシテ他ノ一
方ハ出資者ナリ而シテ出資者ハ營業者ノ營業ニ對シテ出資ヲ爲ス者ニシテ營
業者ノ營業ニ關與スル者ニ非ナルカ故ニ業務執行ノ任ニ當ル者ハ營業者ニシ
テ組合員ハ單ニ金錢又ハ其他ノ財産ヲ出資セサルヘカラス

〔第四〕匿名組合員ハ相手方ノ營業ニ因リテ生シタル損益ヲ受クルモノナリ匿
名組合員ハ財産ヲ出資スルト共ニ其財産ヲ營業者ニ歸屬シ營業者ハ自由ニ其
財産ヲ處分スルコトヲ得ヘシト雖モ匿名組合員ハ毫モ營業者ノ營業ニ關與ス
ルコトヲ得ス單ニ其營業ヨリ生シタル利益ヲ受ケ若クハ其營業ヨリ生シタル
損失ヲ負擔スヘキノミ

以上述べタル所ニ依レハ匿名組合ニ於テハ營業ヲ營ム者ハ營業者ニシテ匿名

組合員ハ之ニ與ルコトナキカ故ニ匿名組合員ハ第三者ニ對シ關權ヲ有スルコ
トナシ隨テ匿名組合員ノ氏名又ハ其商號ハ之ヲ營業者ノ商號トシテ又ハ營業
者ノ商號中ニ使用スルコトヲ得ナルヲ以テ原則トス匿名組合員ニシテ其氏名
又ハ其商號ヲ使用スルコトヲ許諾シタルドキハ其使用後第三者ニ對シ營業者
ト連帶シテ其責ニ任セサルヘカラス商法第二九九條是レ商法第一百十六條ト同
一ノ理由ニ基クモノナリ合ニ依テ出資ハ匿名組合員ノ義務トスルカ

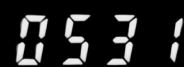
第二節 匿名組合ノ效力

匿名組合ハ契約ヨリ成立スルモノナリ隨テ契約ノ效力ニ關スル一般ノ原則ハ
猶ホ匿名組合ニ適用スヘキノトス今匿名組合契約ニ關スル特別ノ效力ヲ舉
グバハ

〔第一〕匿名組合員ノ權利

〔二〕利益ノ分配ヲ受クルノ權

利益分配ノ割合ハ一ニ契約ニ因リ定マルモノニシテ特約ナキトキハ民法組合



ノ原則民法第六七四條ニ依リ營業者ノ資本及ヒ匿名組合員ノ出資額ノ割合ニ依リ之ヲ定ムルモノニシテ組合員ハ純利アルトキハ之カ分配ヲ請求スルコトヲ得ヘシト雖モ其支出シタル出資カ損失ニ因リ減シタルトキハ其填補ノ後ニ非ナレハ利益ノ分配ヲ請求スルコトヲ得サルモノナリ

(二) 業務ヲ監督スルノ權

匿名組合員ハ營業年度ノ終ニ於テ帳簿ノ閱覽ヲ求メ若クハ營業ノ狀況ヲ検査スルコトヲ得ルノミナラス重要ナル事由アルトキハ裁判所ノ許可ヲ得テ營業ノ狀況ヲ検査スルコトヲ得第三〇四條

(三) 組合ノ終了シタル場合ニ於テ出資ノ返還ヲ請求スルノ權

營業者ハ組合ノ終了ニ際シ出資ニ相當スル財産ヲ返還セサルヘカラス然レモ組合ノ損失ニ因リ其出資額減少シタルトキハ其殘額ヲ返還スルノ義務アリ

(第二) 營業者ノ權利 且各文ハ其商標ニ於テ營業者ハ商標イニマテ又ハ營業者ハ契約ノ定ムル所ニ依リ組合員ニ對シ出資ヲ請求スルノ權アリ組合員

ニシテ若シ之カ行履ヲ怠リタルトキハ民法及ヒ商法ニ於ケル一般ノ原則ニ依リ之カ履行及ヒ賠償ヲ要求スルコトヲ得ヘシトシテ然レモ其責任ハ其責任ノ範圍ニ於テ限リタルモノナリ

第三節 匿名組合ノ終了

匿名組合ハ左ノ事由アリタルトキハ解散スヘキモノトス

第一 組合契約ヲ以テ定メタル終了ノ原因發生シタルトキ

第二 組合ノ目的タル事業ノ成功又ハ其成功ノ不能ニ至リタルトキ

第三 營業者ノ死亡又ハ禁治産ニ宣告シタルトキ

第四 營業者又ハ匿名組合員ノ破産ニ宣告シタルトキ

第五 組合契約ノ解除ニ因リタルトキ

(第一) 第一ノ解散事由ニ付テハ別ニ説明ヲ要セス匿名組合ハ契約ニ因リ成立スルモノナルカ故ニ組合契約ニ於テ豫メ之カ終了ノ原因ヲ定メタルトキハ各當事者ハ之ニ依リテ羈束セラレ其原因ノ發生ト共ニ組合關係ヲ終了スヘキモノトス

(第二) 組合關係ハ契約ニ因リ成立シ特種ノ事業ヲ營ムヲ以テ其目的ト爲シ此目的タル事業ヲ營マンカ爲メニ組合關係ハ成立セルモノナリ然レニ目的タル事業既ニ成功シ若クハ其成功ノ不能ナルコト確定シタルトキハ更ニ組合關係ヲシテ存続セシメントスル理由オキヲ以テ終了ノ一原因トセリ

(第三) 匿名組合關係ハ信用ヲ基礎トシテ成立スルモノナリ匿名組合員ニシテ營業者ヲ信任セザランカ何ソ其財産ヲ營業者ノ自由處分ニ放擲スルコトアラシヤ信用關係ハ對人關係ナルカ故ニ匿名組合員ハ營業者ヲ信任シテ組合契約ヲ締結セリト雖モ其信任ハ必ス相續人又ハ後見人ニ對シテモ存在スルモノナリト斷定スルモノトヲ得ス是レ我商法ニ於テ營業者ノ死亡又ハ禁治產ヲ以テ組合關係終了ノ一原因トセル所以ナリ

(第四) 組合契約ノ各當事者破産シタルトキハ組合關係ハ消滅スルモノナリ匿名組合員ハ其初メ營業者ヲ信任シテ契約ヲ結ヒタリト雖モ營業者カ其財産關係ニ於テ能力ヲ失ヒタル場合ニ於テ猶ホ其信任ノ繼續ヲ推定スルハ不當ニシテ其信任關係ハ消滅シタリト考フルヲ至當トス加之破産ノ宣告アルトキハ其

財産ハ全ク破産管財人ノ管理ニ歸シ破産者ハ其財産ニ干渉スルコトヲ得ザルヲ以テ相手方ノ不便尠カラス故ニ各當事者ノ破産ヲ以テ終了ノ原因トセリ

(第五) 契約ハ解除權ノ行使ニ因リ終了スルモノナルコトハ別ニ説明ヲ要セスト雖モ解除權ヲ行使スルコトヲ得ヘキ場合ニ付キ一言セントハ契約解除ニ關シ一般ノ原因ノ外其解除權ヲ行使シ得ヘキ場合左ノ如シ

(一) 存續期間ヲ當事者ノ終身間ト定メタルトキ

(二) 存續期間ヲ定メサルトキ

(三) 已ムコトヲ得サル事由アルトキ

(四) 組合關係ノ存續期間ヲ當事者ノ終身間ト定メタルトキハ法律ニ反對ノ規定ナキ限ハ各當事者ハ其期間内契約ヲ繼續スルノ義務アリ然レトモ此ノ如キハ各當事者ノ自由ヲ拘束スルコト甚シキヲ以テ我商法ハ外國ノ立法例ニ倣ヒ各當事者ニ解除權ヲ付與セリ然レトモ其解除權ヲ行使スルニ付テハ左ノ二箇ノ制限ヲ受ケタルヘカラス

一 契約ノ解除權ハ營業年度ノ終ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス



二 契約ノ解除ハ六箇月前ニ豫告スルコトヲ要ス
 (二) 商法第三百一條ハ組合契約ニ於テ存續期間ヲ定メサルトキハ各當事者ハ六箇月前ニ豫告ヲ爲シ營業年度ノ終ニ於テ契約ヲ解除スルコトヲ得ルコトヲ規定セリ是レ商法第六十八條ト同一ノ精神ニ基因スルモノニシテ相手方ノ利益ヲ害スルコト尠カラシメンカ爲メニ二箇ノ制限ヲ附シテ解除權ヲ認メタルニ外ナラス
 (三) 已ムコトヲ得サル事由ノ範圍ハ事實問題ニ屬シ箇箇ノ場合ニ就キ之ヲ決セサルヘカラス然レトモ已ムコトヲ得サル事由アルトキハ存續期間ノ有無ヲ問ハス營業年度ノ終ナルト否トニ關セス且ツ六箇月前ノ豫告ヲ要セスシテ何時ニテモ契約ヲ解除スルコトヲ得ヘシ是レ商法第三百一條ノ規定スル所ニシテ各當事者ヲシテ救フヘカラサルノ損害ヲ被ルコトナカラシメンカ爲メニ契約ノ解除權ヲ認メタルモノナリ

第五章 仲立營業

第一節 仲立營業ノ定義

仲立營業トハ商行為ヲ行ハントスル當事者ノ中間ニ立テ其商行為ヲ媒介スル營業ヲ謂フ而シテ諸國ニ行ハルル仲立營業ニ關スル立法例ハ之ヲ大別シテ二ト爲スコトヲ得ヘシ特許主義及ヒ自由主義是ナリ特許主義トハ仲立營業ヲ營ムニ付テハ行政官廳ノ特許ヲ受クルコトヲ必要トスルモノニシテ仲立營業ヲ營ムコトヲ許可スヘキ者ハ一定ノ資格ヲ有スルコトヲ要シ其員數ニモ亦一定ノ制限アリ之ニ反シテ自由主義トハ官廳ノ特許ヲ必要トセス何人ト雖モ自由ニ之カ營業ニ従事スルコトヲ許スモノナリ我舊商法ニ於テハ所謂特許主義ヲ採用シ年齡滿二十五歳以上ニシテ五箇年以上其部類ノ商業ニ従事シ且ツ聲聞ニ瑕瑾ナキ者ニ限り官ノ認可ヲ受ケ仲立營業ヲ營ムコトヲ得ヘク且ツ其業務ヲ始ムル以前ニ於テ保證金ヲ差出スヘキモノトセリ我新法ハ之ニ反シテ自由主義ヲ採用シ仲立營業ヲ營ム者ハ別ニ一定ノ資格ヲ要セス又行政官廳ノ認可ヲ必要トセス何人ト雖モ自由ニ仲立人ト爲ルコトヲ許セリ

特許主義及自由主義ノ得失ニ付テハ茲ニ詳論スルノ必要ナシト雖モ特許主義ナルモノハ經濟思想ノ發達セラルル時代殊ニ信用制度ノ振ハサル時ハ當リテハ最も效力アル制度ナリトス之ニ反シテ信用制度發達シ各人其信用ヲ重スル時ニ在リテハ特ニ官許ヲ以テ仲立人ノ信用ヲ確固ナラシムルノ必要ナシ彼ノ特許主義ニ依レバ一面ニ於テ國家カ仲立人ノ信用ヲ確認スルト同時ニ他ノ一面ニ於テハ仲立人ニ對シ其監督ヲ嚴シシ公ノ信用ヲ維持スルノ方法ヲ講セサルベカラス此ノ如キハ營業ノ自由ニ干渉スルモノニシテ國家ハ特別ノ必要ナキ場合ニ於テ營業ノ自由ニ干渉スベキモノニ非ス換言スレバ經濟思想ノ進歩セル今日ノ社會ニ於テ特許主義ヲ採用シ干渉ヲ試ミントスルハ實ニ其必要ナキノミナラス却テ經濟社會ノ發達ヲ阻害スルモノナリ我新商法ニ於テ自由主義ヲ採用シタルハ蓋シ其當ヲ得タルモノト謂フヘシ

仲立營業ヲ營ム者ヲ仲立人トス仲立人ノ定義ニ付テハ商法ハ第三百五條ニ於テ之ヲ規定シ仲立人トハ他人間ノ商行爲ヲ媒介ヲ爲スヲ業トスル者ナリトセリ此定義ニ付キ特ニ注意ヲ要スヘキハ

第一 仲立人ハ他人間ノ商行爲ヲ媒介スル者ナリ

仲立人ハ媒介スヘキ商行爲ノ當事者ト爲ルモノニ非スシテ單ニ其商行爲ヲ爲ス者ノ中間ニ介入シテ商取引ヲシテ容易ナラシムルノミ故ニ曰ク仲立人トハ他人間ノ商行爲ヲ媒介スル者ナリト

第二 仲立人ハ他人間ノ商行爲ヲ媒介スル者ナリ

仲立人ハ自己ノ計算ヲ以テ媒介スヘキ商取引ノ當事者ト爲ルモノニ非ス又媒介スヘキ商行爲ノ當事者ヲ代表スルモノニ非ス換言スレバ仲立人ハ其商行爲ニ依リ自ら權利ヲ取得シ義務ヲ負擔スルモノニ非ス其商行爲ニ依リ權利ヲ得義務ヲ負フ者ハ仲立人以外ニ存セサルヘカラス仲立人ハ此等當事者ノ中間ニ在リテ商行爲ノ成立ヲ容易ナラシムルノミ

第二節 仲立營業ノ效力

前節ニ述ヘタルカ如ク仲立人ハ營業トシテ他人間ノ商行爲ヲ媒介スル者ナリ我商法ニ於テ特ニ仲立人ノ權利及ヒ義務トシテ規定シタル事項ノ概要ヲ順次

説明セシメ、第一、仲立人ノ義務、仲立人ハ、商行為ノ進行ニ関シテ、必要ノ事項ヲ

第一、仲立人ノ義務、仲立人ハ、商行為ノ進行ニ関シテ、必要ノ事項ヲ

(一) 見本保管ノ義務、仲立人ハ、其行爲カ完了スルマ

仲立人カ其媒介スル行爲ニ付キ見本ヲ受取リタルトキハ其行爲カ完了スルマ

ヲ之ヲ保管セサルヘカラス蓋シ仲立人ハ商行爲ヲ媒介スル者ナルカ故ニ媒介

スヘキ商行爲ノ當事者ニ對シ各種ノ便宜ヲ與ヘサルヘカラス而シテ後日引渡

ノ時ニ當リ其物品ノ適否ニ付キ當事者間ニ生シ得ヘキ爭議ヲ決定スルノ用ニ

供シ無益ノ爭議ヲ止メ取引ヲシテ迅速且ツ正確ナラシメンカ爲メ仲立人ハ

其行爲完了ノ日マテ見本ヲ保管セサルヘカラスト規定セリ(第三〇七條)

(二) 書面ノ作成及ヒ交付ノ義務、仲立人ハ左ノ事項ヲ記載シタル

仲立人ノ媒介シタル商行爲成立シタルトキハ仲立人ハ左ノ事項ヲ記載シタル

書面ヲ作成セサルヘカラス商法施行法ニモ規定セリ(第三〇八條)

第一、各當事者ノ氏名又ハ商號、第二、仲立人ノ氏名又ハ商號、第三、仲立人

第二、行爲ノ年月日、第四、商行爲ノ内容、第五、仲立人ノ氏名又ハ商號

(三) 商行爲ノ要領、仲立人ハ、商行爲ノ進行ニ関シテ、必要ノ事項ヲ

仲立人ハ前記ノ書面ヲ作成シタル後之ニ署名シテ各當事者ニ交付セサルヘカ

ラス而シテ當事者カ直チニ履行ヲ爲スヘキ場合ノ外仲立人ハ各當事者ヲシテ

此書面ニ署名セシメタル後更ニ之ヲ相手方ニ交付セサルヘカラス(第三〇八條)

第一項第二項而シテ仲立人ハ當事者ノ一方カ書面ヲ受領セヌ若クハ之ニ署名

スルコトヲ拒ミタルトキハ遅滞ナク相手方ニ對シ其旨ヲ通知スルノ義務アル

モノトス(第三〇八條第三項)

書面ヲ作成スヘキ義務及ヒ書面ニ記載スヘキ事項ハ前述ノ如シ然レトモ商業

ノ取引ニ於テハ時トシテハ當事者ノ氏名ヲ秘密ナラシムル必要アリ故ニ此ノ

如キ場合ニ於テ當事者ノ請求アルトキハ仲立人ハ其作成スヘキ書面ニ其當事

者ノ氏名又ハ商號ヲ記載スルコトヲ得ストノ規定アル所以ナリ(第三一〇條)

(四) 帳簿記入ノ義務、仲立人ハ、商行爲ノ進行ニ関シテ、必要ノ事項ヲ

商業帳簿ニ關シテハ商法第一編第五章ニ之カ規定アリト雖モ帳簿ニ記入スヘ

キ事項ニ付テハ列記的ニ其事項ヲ定メテ而シテ仲立人ハ媒介スヘキ行爲ヲ成

立ニ付ヒ書面ヲ作成シ之ヲ當事者ニ交付スルノ義務アルカ故ニ此書面ニ記載シタル事項ヲ帳簿ニ記入シ後日ノ參考ニ資セシムルノ必要アリ是レ商法第三百九條第一項ノ規定アル所以ナリ

記入ノ義務ニ附隨シテ仲立人ハ當事者ノ請求ニ應ジ帳簿ノ原本ヲ交付スヘキ義務アリ元來仲立人ニ對シ帳簿記入ノ義務ヲ負擔セルハ後日ノ證明等ニ資キシメシカ爲メナリ故ニ當事者ハ何時ニテモ之カ原本ヲ請求スルコトヲ得仲立人ハ之ニ應ジ原本ヲ交付セサルヘカラストノ規定ヲ設クル必要アリ(第三〇九條第二項)

商法第三百十條ノ規定ニ依レハ當事者カ其氏名又ハ商號ヲ秘密ニスヘキ旨ヲ仲立人ニ命シタルトキハ仲立人ハ前記帳簿ノ原本ヲ交付スルニ當リ其原本中ニ其氏名又ハ商號ヲ記載スルコトヲ得サルモノトス是レ前項第二ノ義務ニ於テ當事者ノ請求ニ因リ書面中ニ其氏名又ハ商號ヲ記入スルコトヲ得サルト同一ノ理由ニ基クモノナリ

(四) 給付ヲ受クルコトヲ得サル義務

既ニ述ベタル如ク仲立人ハ單ニ他人間ノ商行爲ヲ媒介スル者タルニ過キスシテ其商行爲ノ當事者タラサルノミナラス又其當事者ヲ代表スル者ニモ非サルヲ以テ其媒介シタル行爲ニ付キ當事者ノ爲メニ支拂其他ノ給付ヲ受クルコトヲ得ス然レトモ是レ唯一般ノ場合ニ付テノミ然ルモノニシテ若シ別段ノ意思表示アルトキ又ハ別段ノ商慣習アルトキハ其意思表示又ハ商慣習ニ依ルヘキモノトス(第三〇六條)

(五) 履行ノ責任
仲立人ハ通常當事者ノ一方ノ氏名又ハ商號ヲ相手方ニ示シテ其商行爲ノ媒介ヲ爲スモノナレトモ時トシテハ之ヲ示ササルコトアリ殊ニ當事者カ之ヲ示ササルヘキ旨ヲ命シタルトキハ之ヲ示スコトヲ得ス此場合ニ於テハ相手方ハ當事者ノ一方カ何人ナルカラ知ルコトヲ得サルヲ以テ其仲立人ヲ信シテ取引ヲ爲シタルモノト謂フヘク隨テ仲立人ハ相手方ニ對シ當事者ノ一方カ負ヘル義務ヲ履行スルノ責ニ任セサルヘカラス(第三一一條) 三百八十二條

第二八 仲立人ノ權利

商法施行爲 仲立書類ノ效力

商法商行為 仲立營業 仲立營業ノ教書

卷一

仲立人ハ當事者ニ對シ報酬ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得ヘシ然レトモ仲立人ハ其媒介ニ因リテ當事者間ニ商行為成立シタル上第三百八條ニ規定セル手續ヲ終リタル後ニ非サレハ之ヲ請求スルコトヲ得ス而シテ其報酬ハ當事者雙方平分シテ負擔スヘキモノトス(第三一二條)

商法商行為ハ第十章ヲ除キ全部赤司講師ノ擔任ナリシモ同氏ハ公務其他ノ差支ノ爲メ其任ヲ完ニスルコト能ハサルニ至リタルヲ以テ第六章乃至第九章ハ特ニ志田講師ニ依頼シテ全編ヲ了ルコト爲レリ諸子請フ焉ヲ諒セヨ(三〇六條)

編輯者識

商法商行為(自第一章至第五章)終

第一章 商行為ノ總論
第二章 商行為ノ種類
第三章 商行為ノ成立
第四章 商行為ノ效力
第五章 商行為ノ消滅

商法商行為(自第六章至第九章)目次

第六章	開業營業	一
第七章	運送取扱營業	二六
第八章	物品運送	三五
第九章	物品運送	三七

法學士志田友吉講述

商法商行為(自第六章至第九章)

第六章	開業營業	一
第七章	運送取扱營業	二六
第八章	物品運送	三五
第九章	物品運送	三七

商法商行為(自第一章至第九章)目次

和佛法律學校發行

物文入... 商法商行爲... 目次

商法商行爲 (目次)

若學士 志田 文吉 編

商法商行爲 (自第六章) 目次

第六章 問屋營業.....一

第七章 運送取扱營業.....二六

第八章 運送營業.....三五

 第一節 物品運送.....三七

 第二節 旅客運送.....四九

第九章 寄託.....五一

 第一節 總則.....五四

 第二節 倉庫營業.....六〇

商法商行爲 (自第六章) 目次 終

商法商行爲目次

商法商行爲(至第六節)目次

商法商行爲目次

第二章 倉庫營業	六〇
第三章 銀行	五四
第四章 寄附	五一
第五章 遺言	四六
第六章 贈與	三九
第七章 遺囑	三三
第八章 遺囑執行	二六
第九章 遺囑執行	二一
第十章 遺囑執行	一六

商法商行爲(至第六節)目次

商法商行爲(自第六章)

法學士志田友吉講述

第六章 問屋營業

問屋營業ハ次章ニ説明スル運送取扱營業ト共ニ商法第二百六十四條第十一號ニ所謂取次ニ關スル行爲ニシテ營業トシテ之ヲ爲スニ因リテ商行爲ト爲ルモノナリ即チ學者ノ所謂主觀的商行爲又ハ相對的商行爲ニ屬ス故ニ商法ハ本章及ヒ次章ニ於テ特ニ問屋營業及ヒ運送取扱營業ト題シ之ヲ營業トスル場合ニ付テノミ規定ヲ設ケタリ而シテ營業ノ意義如何ニ付テハ商行爲總則ノ章ニ於テ既ニ詳細其講述アリタリト思考スルヲ以テ今亦之ヲ贅セス

問屋營業ハ取次ニ關スル行爲ノ一種ナルカ故ニ此ニ取次ノ何物タルコトヲ一

問屋行爲 問屋營業

言スルノ必要アリ抑モ取次トハ自己ノ名ヲ以テ他人ノ爲メニ法律行為ヲ爲ス
 ノ謂ニシテ之カ要素ヲ求ムレハ約ソ三アリ一、法律行為ヲ爲スコト二、自己ノ名
 ヲ以テスルコト三、他人ノ爲メニスルコト是ナリ

(一) 法律行為トハ要スルニ私權ニ關シ法律上ノ效力ヲ生セシムルコトヲ目
 トスル意思表示ニシテ此ニ所謂法律行為ハ廣ク商行爲タル法律行為ト商行爲
 ニ非ナル法律行為トヲ包含スルモノナリ取次ノ目的タル法律行為ノ中ニハ非商
 行為アリ得ヘシト雖モ元來取次ニ關スル行為ヲ營業トシテ爲ス者詳言スレハ
 〇〇〇〇〇〇

自己ノ名ヲ以テ他人ノ爲メニ法律行為ヲ爲スコトノ委託ヲ受クルヲ業トスル
 者ハ第四條及ヒ第二百六十四條第十一號ノ規定ニ依リ純然タル商人ナルカ故
 ニ取次營業者タル商人カ其營業ノ爲メニスル法律行為ハ縱令取次委託者ヨリ
 見テ非商行爲ナリトスルモ其取次營業者ニ取リテハ是レ亦一ノ商行爲ナリト
 論決シ得ヘキカ如シ

(二) 自己ノ名ヲ以テスルトハ其法律行為ノ主格ト爲ルノ謂ニシテ他ノ方面ヨ
 リ言ヘハ取次人カ委託者ノ代理人トシテ法律行為ヲ爲スニ非ナルコトヲ意味ス

蓋シ取次ハ他人ノ爲メニ法律行為ヲ爲スモノニシテ其行為ノ效果ハ委託者ニ
 歸スルモノナリト雖モ是レ唯取次人ト委託者トノ關係ニ止マリ其行為ノ相手
 方ニ對シテハ其取次人ノ取次人タルコト及ヒ本人ノ名ヲ他人ノ知ルト否ト又
 ハ他人ニ之ヲ告知シタルト否トヲ問ハス自ラ其法律行為ノ主格ト爲リテ權利
 ヲ得義務ヲ負ハサルヘカラス故ニ縱令他人ノ爲メニ法律行為ヲ爲スモ自己ノ
 名ヲ以テセスシテ他人ノ名ヲ以テスルトキハ代理タルコトアルモ斷シテ取次
 タルコトアラサルナリ勿論自己ノ名ニ於テスト云フモ自ラ業務執行ノ任ニ當
 ルヲ要スト云フニアラス商業使用人ヲシテ之ヲ營マシムルモ亦取次人タルニ
 於テ何等ノ妨ナキナリ

(三) 他人ノ爲メニスルトハ他人ノ計算ニ於テスルノ意ニシテ他ノ語ヲ以テス
 レハ行為ノ效果ヲ他人ニ歸スルコトヲ謂フ取次人ハ商人ナリ商人ハ普通自己
 ノ計算ニ於テ自己ノ名ヲ以テ其業務ヲ營ムヲ例トスルモ取次人ハ之ト異ナリ
 自己ノ名ヲ以テスルノ結果トシテ其行為ノ相手方ニ對シテハ自ラ法律上ノ責
 任ヲ負フヘキモ元來其行為タルヤ他人ノ委託ニ出テタルモノナラヲ以テ其行

商法附行爲 附屬營業

爲ヨリ生スル損益ハ兩ナカラ之ヲ其委託者ニ歸セラルヘカヲナルナリ故ニ取次ノ目的ト爲スコトヲ得ル法律行爲ハ一方ニ於テハ他人ヲシテ爲サシムルコトヲ得ルモノニ限ラレ他方ニ於テハ其效果ヲ他人ニ歸スルコトヲ得ルモノニ限定セラル

取次ハ仲立ト共ニ學者ノ所謂補助的商行爲ニ屬ス然レトモ二者ノ間著シキ差異アリ(一)仲立ハ他人間ノ行爲ヲ媒介スルモノニシテ單ニ他人ノ意思ノ傳達ヲ爲スニ過キス然ルニ取次ハ他人ノ爲メニ自ラ行爲ヲ爲スモノニシテ其行爲ハ他人ノ利益ニ於テスルモ自己ノ意思ヲ表示シテ之ヲ爲スモノナリ(二)仲立ハ當事者ノ間ニ立テテ雙方ノ意思ヲ傳達スルニ止マルモ取次ヲ爲スニハ自ラ當事者ト爲ラサルヘカラス之カ結果トシテ仲立ニ因リテ成立スル行爲ハ當事者間ニ其效果ヲ生スルモ取次ニ因リテ成立スル行爲ハ取次人ト其行爲ノ相手方トノ間ニ效力ヲ生ス(三)仲立ハ商行爲ニ限リ其目的ト爲スコトヲ得ルモ取次ノ目的ト爲スコトヲ得ル行爲ハ商行爲タルト非商行爲タルトヲ問フコトナシ(取次ノ目的ヲ商行爲ニ限ル立法例頗ル多シ然レトモ我商法ハ獨逸新商法ト同シク之

ヲ商行爲ニ限ラサル主義ヲ探レリ)

以上余ハ取次ノ内容ニ付テ説明セリ然ルニ取次ヲ爲スニハ取次人ト委託者トノ間ニ必ス契約ヲ締結スルモノナリ之ヲ取次契約ト稱ス而シテ此契約ノ性質ニ付テハ學者ノ見解區區ニ亘ルモ之ヲ委任ノ特種ナルモノト爲ス方至當ナルカ如シ我商法ハ其第三百十四條第二項ニ於テ之ニ委任ニ關スル規定ヲ準用シ居レリ(取次契約ハ雇傭ナリトスル學說及ヒ組合ニ類スルモノナリトスル學說アリ)此事ニ付テハ問屋ト委託者トノ關係ヲ詳論スルニ當リテ尙ホ説ク所アルヘシト雖モ此契約ノ終了ニ關シテハ全ク委任ニ關スル規定カ準用セラザルコト丈ケハ茲ニ注意シ置クヲ要ス

取次ノ目的ハ法律行爲ヲ爲スニ在ルコト既ニ述ヘタルカ如シ而シテ法律行爲ノ種類ハ一ニシテ足ラス故ニ取次ノ範圍ハ極メテ廣ク隨テ其種類亦頗ル多シ然レトモ實際ニ於テ最モ頻繁ニ行ハルモノハ買賣運送等ニ關スル取次ナリトス是ヲ以テ我商法ハ買賣ニ關スル取次及ヒ運送ニ關スル取次ニ付テノモ特ニ規定ヲ設ケ其他ノ取次ニ付テハ買賣ニ關スル取次ノ規定ヲ準用スルコトト

商法附行爲 附屬營業

セリ(立法例ヲ按スルニ取次又ハ取次人ト題シ取次全般ニ渉ル規定ヲ設クルモ
 ノアリ取次ニ關スル總則ヲ設ケ其主要ナル種類ニ付テ特別ノ規定ヲ設クルモ
 ノアリ單ニ取次ノ主要ナル種類ノミニ付テ規定ヲ設ケ一般ノ規定ヲ置カサル
 モノアリ我商法ハ略ホ第三ノ主義ニ屬ス) 問屋營業ニ關スル取次ニシテ取次ノ目
 的カ物品ノ販賣又ハ買入ニ在ル場合ヲ指スモノナリ商法第三百十三條ハ問屋
 營業ヲ爲ス者ヲ問屋ト稱シ之カ定義ヲ下シテ問屋トハ自己ノ名ヲ以テ他人ノ
 爲メニ物品ノ販賣又ハ買入ヲ爲スコトヲ業トスル者ヲ謂フ(ト言ヘリ此定義ニ
 據レハ問屋營業ハ物品ノ販賣又ハ買入ヲ目的トスルモノナルカ故ニ權利ノ販
 賣又ハ買入ハ問屋營業ノ目的タルコトヲ得サルナリ然レトモ所有權ヲ離レテ
 物ノ賣買ヲ想像スルコト能ハサルヲ以テ所謂物品ナル語ハ物ノ所有權ヲ指ス
 モノト解セサルヘカラス蓋シ商法ハ物ノ賣買ナル語ハ慣用上物ノ所有權ノ賣
 買ヲ指スモノナルコト疑ヲ容レサルカ故ニ物ノ所有權ノ販賣又ハ買入ト云フ
 カ如キ不熟ノ語ヲ避ケテ物品ノ販賣又ハ買入ナル語ヲ用ヒタルモノナラシカ此

ノ如キノ用例ハ民法ニモ種々多ク見ル所ナリ然リ而シテ金錢モ亦物ナルカ
 故ニ金錢ノ所有權モ同シク右ノ物品中ニ包含スルカ如シト雖モ賣買ハ其性質
 金錢ト金錢以外ノ物トヲ交換スルニ在ルカ故ニ金錢ハ之ヲ包含セサルコト勿
 論ナリ尙ホ販賣及ヒ買入ノ意義ニ付テハ此ニ細説スルノ邊ヲ有セスト雖モ要
 スルニ代金ヲ得テ金錢以外ノ物ノ所有權ヲ移轉スルコトヲ約スルハ右ノ販賣
 ニ屬シ代金ヲ拂ヒテ金錢以外ノ物ノ所有權ヲ移轉セシムルコトヲ約スルハ右
 ノ買入ナリ詳シクハ民法第三編第二章第三節ノ規定及ヒ商法第三編第二章ノ
 規定ニ就テ研究セラレンコトヲ望ム
 舊商法ニ於テハ問屋ナルモノヲ規定セス其第一編第八章第五節ニ於テ仲買人
 ナルモノヲ規定セリ是レ新商法ニ所謂問屋ニ該當スルモノナリト雖モ物品ノ
 賣買ノ取次即チ委託賣買ヲ爲ス者ハ慣習上之ヲ問屋ト稱スルカ故ニ新商法ハ
 之ヲ問屋ト改メタリ然レトモ世上問屋ト稱スルモノニシテ自己ノ計算ニ於テ
 物品ノ賣買ヲ爲スコトヲ業トスル者アリ此等ハ全然問屋ニ非サル者又ハ問屋
 營業ト他ノ營業トヲ兼スル者ニシテ其稱呼ヲノミ標準トスルコトヲ得ス果シ

ヲ商法上所謂問屋ニ屬スルヤ否ヤハ右ノ定義ニ照シテ之ヲ決スヘキノミ
 問屋營業ハ他人ノ委託ヲ受ケテ物品ノ販賣又ハ買入ヲ爲スモノナルカ故ニ一
 方ニ於テ委託者ニ對スル關係ヲ生シ而シテ其販賣又ハ買入ヲ爲スニ際リテハ
 自ラ賣主又ハ買主ト爲ルモノナルヲ以テ他ノ一方ニ於テ相手方ニ對スル關係
 生ス
 第一問屋ト相手方トノ關係
 問屋カ物品ノ販賣又ハ買入ヲ爲スニ際リテハ常ニ自己ノ名ヲ以テスルコト既
 ニ述ヘタルカ如シ此ノ如ク問屋ハ委託者ノ爲メニ其販賣又ハ買入ヲ爲スト雖
 モ相手方ニ對シテハ他人ノ代人ヲ以テ立タス自ラ賣主又ハ買主ノ地位ニ立ツ
 モノナルカ故ニ相手方カ其取引ノ果シテ問屋ノ事ニ係ルヤ否ヤヲ知ルト知ラ
 ナルトニ關セズ相手方ニ對シテハ自ラ賣主タリ又ハ買主トシテ權利ヲ得義務
 ヲ負ハナルヘカラス是レ商法第三百十四條第一項ノ規定スル所ニシテ問屋ハ
 他人ノ爲メニ爲シタル販賣又ハ買入ニ因リ相手方ニ對シテ自ラ權利ヲ得義務
 ヲ負フト言ヘリ故ニ問屋カ販賣ヲ爲シタル場合ニ於テハ相手方ニ對シ賣買ノ

目的タル權利ヲ移轉スル義務ヲ負ヒ且之ニ附隨シテ目的物ノ保管引渡及ヒ學
 者ノ所謂擔保ノ義務ヲ負フト同時ニ代金ノ支拂ヲ請求スル權利ヲ有シ又買入
 ヲ爲シタル場合ニ於テハ相手方ニ對シ賣買ノ目的タル權利ヲ移轉セシムル權
 利ヲ有スルト同時ニ代金ヲ支拂フ義務ヲ負フヘク此他賣買ニ關スル規定ハ總
 テ問屋ト相手方トノ間ニ適用セラルルコト論ヲ竣タス

此ノ如ク問屋ハ委託者ノ爲メニ爲シタル販賣又ハ買入ニ因リ相手方ニ對シテ
 自ラ權利ヲ得義務ヲ負ヒ委託者ト相手方トノ間ニ於テハ毫モ權利義務ノ關係
 ヲ生スルコトナシ隨テ委託者ハ相手方ニ對シテ賣主又ハ買主トシテノ權利ヲ
 主張スルコトヲ得ス相手方モ亦委託者ニ對シ賣主又ハ買主トシテノ權利ヲ主
 張スルコトヲ得サルナリ而シテ委託者カ相手方ニ對シテ權利ヲ主張シ得ル場
 合ハ後ニ至リテ詳説スルカ如ク委託者カ問屋ヨリ其問屋ノ名ヲ以テ取得シタ
 ル權利ノ移轉ヲ受ケタル時ニ在リトス

第二 問屋ト委託者トノ關係

問屋ト委託者トノ關係ニ付テハ二箇ノ問題ヲ生ス一ハ問屋ハ委託者ニ對シ如

何ナル權利ヲ有シ義務ヲ負フカノ點ニシテ他ノ一ハ問屋カ爲シタル販賣又ハ買入ハ委託者ニ對シ如何ナル效力ヲ生スルカノ點是ナリ而シテ商法ハ此ニ對シ第三百十四條第二項ニ於テ問屋ト委託者トノ間ニ於テハ本章ノ規定ノ外委任及ヒ代理ニ關スル規定ヲ準用ス下規定セリ蓋シ問屋ト委託者トノ間ニ於ケル權利義務ハ取次契約ノ一タル問屋契約ニ因リテ生スルモノナルカ故ニ畢竟委任ノ關係ニ外ナラス而シテ問屋ノ爲ス物品ノ販賣又ハ買入ハ委託者ノ計算ニ於テスルモノナルカ故ニ問屋ト委託者トノ間ヨリ見レハ其賣主又ハ買主ハ問屋ニ非スシテ委託者ナリ隨テ其效果ハ直接ニ委託者ニ歸セサルヘカラス是レ右ノ規定アル所以ナリ

(一) 問屋カ爲シタル販賣又ハ買入ノ效力

問屋ト委託者トノ間ニ於テハ代理ノ規定ヲ準用スルカ故ニ問屋カ爲シタル販賣又ハ買入ハ宛モ代理人カ本人ノ爲メニ之ヲ爲シタル場合ノ如ク委託者ニ對シテ直接ニ其效力ヲ生ス隨テ委託者ハ問屋トノ關係ニ於テハ自ら販賣又ハ買入ヲ爲シタル場合ト同一ノ權利ヲ得義務ヲ負フナリ元來問屋ノ行爲ノ委託者

ニ對スル效力ニ付テハ從來ニ主義アリ第一ノ主義ハ問屋ノ行爲ハ問屋ト委託者トノ間ニ在リテモ直接ニ委託者ニ對シテ效力ヲ生スルコトナク更ニ問屋ト委託者トノ間ニ新ナル行爲アルヲ待テテ其權利義務カ委託者ニ歸スルモノトシ第二ノ主義ハ問屋ノ行爲ハ問屋ト委託者トノ間ニ在リテハ直接ニ委託者ニ對シテ效力ヲ生スルモノトセリ而シテ第一ノ主義ニ從ヘハ問屋ノ行爲ハ直接ニ委託者ニ對シテ效力ヲ生セサルカ故ニ問屋ハ販賣ヲ爲ス前又ハ後ニ於テ委託者ヨリ其目的物ノ所有權ヲ自己ニ移轉セシムルコトヲ要シ又買入ヲ爲シタル後更ニ其目的物ノ所有權ヲ委託者ニ移轉セサルヘカラス且其代金ニ付テモ新ナル行爲ニ因リテ之ヲ委託者ニ移シ又ハ負擔セシメサルヘカラス是レ頗ル實際ニ不便ナルノミナラス往々ニシテ弊害ヲ生シ易ク殊ニ問屋カ破産シタル場合ニ關シ面倒ナル問題ヲ惹起スヲ以テ此主義ハ未タ遽ニ採用スルコトヲ得ス然ルニ第二ノ主義ニ據レハ問屋ノ行爲カ直接ニ委託者ニ對シテ效力ヲ生スルカ故ニ特ニ新ナル行爲ヲ爲スコトヲ要セスシテ販賣シタル物品ハ委託者ノ所有ヲ離レ買入レタル物品ハ委託者ノ所有ニ歸シ且代金ニ付テモ委託者ハ直

接ニ之ヲ取得シ又ハ負擔スルコト恰モ代理人ニ依リテ販賣又ハ買入ヲ爲シタルト同一ナルカ故ニ實際ニ便利ニシテ且安全ナリト是ヲ以テ我商法ハ第二ノ主義ヲ採用シ代理ニ關スル規定ヲ準用スルコトトセリ(第三一四條第二項)問屋ノ爲シタル販賣又ハ買入カ問屋ト委託者トノ間ニ於テハ代理ノ規定ヲ準用スルノ結果直接ニ委託者ニ對シテ效力ヲ生スルコト右ノ如シ然レトモ代理人ノ行爲カ本人ニ對シテ直接ニ效力ヲ生スルハ代理人カ其權限内ニ於テ之ヲ爲シタル場合ニ限ルカ故ニ問屋ノ行爲ニ付テモ其行爲カ委託者ノ委託ニ違ハサルコトヲ要ス隨テ其行爲カ委託ニ違フモノナルトキハ委託者ニ對シテ效力ヲ生セサルヤ論ヲ埃タス然レトモ此原則ハ問屋ニ關シテ絕對ニ之ヲ主張スルヲ得ス彼ノ問屋カ委託者ノ指定シタル金額ヨリ廉價ニテ販賣ヲ爲シ又ハ高價ニテ買入ヲ爲スカ如キハ明カニ委託ノ制限ヲ踰越シタルモノナルモ如何ナル事情ノ其間ニ存スルニモ拘ハラズ委託者ニ對シテ制限超越ノ責任ヲ負ヒ得サルモノト爲スニ於テハ問屋營業者ヲ束縛スル殊ニ甚シク爲メニ問屋ハ斯ル金額指定ノ委託ヲ受クルニ踰躪スルノ結果ヲ生スヘキナリ故ニ各國ノ法律ハ之ニ

關シテ特別ノ規定ヲ爲シ一定ノ條件ノ下ニ之ヲ寬假スルコトト爲セテ而シテ之ニ付テハ二箇ノ主義アリ即チ其一ハ問屋カ委託者ノ指定シタル金額ト相手方ニ對シテ約シタル金額トノ差ヲ負擔スルトキハ其販賣又ハ買入ハ委託者ニ對シテ效力ヲ生スルモノトスル主義ニシテ其二ハ問屋カ委託者ノ指定シタル金額ヨリ廉價ニテ販賣ヲ爲シ又ハ高價ニテ買入ヲ爲スコトノ已ムヲ得ザリシコト竝ニ委託者ノ受クヘキ損害ヲ避クル爲メ之ヲ要シタリシコトヲ證明スルトキハ問屋ハ其金額ヲ負擔スルコトヲ要セスシテ委託者ニ對シテ效力ヲ生スルモノトスルノ主義是ナリ然レトモ第二ノ主義ハ往往ニシテ委託者ノ意思ニ反スル結果ヲ生シ代人タルノ地位ハ單ニ其名ヲ留ムルニ過キスシテ委託者指圖ヲ爲スノ權利ハ全ク其實ヲ失フノ虞アリ故ニ我商法ハ專ロ委託者ノ爲メニ安全ニシテ殊ニ我國ニ於ケル從來ノ慣習タル第一ノ主義ヲ採用シタリ(第三一六條)

(二) 問屋ノ委託者ニ對スル權利義務

問屋ノ委託者ニ對スル權利義務ハ本章ノ規定及ヒ委任ニ關スル規定ニ依リテ

定マルコトハ既ニ述ヘタルカ如シ

(甲) 問屋ノ委託者ニ對スル義務

問屋ノ委託者ニ對スル義務ハ一面ニ於テ委託者ノ問屋ニ對スル權利ナリ分チテ左ノ五トス

(5) 受託行為ヲ爲ス義務

問屋カ委託者ニ對シテ受託行為即チ物品ノ販賣又ハ買入ヲ爲ス義務ヲ負フコトハ言フヲ埃ダサル所ニシテ實ニ問屋契約ノ目的トスル所ナリ而シテ問屋カ受託行為ヲ爲スニハ其委託ノ本旨ニ從ヒ善良ナル管理者ノ注意ヲ以テ之ヲ爲テサルヘカラス善良ナル管理者ノ注意トハ注意深キ人カ平生自己ノ事務ニ用フル注意ノ程度ヲ指スモノニシテ羅馬法ニ所謂良家父ノ注意ニ同シ故ニ問屋ハ平生自己ノ爲メニ用フル注意ノ程度如何ニ拘ハラス必ス注意深キ人ノ通常加フル注意ヲ以テ受託行為ヲ爲スコトヲ要シ其注意ヲ怠リタル爲メ委託者ニ損害ヲ被ラシメタルトキハ其責ニ任セサルヘカラス(第三一四條第二項、民法第六四四條)

問屋ノ爲スヘキ行為ノ範圍ハ問屋契約ニ因リテ定マルモノナリ故ニ問屋ハ契約ニ於テ委託ヲ受ケタル行為ヲ爲スコトヲ要スルト同時ニ委託ヲ受ケサル行為ヲ爲シ得ヘキモノニ非ス然レトモ商法ハ商取引ノ實際ニ稽ヘ特ニ第二百六十七條ノ規定ヲ以テ商行為ノ受託者ハ委任ノ本旨ニ反セサル範圍内ニ於テ委託ヲ受ケサル行為ヲ爲スコトヲ得ルモノトシタルカ故ニ問屋ハ其委託ノ本旨ニ反セサル範圍ニ於テハ委託ヲ受ケサル行為ヲ爲スコトヲ得ヘシ故ニ彼ノ一定ノ額ヲ指定シテ販賣又ハ買入ヲ委託セラレタル場合ニ其指定額ヨリ高價ニテ販賣ヲ爲シ又ハ廉價ニテ買入ヲ爲スカ如キ其行為タルヤ固ヨリ委託ヲ受ケサルモノナリト雖モ之ヲ以テ委託ノ本旨ニ反スルモノナリト云フヲ得サルヲ以テ其行為ハ委託者ノ爲メニ效力ヲ生シ問屋ハ其差額ヨリ生スル利益ヲ自己ニ歸セシムルヲ得サルノ結果ヲ生ス

問屋ハ第三者ヲ相手方トシテ販賣又ハ買入ヲ爲スヲ原則トス其取引ヲ第三者ト爲サスシテ自己ト爲スカ如キハ一方ニ於テハ委託者ノ計算ヲ以テシ他方ニ於テハ自己ノ計算ヲ以テ其取引ヲ爲スコトト爲リ同一人ニシテ同一行為ニ付

キ利害相反スルニ資格ヲ兼テ有スルニ至ルヘキカ故ニ此ノ如キハ委託ノ原則ト相容レサルモノタリ然レトモ問屋營業ニハ特別ノ事情存スルカ故ニ此原則ヲ絕對ニ主張スルヲ得ス蓋シ問屋ハ終始物品ノ販賣若クハ買入ニ付キ他人ヨリ委託ヲ受クルコトヲ業トシラ世上ニ立ツ者ナルカ故ニ其委託ヲ受クルコトハ一歳中一ニシテ止マラス隨テ未タ委託ヲ受ケサル時ニ在リテモ將ニ受ケントスル委託ニ應スルカ爲メ豫メ自己ノ計算ヲ以テ物品ノ買入ヲ爲シ之カ準備ヲ爲スノ必要アリ之ヲ委託者ノ方面ヨリ觀ルモ問屋ニ販賣又ハ買入ノ委託ヲ爲ササル以前ニ於テ問屋カ既ニ自身ニ商品ヲ貯藏シテ委託ノ至ルヤ即時ニ之ニ應シテ其需用ヲ充タスノ準備アルニ於テハ其利便殊ニ大ナルモノアルヘキナリ故ニ問屋ヲシテ將ニ至ラントスル委託ニ對スル準備トシテ販賣ノ委託ヲ受ケタル物品ノ買主ト爲リ之ニ因リテ貯藏スル所ノ物品ヲ以テ更ニ他ノ買入委託ニ對シテ賣主トシテ立ツコトヲ得セシムルハ問屋營業ノ性質トシテ必要ナル事柄タリ一方ニ於テ此ノ如キ特質アルニ省ミ又他方ニ於テ委託ノ原則ニ大ナル衝突ヲ來ササル限りニ於テ我高法ハ一定ノ條件ノ下ニ問屋自ラ販賣又

ハ買入ノ委託ヲ受ケタル物品ノ買主又ハ賣主ト爲リ得ヘキコトヲ認容シタリ其場合ハ即チ問屋カ取引所ノ相場アル物品ノ販賣又ハ買入ノ委託ヲ受ケタルトキ是ナリ蓋シ一般ノ場合ニ於テ廣ク問屋自ラ賣主又ハ買主ト爲ルコトヲ許ストキハ前陳セル委託ノ原則ヲ無視スル殊ニ甚シキ結果ヲ生スルノ虞アルモ唯リ取引所ノ相場アル物品ニ付テハ其代價ハ取引所ノ相場ニ伴フテ定マルカ故ニ縱令問屋ヲシテ買主又ハ賣主タラシムルモ委託者ノ爲メニ敢テ不利ナルコトナク之ヲ認容スル方却テ問屋委託者ノ雙方ニ取り極メテ便利ナルヘケルハナリ而シテ其代價ヲ定ムルニ付テハ問屋カ買主又ハ賣主ト爲リタルコトノ通知ヲ發シタル時ニ於ケル取引所ノ相場ヲ標準トスヘキモノトス(第三一七條第一項)

右ノ如ク問屋カ自ラ買主又ハ賣主ト爲リタルトキハ一面ニ於テハ受託者タリ他ノ一面ニ於テハ買主又ハ賣主タルカ故ニ委託者ニ對シ受託者タル權利義務アルト同時ニ買主又ハ賣主トシテノ權利義務アルコト勿論ナリ

② 報告及ヒ通知ノ義務

委託者ハ問屋ノ委託行爲處理ノ狀況ヲ知ルノ必要アリ又問屋カ委託行爲ヲ爲シタルトキハ速ニカ通知ヲ受タルノ必要アリ蓋シ委託者ハ委託行爲處理ノ狀況又ハ其行爲ノ成否ニ因リ臨機ノ處置ヲ施ササルヘカラサルコトアレハナリ故ニ法律ハ委託者ノ請求アルトキハ問屋ハ何時ニテモ委託行爲處理ノ狀況ヲ報告シ又委託行爲ヲ爲シタルトキハ運滞ナク委託者ニ通知スルコトヲ要スルモノトセリ第三一四條第二項第三一九條第三七條民法第六四五條

(B) 計算ノ義務

問屋ハ委託行爲ヲ爲スニ當タリ委託者ノ爲メニ受取リタル金錢其他ノ物及ヒ收取シタル果實ヲ委託者ニ引渡ササルヘカラス第三一四條第二項民法第六四六條第一項然レトモ委託者カ之ヲ受取ルコトヲ拒ミ又ハ之ヲ受取ルコト能ハサルトキハ問屋ハ之カ引渡ヲ爲サスシテ計算ノ義務ヲ免ルルコトヲ得サルヘカラス而シテ問屋カ買入ノ委託ヲ受ケタル場合ニ於テ委託者カ其買入レタル物品ヲ受取ルコトヲ拒ミ又ハ之ヲ受取ルコト能ハサルトキハ其物品ヲ供託シ又ハ相當ノ期間ヲ定メテ催告損敗シ易キ物ニ付テハ此催告ヲ要セスヲ爲シタ

ル後之ヲ競賣スルコトヲ得但此等ノ場合ニ於テハ運滞ナク委託者ニ對シテ供託又ハ競賣ノ通知ヲ發スルコトヲ要シ且競賣ノ場合ニ於テハ其代價ヲ供託スルコトヲ要スルモノトセリ第三一八條第二八六條尙ホ法律ハ販賣ノ委託ヲ受ケタル場合及ヒ收取シタル果實ニ付キ特別ノ規定ヲ設ケスト雖モ此等ノ場合ニ於テモ供託ヲ爲シテ其義務ヲ免ルコトヲ得ルハ論ナシ(民法第四九四條)

問屋ハ受取リタル物ノ引渡ヲ爲スノ義務ヲ負フト同時ニ其委託事務ヲ處理スルニ當リ自己ノ名ヲ以テ取得シタル權利ハ之ヲ委託者ニ移轉セサルヘカラス蓋シ述ヘタルカ如ク問屋行爲ハ委託者ト問屋トノ關係ニ於テハ委託者ハ問屋ニ對シテ直チニ其行爲ニ因リテ取得シタル權利ヲ主張シ得ヘシト雖モ其相手方ニ對スル關係ニ於テハ問屋營業者カ唯一ノ當事者トシテ立チ委託者ハ其行爲ノ相手方タル第三者ニ對シテハ何等ノ權利ヲモ主張シ得サルモノナルカ故ニ委託者ヲシテ其第三者ニ對シテ直接ニ權利ヲ主張シ得セシムルカ爲メ問屋ニ此ノ如キ權利移轉ノ義務ヲ負ハシムルハ固ヨリ當然ノ事柄タリ第三一四條第二項民法第六四六條第二項

(七) 相手方ノ債務ヲ履行スル義務

一般ノ委任ニ在リテハ相手方カ債務ヲ履行セサル場合ニ於テ受任者カ自ラ之ヲ履行スル責任セスト雖モ取次ニ在リテハ委託者ハ直接ニ相手方ニ對シテ權利ヲ有セサルカ故ニ相手方カ其債務ヲ履行セサル場合ニ於テハ取次人ヲシテ其履行ノ責任セシムルノ必要アリ然レトモ若シ別段ノ意思表示又ハ之ニ異ナル慣習アルトキハ固ヨリ其意思及ヒ慣習ニ從フヘキモノトス蓋シ外國ノ立法例ニ據レハ別段ノ意思表示又ハ慣習アルトキ若クハ問屋カ委託者ニ對シ相手方ノ何人ナルカヲ通知セザリシトキニ限り問屋ヲシテ履行ノ責任セシメ其他ノ場合ニ於テハ履行ノ責任ヲ負ハシメサルモノ多キニ居ルト雖モ我商法ハ問屋ヲシテ委託事務ノ處理ニ忠實ナラシメ以テ其取引ヲ確實ナラシムルカ爲メ且ハ我國從來ノ慣習ニ酌ミ之ト反對ノ原則ヲ採用シタルナリ(第三一五條)

(八) 損害賠償ノ義務

問屋カ委託者ニ引渡スヘキ金錢又ハ其利益ノ爲メニ使用スヘキ金錢ヲ自己ノ爲メニ消費シタルトキハ其消費ノ日以後ノ利息ヲ拂フコトヲ要シ尙ホ其消費シタル爲メ委託者ニ損害ヲ被ラシメタルトキハ之ヲ賠償セサルヘカラス而シテ其利息ハ特約ナキ限りハ年六分トス(第二七六條民法第六四七條)

(九) 必要ナル處分ヲ爲ス義務

問屋ハ問屋契約終了ノ場合ニ於テ其受託行爲ニ付キ必要ナル處分ヲ爲ス義務アリ(第三一四條第二項民法第六五四條)

(十) 問屋ノ權利

問屋ノ權利ハ一面ニ於テ委託者ノ義務ナリ分チテ左ノ三トス

(一) 報酬ヲ受クル權利

凡ソ商人カ其營業ノ範圍内ニ於テ他人ノ爲メニ或行爲ヲ爲シタルトキハ特約ヲ以テ報酬ヲ受クヘキコトヲ定メサル場合ニ於テモ相當ノ報酬ヲ請求スルコトヲ得ルモノナリ而シテ問屋カ商人タルコトハ既ニ述ヘタル所ニシテ問屋カ委託者ノ爲メニ爲ス行爲ハ其營業ノ範圍内ニ於テ他人ノ爲メニ爲ス行爲タル固ヨリナルヲ以テ問屋カ受託行爲ヲ爲シタルトキハ委託者ニ對シ相當ノ報酬ヲ請求スル權利アリ是レ一般ノ委任ト全ク相反スル所ニシテ一般ノ委任ニ在

リテハ受任者ハ必スシモ報酬ヲ得ルノ目的ヲ以テ其委任ヲ受クルモノニ非サルカ故ニ苟モ報酬ヲ受クヘキ特約ナキ限りハ委任者ニ對シテ報酬ヲ請求スルコトヲ得サルモノトセリト雖モ商人カ其營業ノ範圍内ニ於テ他人ノ委託ヲ受クルハ其目的ニ營利ニ在ルヲ以テ特約ヲ待タスシテ報酬ヲ受クル權利アルモノトシタルナリ而シテ其報酬ノ額ハ法文ニ相當トアルカ故ニ其行爲ノ難易繁簡其他ノ事情ニ應シ當事者ノ協議ヲ以テ之ヲ定ムヘク若シ協議纏ラサルトキハ裁判所ノ判定ヲ待ツヘキノミ(第二七四條、民法第六四八條第一項)

報酬ノ請求ハ原則トシテ問屋カ受託行爲ヲ爲シ了リタル後ニ非ザレハ之ヲ爲スコトヲ得ス然レトモ期間ヲ以テ報酬ヲ定メタルトキハ未タ受託行爲ヲ爲シ了ラサル場合ニ於テモ既ニ經過シタル期間ニ對スル報酬ヲ請求スルコトヲ得ヘク又問屋ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リ受託行爲ヲ爲シ了ラサル前問屋契約カ終了シタルトキハ問屋ハ其既ニ爲シタル行爲ノ割合ニ應シテ報酬ヲ請求スルコトヲ得ヘシ(第三一四條第二項、民法第六四八條第二項、第三項)

問屋ハ通常第三者ヲ相手方トシテ販賣又ハ買入ヲ爲スモノナリト雖モ或一定

ノ場合ニ於テハ自ら買主又ハ賣主ト爲ルコトヲ得ルハ既ニ述ヘタルカ如シ而シテ此場合ニ於テハ問屋ト委託者トノ關係ハ問屋關係ト云ハンヨリハ寧ロ賣買關係ヲ生スルニ止マルヲ以テ報酬ヲ請求スルコトヲ得サルニ似タリト雖モ委託者カ委託ノ目的ヲ達スルノ點ニ於テハ第三者カ買主又ハ賣主タル場合トモ異ナルコトナク又問屋ニ在リテモ擬ニ述ヘタルカ如ク自ら買主ト爲リ賣主ト爲ルハ其之アルヲ期シテ豫メ即時委託施行ノ準備ヲ爲シタル結果ナルカ故ニ此場合ト雖モ之ニ報酬ヲ受クルノ權利ヲ認ムルハ口錢ヲ以テ其骨髓トセラル問屋營業ニ取リテ最モ至當ノ事柄ナリ故ニ法ハ特ニ第三百十七條第二項ヲ以テ此場合ニ於テモ問屋ハ委託者ニ對シテ報酬ヲ請求スルコトヲ得ト規定シタリ

(3) 費用ノ支拂ヲ受クル權利

問屋カ受託行爲ヲ爲スニ付キ費用ヲ要スルトキハ委託者ニ對シ其前拂ヲ請求スルコトヲ得ヘク又必要ト認ムヘキ費用ヲ出シタルトキハ委託者ニ對シ其支出額及ヒ其支出ノ日以後ニ於ケル利息ヲ償還セシムルコトヲ得ヘシ而シテ如



何ナル費用ヲ要スルカハ各場合ニ因リ必スシモ同シカラスト雖モ證書作成ノ費用仲立人運送人保險者倉庫業者等ニ支拂フヘキ費用ノ如キハ其例トシテ舉クルコトヲ得ヘシ(第三一四條第二項民法第六四九條第六五〇條第一項)

(ハ) 留置權

問屋ハ受託行爲ヲ爲シタルニ因リ委託者ニ對シテ生シタル債權ノ辨濟ヲ受クルマテ委託者ノ爲メニ占有セル物ヲ留置スル權利アリ而シテ此留置權タルヤ其性質ノ然ラシムル所トシテ一般ノ商事留置權ノ如ク其債權カ商人間ニ於テ其雙方ノ爲メニ商行爲タル行爲ニ因リテ生シタルコト及ヒ其占有セル物カ債務者トノ間ニ於ケル商行爲ニ因リテ自己ノ占有ニ歸シタルコトヲ要セスト雖モ其債權カ辨濟期ニ在ルコト及ヒ其物ノ占有カ不法行爲ニ因リテ始マリタルニ非サルコトヲ要スルヤ論ナク且留置權ヲ有セサル旨ノ特約アルトキハ固ヨリ其特約ニ從ハサルヘカラス(第三一九條第四一條第二八四條)

問屋營業ニ關スル説明ヲ終ルニ臨ミ一言スヘキモノアリ他ナシ問屋營業ニ關スル規定ハ既ニ一言シタル如ク賣買及ヒ運送ニ關スル取次營業以外ノ取次營

業ニ準用スヘキモノナルコト是ナリ即チ商法第三百二十條ニ本章問屋營業ノ規定ハ自己ノ名ヲ以テ他人ノ爲メニ販賣又ハ買入ニ非サル行爲ヲ爲スヲ業トスル者ニ之ヲ準用ス(ト規定セリ而シテ此規定ハ販賣又ハ買入ニ非サル云云ト言ヘルカ故ニ運送ニ關スル取次營業モ自ラ此規定ニ包含セラルルカ如シト雖モ第三百二十一條第二項ニハ特ニ問屋ニ關スル規定ヲ運送取扱人ニ準用スル旨ヲ規定セルヲ以テ之ヲ包含セサルモノト解セサルヘカラス然レトモ其結果ニ於テハ之ヲ包含スルト異ナルコトナシ又學者ハ買運送以外ノ取次營業ヲ以テ問屋營業ト稱スルモ稱呼穩當ヲ缺ケリ是レ當ニ取次營業ニ付テノミナラス民法商法ニ於テ往來學者ノ誤解ヲ爲セル所ナリト雖モ法規ヲ讀ム者ハ規定ノ準用ハ其準用ヲ受クル事項カ其規定ニ準スヘキモノタルニ非スシテ唯其規定カ準用セララルルニ過キサナルコトニ注意セサルヘカラス故ニ余ハ縱令準ノ字ヲ冠スルモ其事項ニ名クルニ問屋ナル稱呼ヲ以テスルヲ穩當ナラスト思考セリ

賣買運送以外ノ取次營業ハ其種類極メテ多カルヘシト雖モ其顯著ナルモノヲ

示セハ保險ノ取次手形ノ取次銀行取引ノ取次等ノ如シ

第七章 運送取扱營業

運送取扱營業ハ前章ニ於テ一言シタル如ク取次ノ一種ニシテ取次ノ目的タル法律行為カ物品運送契約ナルトキハ之ヲ營業トスル者ヲ運送取扱人ト稱シ其營業ヲ運送取扱營業ト稱スルナリ商法第三百二十一條第一項ハ此趣旨ヲ以テ運送取扱人ノ定義ヲ下シ運送取扱人トハ自己ノ名ヲ以テ物品運送ノ取次ヲ爲スヲ業トスル者ヲ謂フト規定セリ然レトモ取次ハ其性質上常ニ自己ノ名ヲ以テシ他人ノ名ヲ以テスルモノニ非サルカ故ニ自己ノ名ヲ以テ云ヘル一句ハ取次ナル語ト重複スル嫌ナシトセス固ヨリ商法ハ取次ナル語ノ定解ヲ與ヘス隨テ其自己ノ名ヲ以テスルモノタルコトヲ明言セスト雖モ第二百六十四條第十一號第三百十三條第三百二十條等ヲ對照スルトキハ取次ナルモノハ自己ノ名ヲ以テ他人ノ爲メニ或行爲ヲ爲スニ在ルコトハ極メテ明カナルカ故ニ自己ノ名ヲ以テ取次ヲ爲スト云フカ如キハ頗ル用語ノ正確ヲ缺ケリ若シ強ヒテ自

己ノ名ヲ以テスルコトヲ明言セント欲セハ寧ロ運送取扱人トハ自己ノ名ヲ以テ他人ノ爲メニ物品運送契約ヲ爲スヲ業トスル者ヲ謂フト爲スノ至當ナルヲ信スルナリ

運送取扱營業ハ自己ノ名ヲ以テスルコト、他人ノ爲メニスルコト、物品運送契約ヲ爲スコト及ヒ業トスルコトノ四要素ヲ包含セリ而シテ第一、第二及ヒ第四ノ要素ハ問屋營業ニ付テ述ヘタル所ト同一ナルカ故ニ之ヲ省キ第三ノ要素ニ付テノミ説明セント欲ス然レトモ是レ亦次章ニ於テ詳説スヘキモノニ係ルヲ以テ此ニハ唯其大體ヲ一言スルニ止ムヘシ

運送トハ人又ハ物ヲ或場所ヨリ或他ノ場所ニ移轉スルヲ謂ヒ運送契約トハ其運送ヲ目的トスル契約ニシテ當事者ノ一方ヨリ相手方ニ運送ヲ爲スコトヲ委託シ相手方カ之ヲ承諾スルニ因リテ成ルモノナリ而シテ運送契約カ人ノ運送ヲ目的トスルトキハ之ヲ旅客運送契約ト稱シ物ノ運送ヲ目的トスルトキハ之ヲ物品運送契約ト稱ス然レトモ此ニ所謂物品ナル語ハ問屋營業ノ場合ニ於ケル物品ナル語ト大ニ其趣ヲ異ニセリ蓋シ問屋營業ノ場合ニ於ケル物品ナル語

ハ賣買カ財産權ヲ移轉スルモノタル點ヨリシテ物ノ所有權ヲ意味スルコトハ嘗テ述ヘタル如シト雖モ物ノ運送ハ物自體ヲ運送スルモノニシテ權利ノ運送ナルコトハ想像モ尙ホ及ハサル所ナリ又問屋ノ場合ニ於ケル物品ナル語ハ金錢カ賣買ノ目的タルコトヲ得サルノ點ヨリ自ラ金錢ヲ包含セスト雖モ運送カ金錢ニ付テモ行ハルルハ言フヲ埃タス尙ホ運送ノ目的タル物品カ動産ニ限ルコトハ運送ナルモノノ性質上極メテ明カナル所ニシテ問屋營業ノ場合ニ於ケルカ如ク疑ヲ生スルコトナシ

上來述ヘタル如ク運送取扱營業ハ物品運送契約ヲ爲スコトヲ目的トスルモノナリト雖モ物品運送契約ニハ陸上湖川及ヒ港灣ニ於ケル運送ニ關スルモノト海上ニ於ケル運送ニ關スルモノトアリ又運送ヲ營業トスル者ト締結スルモアリ之ヲ營業トセサル者ト締結スルモアリ而シテ運送取扱營業ノ目的タル運送契約ハ果シテ此等ノモノヲ總テ包含スルヤ否ヤニ付テハ余輩ハ總テ積極的ノ解答ヲ與フルヲ至當ナリト信ス尤モ此事ニ付テハ運送取扱營業ノ規定ニ於テ常ニ運送人下ル文字ヲ用ヒ而シテ運送人ナル者ハ陸上湖川及ヒ港灣ニ於テ運

送ヲ爲スコトヲ業トスル者ニ限ラレタル名稱ナルカ故ニ(第三三一條運送取扱營業ノ目的タル運送契約ハ陸上湖川及ヒ港灣ノ運送契約ノミニ限ラル且運送ヲ營業トセサル者ト締結スル運送契約ヲ包含セサルモノト解スヘキカ如ク見ニ實際爾カク論スルノ學者ナキニ非スト雖モ是レ唯法文ノ文字ニ拘泥スル偏狹ナル議論タルニ止マリ文字以外ニ爾カク論スヘキ何等ノ根底ヲ有セザルノミナラス實際上運送取扱ノ規定ハ之ヲ海上ニ於ケル運送人又ハ運送ヲ營業トセサル者ト締結スル運送取次ニ適用スルノ必要アルコト殆ト多辯ヲ要セザル所ナリ法文ノ用語ヲ難スルハ可ナリ之カ爲メニ全ク運送取扱ノ規定ヲ爲スニ至リタル立法ノ趣旨ヲ没却スルハ余ノ執ラザル所ナリ

運送取扱營業ハ取次タル點ニ於テ問屋營業ト同一ナルカ故ニ問屋ニ關スル規定ハ商法第三編第七章ニ別段ノ規定アル場合ノ外運送取扱人ニ準用セラルルモノトス(第三二一條第二項)

第一 運送取扱人ト運送人トノ關係

運送取扱人ハ自己ノ名ヲ以テ物品運送契約ヲ爲ス者ナルカ故ニ運送人ニ對シ

ヲハ荷送人トシテノ權利ヲ得義務ヲ負フコト論ヲ埃タス而シテ荷送人ノ權利義務ニ付テハ次章ニ於テ詳説スヘキヲ以テ此ニハ之ヲ省ク第三二一條第二項、第三一四條第一項、第三二七條

第二 運送取扱人ト委託者トノ關係
 (一) 運送取扱人ノ義務
 運送取扱人ノ主タル義務ハ受託行為タル運送契約ヲ爲スニ在リ然レトモ法律ハ反對ノ特約ナキ限リハ運送取扱人自ラ運送ヲ爲スコトヲ許セリ是レ間屋ト大ニ異ナル所ニシテ間屋ハ自ラ受託行為ノ相手方ト爲ルコトヲ得サルヲ原則トシ唯一定ノ場合ニ限リ例外トシテ其相手方ト爲ルコトヲ得ルニ過キスト雖モ運送取扱人ハ自ラ受託行為ノ相手方ト爲ルコトヲ得ルヲ原則トシ單ニ反對ノ特約アル場合ニ限リ其相手方ト爲ルコトヲ得サルモノトセルナリ而シテ運送取扱人カ自ラ運送ヲ爲シタル場合ニ於テ運送人トシテノ權利ヲ得義務ヲ負フヘキハ固ヨリ當然ナリ(第三二七條)
 此ニ一問題アリ運送取扱人ハ自ラ運送契約ヲ爲サスシテ更ニ他ノ運送取扱人

ヲシテ取次ヲ爲サシムルコトヲ得ルヤ否ヤノ點是ナリ人或ハ商法第二百六十七條ノ規定ヲ援用シ之ヲ積極ニ決スル者アリト雖モ頗ル謬見ニシテ辯駁ノ價値ナシト信ス然レトモ第三百二十二條ニ他ノ運送取扱人ノ選擇ナル語アリ又第三百二十五條ニ「數人相次テ運送ノ取次ヲ爲ス云云」語アリ此等ノ語ニ徴シテ立法ノ趣旨ヲ稽フルトキハ或ハ運送取扱人ハ他ノ運送取扱人ヲシテ取次ヲ爲サシムルコトヲ得ルニ似タリト雖モ此等ノ語ハ單ニ再取次ノ場合アルコトヲ想像セルニ止マリ果シテ運送取扱人ニ再取次ヲ爲サシムル權限アリヤ否ヤハ未タ之ヲ決セサルモノナリ殊ニ委任及ヒ代理ニ關スル規定ニ依リテ之ヲ觀ルモ寧ロ之ヲ消極ニ決セサルヘカラス故ニ余ハ委託者ノ許諾ヲ得サル限リハ再取次ヲ爲サシムルコトヲ得サルナリト解スルニ躊躇セザルナリ
 運送取扱人ハ運送ノ取次ヲ爲スニ方リテ善良ナル管理者ノ注意ヲ以テスヘキコト間屋ニ付テ述ヘタル所ニ同シ故ニ運送取扱人ハ自己ノ引受ケタル運送品ヲ運送ニ付スルマテ適當ナル注意ヲ以テ之ヲ保管シ又其之ヲ託スル運送人ノ選擇ニ付キ適當ナル注意ヲ用ヒタル場合ニハ自己ノ責任ヲ完了シタルモノニ



シテ亦其運送品ニ生シタル故障ニ付キ何等ノ責任ヲ負フヘキニ非ス併シナカラ元來運送ノ業タルヤ通例數人ノ手ヲ經テ漸ク其目的ヲ達シ得ヘキモノナルヲ以テ若シ其運送品ニ付キ毀滅延著ノ事故ヲ生シタルトキハ其事故ノ發生箇所ハ果シテ何レナルヤヲ知ルコト極メテ困難ニシテ荷送人又ハ荷受人ニ取リテハ之ヲ指摘スルコト事實上殆ト不能ノ事柄タリ故ニ運送取扱人ノ責任ハ之ヲ自己ノ所管行為ニ限ルヘキモノトスルモ彼レカ運送ノ取次ヲ爲スニ當リ果シテ相當ノ注意ヲ加ヘタルヤ否ヤニ付テハ寧ロ彼ニ之カ舉證ノ責任ヲ負擔セシメ以テ取次委託者ヲ保護シテ運送ノ安全ヲ計ルノ必要アリ之ヲ以テ法律ハ運送品ノ延著毀損又ハ滅失ニ付キ運送取扱人ハ自己又ハ其使用人カ運送品ノ受取引渡保管ニ付キ注意ヲ怠ラサリシコト及ヒ運送人又ハ他ノ運送取扱人ノ選擇其他運送ニ關スル注意ヲ怠ラサリシコトヲ證明スルニ非サレハ其損害賠償ノ責ヲ免ルルコトヲ得スト規定シ之ヲ證明シ得ザル場合ニハ其運送品ニ生シタル故障ニ付キ損害ヲ賠償スルノ責任アルモノト爲セリ此責任ニ對シテ例外ヲ爲スハ運送品カ貨幣有價證券其他ノ高價品ナルトキ委託者カ委託ヲ爲ス

ニ當リ其種類及ヒ價額ヲ明告セザリシ場合ナリ蓋シ此等ノ高價品ハ殊ニ紛失毀損ノ生シ易キ虞アルモノナルカ故ニ其運送ニハ特別ノ注意ヲ要シ現ニ此種ノ運送品ニ對シテハ通常貨物ト異ナリ特ニ高價ノ運賃率ヲ設ケタルモノナリ然ルニ其貨物ノ種類ヲ明告セズシテ相當ノ注意ヲ加フルニ由ナカラシメ其價格ヲ祕シテ比較的高額ノ運賃負擔ヲ免レントシタル場合ニハ其運送品ニ故障ヲ生シタリトスルモ其損害ハ取次委託者ニ於テ之ヲ負擔スヘキコト理ノ當然ナレハナリ而シテ此運送取扱人ノ責任ハ運送品ノ延著毀損又ハ一部ノ滅失ニ關スルトキハ荷受人カ運送品ヲ受取リタル日ヨリ又運送品ノ全部滅失ニ關スルトキハ其引渡アルヘカリシ日ヨリ一年ヲ經過スルニ因リテ時効ニ罹ルモノトス但運送取扱人ニ惡意アリタルトキハ一般ノ規定ニ從フヘキモノトス第三二條第三三〇條第三二八條

以上ハ運送取扱人ノ義務ニシテ問屋ト異ナルモノニ付テノミ説明セリ此他問屋ノ義務トシテ述ヘタル所ハ運送取扱人ニモ準用セララルモノト知ルヘシ運送取扱人ノ義務ハ一面ニ於テ委託者ノ權利タリ而シテ此權利ハ一種ノ債權

ニ外ナラサルカ故ニ其移轉ヲ爲スニハ債權ニ關スル規定ニ依リテ支配セラルルヘキコト論ナシト雖モ茲ニ一ノ例外アリ商法ハ運送契約ニ關スル規定ヲ之ニ準用シ運送品カ到達地ニ達シタル後ハ荷受人ハ運送取扱契約ニ因リテ生シタル委託者ノ權利ヲ取得スルモノト爲セリ(第三三〇條第三四三條)

(二) 運送取扱人ノ權利ニ付テモ問屋ノ權利トシテ述ヘタル所ト異ナラス而シテ運送取扱人ノ權利ニ付テモ問屋ノ權利トシテ述ヘタル所ト異ナラス而シテ運送取扱人ハ運送品ヲ運送人ニ引渡シタルトキハ直チニ其報酬ヲ請求スルコトヲ得ヘシ是レ蓋シ運送ノ取次ハ其引渡ニ因リテ終了シタルモノナレハナリ但運送取扱契約ヲ以テ運送賃ノ額ヲ定メタル場合ニ於テハ其運送賃中ニ報酬ヲモ包含セシムルコト通常ナルカ故ニ特約アルニ非サレハ報酬ヲ請求スルコトヲ得ス(第三二三條)又運送取扱人カ運送品ヲ留置スル權利ハ報酬運送賃其他委託者ノ爲メニ立替ヘ又ハ前貸ヲ爲シタル金額ニ付テノミ行フコトヲ得ヘシ(第三二四條)蓋シ問屋ノ場合ニ問屋營業者カ第四十一條(第三一九條)ニ規定セル無制限ノ留置權ヲ有スルニ反シ運送取扱人ノ留置權ヲ如上ノ債權ニ付テノミ認

メ其範圍ヲ限定シタルハ畢竟荷受人ヲ保護スルノ趣旨ニ基ケルモノナリ而シテ運送取扱人カ有スル此等ノ權利ハ數人相次テ運送ノ取次ヲ爲シタル場合ニ於テハ後ノ運送取扱人ハ前ノ運送取扱人ニ代リテ其權利ヲ行フ義務ヲ負フモノニシテ且後ノ運送取扱人カ前ノ運送取扱人ニ對シ辨濟ヲ爲シタルトキハ後ノ運送取扱人ハ前ノ運送取扱人ノ有スル權利ヲ取得スルモノトス(第三二五條)又運送取扱人カ運送人ニ辨濟ヲ爲シタルトキハ運送人ノ荷受人ニ對スル權利ヲ取得ス(第三二六條)是レ皆實際ノ便宜ヲ計リタル規定ニシテ以テ運送ヲ迅速ニ進捗セシムル爲メニ外ナラス而シテ運送取扱人ノ委託者又ハ荷受人ニ對スル權利ハ一年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅スルモノニシテ運送取扱人ノ責任ニ關スル時効ノ規定ト彼此其權衡ヲ保チ居ルナリ(第三二九條)

第八章 運送營業

運送トハ物又ハ人ヲ或場所ヨリ或他ノ場所ニ移轉スルヲ謂フ而シテ物ニ關スル運送ヲ物品運送ト稱シ人ニ關スル運送ヲ旅客運送ト稱ス又運送ハ陸上湖川



又ハ港灣ニ於テ行ハルルコトアリ海上ニ於テ行ハルルコトアリ前者ヲ陸上運送ト稱シ後者ヲ海上運送ト稱ス本章ニ於テ説明セントスル所ハ此陸上運送ニ關スル場合ナリ

運送行爲ハ取次行爲ト同シク所謂主觀的又ハ相對的商行爲ニシテ之ヲ營業トスル場合ニ限リ商行為タルモノトス是レ商法第三編第八章ニ於テ特ニ運送營業ト稱シ之ヲ營業トスル場合ニ付テノミ規定ヲ設ケタル所以ニシテ營業トセサル運送ニ關シテハ同章ノ規定ヲ適用スヘキ限ニ在ラサルナリ

運送契約ノ性質如何ノ問題ニ付テハ學說極メテ區區ニ歧レ或ハ請負ナリト云ヒ寄託ナリト説キ雇傭又ハ委任ナリト解シ或ハ請負ト寄託又ハ雇傭ト寄託トノ混成シタルモノナリト爲シ或ハ無名契約ナリト論スル者モアルナリ併シナカラ現行法規ノ解釋トシテハ運送業者カ仕事ヲ完成シテ報酬ヲ受クルノ點ヨリ觀察シテ之ヲ一種ノ請負契約ナリト解スル方最モ至當ナルカ如シ尤モ之ニ付テハ學者間ニ異論ヲ唱フル者尠カラスト雖モ運送ニ關スル各種ノ規定ヲ說明スルノ上ニ於テハ爾カク論スル方極メテ便利ナルモノアリト信スルナリ

運送契約ノ相手方タル運送者カ陸上又ハ湖川港灣ニ於テ運送ヲ爲スコトヲ業トスル者ナルトキハ特ニ之ヲ運送人ト稱ス(第三一條)故ニ單ニ運送人ト稱スルトキハ常ニ陸上湖川港灣ヲ含ム運送業者ヲ指スモノナリト知ルヘシ而シテ湖川港灣ノ範圍ハ商法施行法第二百二十二條ニ基キ明治三十二年五月逕信省令第二十號ヲ以テ湖川港灣ノ範圍ハ平水航路ノ區域ニ依ルト定メタルヲ以テ就テ看ルヘシ

本章ハ之ヲ二節ニ分チ第一節ニ於テ物品運送ヲ説明シ第二節ニ於テ旅客運送ヲ説明セントス

第一節 物品運送

物品運送ノ目的タル物品ハ總テノ動産ヲ指スモノニシテ荷モ其動産ノ性質カ運送ニ適シ且法令ニ依リテ別段ニ其運送ヲ禁止セラレサルモノナル以上ハ其如何ナル種類ノ物タルヲ問ハサルナリ

第一 運送人ト荷送人トノ關係

(一) 運送人ノ義務

運送人ノ義務ハ一面ニ於テ荷送人ノ權利ナリ即チ左ノ如シ
 (5) 運送ヲ爲ス義務
 運送人ハ運送契約ノ趣旨ニ從ヒテ運送ヲ爲スコトヲ要シ其運送ヲ爲スニ當リ
 テハ善良ナル管理者ノ注意ヲ加ヘサルヘカラス故ニ運送ノ目的物トシテ自己
 ニ交付セラレタル物品ヲ保管シ其現在ノ状態ヲ毀損スルコトナクシテ引渡ヲ
 爲スニ付キ注意ヲ加フヘキハ勿論明約又ハ相當ノ期間内ニ運送ヲ完了スルコ
 トニ付キ善良ナル管理者ノ注意ヲ執ラサルヘカラス隨テ若シ此注意ヲ怠リタ
 ルカ爲メ其運送品ノ全部若クハ一部ノ引渡ヲ不能ナラシメ又ハ其相當ノ期間
 内ニ引渡ヲ爲シ能ハサラシメタルトキハ其滅失毀損又ハ延著ニ付キ損害賠償
 ノ責ニ任セサルヘカラス而シテ此責任ハ當ニ自己カ其注意ヲ怠リタル場合ニ
 於テ生スルノミナラス運送取扱人使用者其他運送ノ爲メニ使用シタル者カ注
 意ヲ怠リタル場合ニ於テモ尙ホ生スルモノニシテ若シ此責任ヲ免レント欲セ
 ハ自己又ハ運送取扱人等カ運送品ノ受取保管及ヒ運送ニ關スル諸般ノ事項ニ

關シ注意ヲ怠ラサリシコトヲ證明セサルヘカラス是レ頗ル苛酷ナル規定ニ似
 タリト雖モ曩ニ運送取扱人ニ付キ第三百二十二條ノ規定ニ關シテ述ヘタルト
 同一ノ趣旨ニ出テタルモノニシテ運送ノ安全ヲ計ルカ爲メ最モ必要ナル規定
 タリ加之數人カ相次テ運送ヲ爲ス場合ニ於テハ各運送人ヲシテ連帶シテ此責
 ニ任セシメ以テ益々荷送人ノ要價權ヲ確實ナラシメ運送ノ安固ヲ期シタリ然
 レトモ此責任ニ付テハ一ノ例外アリ即チ運送ノ目的物カ貨幣有價證券其他ノ
 高價品ナルトキハ荷送人カ運送ヲ委託スルニ當リ其種類及ヒ價額ヲ明告シタ
 ルトキニ非サレハ運送人ハ右ノ責任ヲ負フコトナシ蓋シ曩ニモ述ヘタルカ如
 ク貨幣其他高價ノ物品ニ付テハ運送人カ其高價ナルコトヲ知ルトキハ隨テ特
 段ノ注意ヲ加ヘテ之ヲ運送スヘキカ故ニ必ス多額ノ運送貨ヲ請求スヘク荷送
 人カ其物品ノ種類及ヒ價額ヲ運送人ニ告ケタル上運送契約ヲ爲シタルトキハ
 運送人ハ其特別ノ注意ヲ缺クニ因リテ生シタル損害ノ賠償ヲ爲スヘキコト當
 然ナリト雖モ荷送人カ之ヲ告ケサル場合ニ於テハ運送人ハ之ヲ通常ノ物品ト
 同一ニ取扱フヘク亦其運送貨モ通常ノ物品ト同シカルヘキヲ以テ其物ニ付キ



生シタル損害ヲ賠償セシムルハ固ヨリ其當ヲ得サレハナリ(第三三七條第三三九條第三三八條)運送人ノ負フヘキ損害賠償ノ責任ハ其損害ノ全額ニ付テ存スルコト論テ埃タス然レトモ其損害額ハ何レノ日ニ於テ其運送品カ有スル價格ニ依リテ算出スヘキカ此點ニ付テハ多少議論アリト雖モ運送品ノ價格ハ其物カ目的ノ場所ニ到達シタル時ニ於ケル價格ヲ標準トシテ定ムルコト最モ至當ナルヘキカ故ニ法ハ全部滅失ノ場合ニ於テハ其運送品ノ引渡アルヘカリシ日ニ於ケル到達地ノ相場ニ依リテ之ヲ定ムヘク一部滅失又ハ毀損ノ場合ニ於テハ其引渡アリタル日ニ於ケル到達地ノ相場ニ依リテ之ヲ定ムヘキモノト爲セリ然リト雖モ右ノ相場ハ其物品カ到達地ニ運送セラレテ始メテ生スル價額ナルカ故ニ其相場中ニハ自ラ運送貨其他運送ニ關スル費用ヲ包含セリ是ヲ以テ法律ハ其滅失又ハ毀損ノ爲メ支拂フコトヲ要セザリシ運送貨其他ノ費用ハ其相場中ヨリ控除シ其殘額ヲ以テ損害賠償ヲ定ムヘキモノト爲シタリ而シテ延著ノ場合ニ於テモ其損害カ到達スヘカリシ日ニ於ケル相場ト到達シタル日ニ於ケル相場トノ

差ニ關スルコト多キカ故ニ其到達スヘカリシ日ノ到達地ノ相場ヲ標準トシテ之ヲ算出スヘキモノトセリ(第三四〇條)運送人ノ責任ニ關セリ然ル右ハ運送人其他ノ者カ注意ヲ怠リシ場合ニ於ケル運送人ノ責任ニ關セリ然ルニ運送人ノ故意又ハ過失ニ因リテ運送品ノ滅失又ハ毀損ヲ來スコトアリ此場合ニ於テハ運送人ノ不法行爲カ其損害ノ原因ヲ爲スモノナルカ故ニ其責任ニ付テモ敢テ其範圍ヲ限定スヘキ理由ナキヲ以テ一切ノ損害ヲ賠償スヘキ責任ニ任セシメタリ故ニ其滅失毀損ヨリ生スル損害カ曩ニ述ヘタル賠償額ニ超ユルトキモ尙ホ運送人ハ之ヲ負擔セサルヘカラサルモノトス(第三四一條)以上述ヘタル運送人ノ責任ハ荷受人カ留保ヲ爲サスシテ運送品ヲ受取り且運送貨其他ノ費用ヲ支拂ヒタルトキハ消滅スルモノトス然レトモ運送品ニ直チニ發見スルコト能ハサル毀損又ハ一部滅失アリタル場合ニ於テ荷受人カ引渡ノ日ヨリ二週間内ニ運送人ニ對シテ之ヲ通知シタルトキ及ヒ運送人ニ惡意アリタル場合ニ於テハ運送人ハ其責ヲ免ルルコトヲ得サルモノトス(第三四八條)又其責任ハ假令荷受人カ留保ヲ爲シテ運送品ヲ受取りタリトスルモ其受取ノ

日ヨリ一年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス然レトモ若シ運送品ノ全部カ滅失シタル場合ニ於テハ其引渡アルヘカリシ日ヨリ之ヲ起算スヘキモノトス但運送人ニ惡意アル場合ニ於テハ右ノ時効ヲ適用スルコトナク一般不法行為ノ規定ニ依ルヘキモノナリ(第三二八條)

(二) 貨物引換證ヲ交付スル義務
 貨物引換證ハ運送品ヲ受取ル權利アルコトヲ證スル證券ニシテ此證券ニハ運送品ノ種類重量又ハ容積及ヒ其荷造ノ種類箇數並ニ記號到達地荷受人ノ氏名又ハ商號荷受人ノ氏名又ハ商號運送貨物引換證ノ作成地及ヒ其作成ノ年月日ヲ記載シ運送人之ニ署名スルコトヲ要スルモノナリ但此署名ニ付テハ明治三十三年法律第十七號ニ依リ記名捺印ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得而シテ貨物引換證ハ運送品ヲ受取ル權利アルコトヲ證スルノ用ニ供セラルルノミナラス運送人ト荷送人トノ契約ノ内容モ之ニ依リテ證セラレ其所持人ト運送人トノ間ニ於ケル運送ニ關スル事項ハ常ニ其記載ニ依リテ定マリ又此證券ノ裏書讓渡ハ所謂物權的效力ヲ生シ運送品ノ讓渡ト同一ノ效力ヲ生スルモノナリ隨テ

荷送人又ハ荷受人ヨリ其運送品ヲ讓受ケタル者ト裏書ニ依リテ貨物引換證ヲ取得シ之ヲ所持スル者トアルトキハ所持人ノ權利ハ常ニ讓受人ノ權利ニ優ルモノナリ然レトモ貨物引換證交付ノ義務ハ荷送人ノ請求アル場合ニ於テノミ存スルモノニシテ荷送人ノ請求ナキトキハ之ヲ交付スルコトヲ要セザルナリ

(二) 運送人ノ權利

運送人ノ權利ハ一面ニ於テ荷送人ノ義務タリ即チ左ノ如シ
 (一) 運送貨立替金及ヒ費用ノ辨濟ヲ受クル權利
 運送人ノ荷送人ニ對スル重ナル權利ハ運送貨ヲ受クル權利ニシテ其額ハ運送契約又ハ商慣習ニ因リテ定マルモノナリ又運送人カ立替金其他ノ費用ヲ出シタルトキハ荷送人ニ對シ之カ辨濟ヲ請求スルコトヲ得然レトモ運送品ノ全部又ハ一部カ不可抗力ニ因リテ滅失シタルトキハ運送人ハ其全部又ハ一部ニ付テノ運送貨ヲ請求スルコトヲ得ス是レ運送カ一種ノ請負ノ性質ヲ有スル結果ニシテ固ヨリ當然ノ事柄タリ此ノ如ク其本質ニ於テ既ニ運送貨請求ノ權利ナキモノナルカ故ニ若シ此場合ニ於テ運送人カ既ニ運送貨ノ全部又ハ一部ヲ受



取リ居リタルトキハ之ヲ返還セサルヘカラス尤モ之ハ運送ノ不能カ天災其他ノ已ムヲ得サル事由ニ出テタル場合ニシテ請負ノ性質上運送人カ其損害ニ甘スヘキモノナリト雖モ若シ其全部又ハ一部ノ滅失カ運送品ノ性質瑕疵又ハ荷送人ノ過失ニ因リテ生シタルモノナラシカ事ノ此ニ至ラシメタル原因ハ全ク荷送人之ヲ組成シタルモノナルカ故ニ其損害ハ之ヲ荷送人ニ負擔セシメ運送人ヲシテ運送賃ノ全額ヲ請求シ得セシムルコト最モ至當ナリ是レ第三百三十六條ノ規定アル所以ナリ

尙ホ運送人カ最初契約シタル運送ヲ完成セサルトキト雖モ尙ホ運送賃ヲ請求シ得ル場合アリ开ハ運送人カ荷送人ノ指圖ニ因リテ運送ヲ中止シ又ハ運送品ヲ返還シ其他必要ナル處分ヲ爲シタル場合ニシテ元來運送ハ専ラ荷送人又ハ荷受人ノ利益ニ基クモノナルカ故ニ此等ノ者ノ請求アリタルトキハ運送人ハ其運送ノ開始若クハ繼續ヲ中止シ運送品ノ返還其他ノ處分ヲ爲スヘキモノタリ併シナカラ此場合ニ於ケル運送ノ中止ハ一ニ彼等ノ請求ニ原因シタルモノナルヲ以テ運送人ハ既ニ爲シタル運送ノ割合ニ應シ運送賃ヲ請求スルコトヲ

得ヘク又立替金其他之カ爲メニ生シタル費用ノ償還ヲ請求シ得ヘキハ勿論ナリ(第三四二條第一項)

(ろ) 運送品ヲ留置スル權利
運送人ハ運送賃立替金及ヒ運送品ノ處分ニ關シテ支出シタル費用ニ付キ運送品ヲ留置スル權利ヲ有ス此留置權ハ運送取扱人ノ有スル留置權ト同一ナルヲ以テ別ニ説明ヲ要セス(第三四九條)

(は) 運送品ヲ供託又ハ競賣スル權利
運送人ハ時トシテ荷受人ヲ確知スルコト能ハサルコトアリ例ヘハ貨物引換證ノ所持人ヲ發見セザルトキ又ハ荷送人ノ指定シタル者ヲ發見セザルトキ等ノ如シ此場合ニ於テハ運送人ハ運送品ヲ供託スルコトヲ得ヘク供託ヲ爲シタルトキハ荷送人ニ對シ相當ノ期間相當ノ期間トハ固ヨリ事實問題ニシテ爭アルトキハ裁判所ノ判定ヲ待ツヘキノミヲ定メテ運送品ノ處分ニ付キ指圖ヲ爲スヘキ旨ヲ催告シ其指圖ニ從ヒテ運送品ヲ處分スルコトヲ要ス而シテ荷送人カ其期間内ニ指圖ヲ爲サザルトキハ運送品ヲ競賣スルコトヲ得ヘシ但此等ノ場

合ニ於テハ運滞ナク荷送人ニ對シテ其供託又ハ競賣シタルコトヲ通知セザル
 へカラス(第三四五條)
 右ハ荷受人ヲ確知スルコト能ハサル場合ニ關セリト雖モ縱令荷受人ヲ知ルコ
 トヲ得タル場合ニ於テモ運送品ノ引渡ニ付キ爭ヲ生シ荷受人カ之ヲ受取ラザ
 ルトキハ運送人ハ前段ノ場合ト同シク供託又ハ競賣ヲ爲スコトヲ得ヘシ然レ
 トモ運送人カ運送品ヲ競賣スルニハ豫メ荷受人ニ對シ相當ノ期間ヲ定メテ運
 送品ノ受取ヲ催告シ其期間經過ノ後更ニ荷送人ニ對シテ催告ヲ爲ササルヘカ
 ラス而シテ供託又ハ競賣ヲ爲シタルトキハ運滞ナク荷送人及ヒ荷受人ニ通知
 スルコトヲ要ス(第三四六條)
 尙ホ以上述ヘタル場合ニ於テ其運送品カ損敗シ易キ物品ナルトキハ催告ヲ爲
 スノ違ナキヲ以テ直チニ競賣スルコトヲ得ヘク此場合ニ於テハ其代金ヲ供託
 スヘキモノトス但運送人カ受取ルヘキ運送貨立替金費用等ニ充當スルコトヲ
 妨クサルナリ(第三四七條第二八六條)
 (五) 運送狀ヲ交付セシムル權利

運送狀ハ從來送リ狀ト稱シテ廣ク運送ノ實業界ニ行ハルルモノナリ運送狀ハ
 運送人ノ請求ニ因リ荷送人ヨリ交付スヘキモノニシテ彼ノ荷送人ノ請求ニ因
 リ運送人ヨリ交付スル所ノ貨物引換證ト相對スルモノナリ而シテ此證券ノ作
 用ハ運送契約ノ條件ヲ示スニ在リ故ニ運送品ノ種類重量又ハ容積及ヒ其荷造
 ノ種類箇數並ニ記號到達地荷受人ノ氏名又ハ商號運送狀ノ作成地及ヒ其作成
 ノ年月日等ヲ記載シ荷送人之ニ署名又ハ記名捺印スルコトヲ要ス(第三三三條)
 以上述ヘタル運送人ノ權利ハ數人相次テ運送ヲ爲ス場合ニ於テハ其運送人中
 ノ後者ハ前者ノ有スル權利ヲ前者ニ代リテ行フ義務ヲ負フモノニシテ又後者
 カ前者ノ有スル債權ヲ辨濟シタルトキハ前者ノ權利ヲ取得スルコト運送取扱
 人ニ付キ述ヘタル所ト同一ナリ(第三四九條第三二五條)
 第二 運送人ト荷受人トノ關係
 運送人ハ荷送人カ指定シ又ハ運送狀及ヒ貨物引換證ニ記載シタル荷受人ニ運
 送品ヲ引渡ササルヘカラス而シテ之ヲ引渡スヘキ地ハ到達地ナリ勿論貨物引
 換證ヲ作成シタルトキハ其證券ハ裏書ニ依リテ讓渡スコトヲ得而モ其裏書ハ



物權の效力ヲ生スルモノナルカ故ニ歸スル所貨物引換證ヲ所持スル者ニ之ヲ引渡スヘク而シテ其所持人ト運送人トノ間ニ於テハ運送ニ關スル權利義務ハ一ニ其證券ノ記載ニ依リテ決定セラルヘキモノタリ(第三三五條、第三三三條、第三三四條)運送品カ到達地ニ到達シタル後ハ荷受人又ハ貨物引換證ノ所持人ハ運送ニ因リテ生シタル荷受人ノ運送人ニ對スル權利ヲ取得シ又運送品ヲ受取リタルトキハ運送人ニ對シテ運送貨其他ノ費用ヲ支拂フ義務ヲ負フモノナリ固ヨリ荷受人カ既ニ此等ノ費用ヲ支拂ヒタル場合ハ此限ニ在ラサルコト言フヲ埃タス(第三四三條)

此他尙ハ貨物引換證ノ所持人カ運送人ニ對シテ運送ノ中止、運送品ノ返還其他運送品ニ關シ必要ナル處分ヲ請求シ得ルコトハ擬ニ述ヘタル所ノ如シ(第三四二條第一項前段)

運送人ノ荷受人又ハ貨物引換證ノ所持人ニ對スル債權ハ其權利ヲ行フコトヲ得ル時ヨリ一年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス(商法第三四九條、第三二九條)

第二節 旅客運送

旅客運送ハ人ノ運送ニシテ今日最モ頻繁ニ行ハルルハ汽車、電車、汽船其他ノ船舶、馬車、腕車、人車等ヲ用フルモノニシテ運送具トシテ馬背ヲ用フルモノモ亦稀ニ見ル所ナリ然レトモ旅客運送中ニハ旅客ノ手荷物ノ運送ヲモ包含シ旅客ノ手荷物ノ運送ハ物品運送ニ屬セス

旅客運送ノ場合ニ於テ旅客カ其運送ノ爲メニ損害ヲ受ケタルトキハ運送人ハ之カ賠償ノ責ニ任セサルヘカラス而シテ此賠償ノ責任ハ運送人カ加フヘキ注意ヲ怠リタルニ基因スルモノニシテ而モ其注意ヲ怠ラザリシコトハ運送人カ罪證ノ責ニ任セサルヘカラス加之其使用人ノ行爲ニ付ラモ自己ノ行爲ニ於ケルト同一ノ責任ヲ負擔スヘキハ物品運送ニ關スル第三百三十七條ノ規定ノ說明ト異ナルコトナシ尙ホ其損害賠償額ニ付テハ物品ノ如ク價額ヲ標準トシテ之ヲ定ムルコトヲ得サルカ故ニ若シ當事者間ニ爭アルトキハ裁判所ハ被害者及ヒ其家族ノ情況ヲ斟酌シテ之ヲ定ムヘキモノトス(第三五〇條)

旅客ノ手荷物ニ付テハ運送人カ引渡ヲ受ケタル場合ト引渡ヲ受ケサル場合ト
 區別セサルヘカラス而シテ其引渡ヲ受ケタル場合ニ於テハ運送人ノ保管ニ
 屬スルモノナルカ故ニ之カ爲メ運送賃ヲ受ケル場合ハ勿論之ヲ受ケサルトキ
 ト雖モ運送人ハ物品運送ノ場合ニ於ケルト同一ノ責任ヲ負フモノトス之ニ反
 シ引渡ヲ受ケサル手荷物ノ滅失毀損ニ付テハ自己又ハ其使用人ニ過失アルニ
 非サレハ損害賠償ノ責ニ任スルコトナシ(第三五一條第一項第三五二條)運送人
 カ引渡ヲ受ケタル旅客ノ手荷物カ到達地ニ達シタル日ヨリ一週間内ニ旅客カ
 其引渡ヲ請求セサルトキハ運送人ハ其手荷物ヲ供託シ又ハ相當ノ期間ヲ定メ
 テ催告ヲ爲シタル後之ヲ競賣スルコトヲ得ヘシ而シテ其手荷物カ損敗シ易キ
 モノナルトキ又ハ旅客ノ住所又ハ居所ノ知レサルトキハ其催告ヲ爲サスシテ
 直チニ競賣スルコトヲ妨ケス尙ホ競賣ヲ爲シタルトキハ競賣代金ヲ供託スヘ
 キ供託競賣等ハ遲滞ナク之ヲ旅客ニ通知セサルヘカラス但旅客ノ住所居所カ
 知レサルトキハ通知ヲ爲スコトヲ要セサルナリ

第九章 寄託

寄託トハ他人ニ物ノ保管ヲ託スルヲ謂フ之ヲ法律行為ノ方面ヨリ觀察スレハ
 物ノ保管ヲ託スル者及ヒ之ヲ諾スル者ノ間ニ成ル一ノ契約ナリ民法第六百五
 十七條ニ「寄託ハ當事者ノ一方カ相手方ノ爲メニ保管ヲ爲スコトヲ約シテ或
 物ヲ受取ルニ因リテ其效力ヲ生ズ下云ヘリ故ニ寄託ノ目的ハ常ニ物ノ保管ニ
 シテ此點ニ於テ他ノ契約ト區別セラル而シテ寄託ノ目的物ニ付テハ之ヲ動産
 ニ限ルモノトスル學說及ヒ立法例多シ是レ畢竟動産ニ付テハ單ニ保管ノミヲ
 託スルコトアリト雖モ不動産ニ付テハ之ト同時ニ他ノ法律行為ヲ爲スコトヲ
 委託スルヲ通例トスルカ故ニ鞏固之ヲ委任ト看做スヲ正當ナリトシタルモノ
 ニシテ頗ル幼稚ナル見解ナリト云ハサルヘカラス何トナレハ不動産ニ付テモ
 他ノ法律行為ヲ爲スコトヲ委託セシテ單ニ保管ノミヲ託スルコト實際ニ於
 テ敢テ稀ナリトモス此ノ如キ場合ニ於テ寄託ノ規定ヲ適用セシテ委任ノ規
 定ヲ適用スルハ太ク謂レナキノミナラス動産ト不動産トノ間ニ著シク權衡ヲ



失シ實際ニ於テモ亦大ニ不便ナレハナリ故ニ我民法ハ右ノ主義ヲ以テ理論ニ適セス且實際ニ應セサルモノトシ且制限ヲ廢シテ廣ク物ヲ以テ目的物ト爲スコトヲ得ルモノトセリ又寄託ハ羅馬法以來無償ノ契約ナリトスルコト一般ナリト雖モ經濟ノ發達ハ漸次無償行爲ノ數ヲ減シ物ノ保管ヲ爲スニ付テモ有償ナル場合多キカ故ニ我民法ハ亦此舊套ヲ脱シ寄託ハ有償又ハ無償何レニテモ可ナリトシタルモ特ニ報酬ヲ約セナル場合ハ無償契約ト看做スコトトセリ蓋シ勞力ト報酬トノ觀念一般ニ普及シタル今日ニ於テハ無償ニテ勞力ヲ供スル如キハ寧ロ例外ニシテ縱令明示ノ約束ナキモ相當ノ報酬ヲ伴フモノト看ルハ却テ穩當ナリト雖モ沿革上無償契約ト爲レル寄託ニ付テハ全然反對ノ主義ヲ採ルコトニ躊躇シ理論ト沿革トヲ調和シテ實際ニ便ニシタルモノナラン而シテ寄託カ有償又ハ無償ノ契約タル結果羅馬法其他歐洲多數ノ立法例ニ於ケルカ如ク必スシモ片務契約ニ非スシテ雙務又ハ片務ノ契約タリ羅馬法ニ於テモ寄託ヲ以テ不完全ナル雙務契約ナリトシ佛國法其他之ニ倣ヘル立法例少カラスト雖モ所謂不完全ナル雙務契約トハ初メ當事者ノ一方ノミ義務ヲ負ヘル契

約カ後ニ至リ他ノ原因ニ由リテ其相手方ニモ義務ヲ生スル場合アルコトヲ意味スルモノニシテ是レ寧ロ契約ノ性質ニ影響セサルモノナリ故ニ我民法上寄託ハ雙務契約タルコトアリト云フハ此ノ如キ點ヨリ觀察シタルモノニ非スシテ其報酬ノ點ヨリ觀察シタルモノナルコトニ注意セサルヘカラス然レトモ寄託ヲ踐成契約ノ一種トセルコトハ我民法モ亦各國古來ノ立法例ト其授ヲ一ニスル所ニシテ前掲第六百五十七條ニ於テ或物ヲ受取ルニ因リテ其效力ヲ生スルトアルハ即チ其意ヲ明カニシタルモノナリ是レ法律行爲ノ一般ノ原則ニ對スル著シキ例外ニ屬スト雖モ是レ寄託ノ性質ニ伴フ自然ノ結果ナリト謂フヘキナリ

寄託ノ何物タルコトハ略ホ右ニ述ヘタルカ如シ而シテ商事タル寄託ニ付テモ敢テ其性質ヲ異ニスルコトナシト雖モ寄託カ商行爲タルニハ寄託ノ引受ヲ營業トスル場合若クハ商人カ其營業ノ爲メニ寄託ノ引受ヲ爲ス場合ニ限ルモノトス故ニ寄託ハ或ハ相對的商行爲タルコトアリ或ハ附屬的商行爲タルコトアリ又商人カ其營業ノ範圍内ニ於テ爲セル行爲ニ付テハ縱令特約ナキモ相當ノ

報酬ヲ請求スルコトヲ得ルカ故ニ商行爲タル寄託ハ一般ノ寄託ニ反シ有償ヲ原則トセザルヘカラス唯當事者ノ意思又ハ商慣習ニ由リ報酬ナキモノト看做スヘキ場合ニ於テノミ無償ナリトス第二六四條第二六五條第二七四條ノ本章ニ於テ論セントスル所ハ商事タル寄託ニ特別ナル法則ニ關セリ故ニ特別ノ法則ナキ點ニ付テハ民法ノ規定カ適用セラレヘキコト勿論ニシテ而モ本章ノ規定ハ主トシテ商事寄託ノ一種ナル倉庫營業ニ關シ他ノ寄託ニ付テハ單ニ注意ノ責任ニ付キ一般ノ規定ニ對スル例外ヲ示シタルニ過キス以下節ヲ分テテ之ヲ説明セン

第一節 總則

本節ニ於テハ商事寄託一般ニ通スル注意ノ責任及ヒ客ノ來集ヲ目的トスル場屋ノ取引ニ特別ナル注意ノ責任ニ付テ説明セントス

第一 商事寄託一般ニ通スル注意ノ責任

物ノ保存又ハ保管ヲ爲スヘキ義務アル者カ其保存又ハ保管ヲ爲スニ付キ加フ

ヘキ注意ノ程度ニ重過失輕過失最輕過失ノ三段ノ區別アリトスルハ羅馬法以來多數ノ立法例ニ於テ認メラレタル所ナリト雖モ此標準ハ頗ル其根據ニ乏シキモノナルヲ以テ今日ニ於テハ殆ト之ヲ顧ミル者ナシ而シテ今日一般ニ認ムル所ノ標準ハ重過失ト輕過失ニシテ後者ヲ分チテ抽象的過失及ヒ成形的過失ト爲スニ在リ而シテ其抽象的過失ハ注意深キ人カ通常執ル所ノ注意即チ善良ナル管理者ノ注意ノ程度ヲ標準トシ成形的過失ハ人人各自カ平生自己ノ財產ニ付テ加フル注意ノ程度ヲ標準トスルモノナリ我民法ニ於テハ方今學說ノ傾向ト實際ノ必要トニ鑑ミ抽象的過失ノ責任ヲ以テ一般ノ原則トシ成形的過失ノ責任アル場合ヲ寧ロ例外ト爲セリ而シテ無償ノ寄託ニ付テハ此成形的過失ニ付キ其實ニ任ズルヲ以テ足レリトハ民法ノ執リタル主義ナリトス是レ他ナシ寄託ハ寄託者ニ於テ受寄者ノ人ト爲リ及ヒ其平生ヲ知リテ之ニ財產ヲ託スルモノナルカ故ニ受寄者カ自己ノ財產ニ於ケルト同一ノ注意ヲ加フレハ寄託者ニ於テモ敢テ不服アルヘカラスト認メタルニ由ルモノナリ然リト雖モ商事寄託ニ付テハ之ヲ一般ノ寄託ト同一ニ論スルコトヲ得ス何トナレハ商業上ニ



於ハ特ニ信用ヲ重シ以テ取引ノ圓滑ト敏捷トヲ期ス隨テ注意ノ責任ニ付テ
 民事上ノ取引ニ比シ一層重キヲ本則トスルノミナラス商事寄託ハ商人カ其
 引受ヲ營業トシ若クハ其營業ノ爲メニ之ヲ引受クルモノナルカ故ニ縱令其寄
 託ニ付テ報酬ヲ受ケサルトキト雖モ他ノ報酬アル取引ニ伴隨シテ其寄託ヲ受
 クルモノナルヲ以テ民法上ノ寄託ト同一ニ之ヲ論スルヲ得スシテ商法ハ第三
 百五十三條ニ商人カ其營業ノ範圍内ニ於テ寄託ヲ受ケタルトキハ報酬ヲ受ケ
 サルトキト雖モ善良ナル管理者ノ注意ヲ爲スコトヲ要スト規定シ民法ト全ク
 反對ノ原則ヲ採レリ此ニ所謂營業ノ範圍内ナル語ニ付テハ聊カ説明ノ要アリ
 而シテ此語ハ第二百七十四條ニモ見ユル語ニシテ稍ヤ漠然タル感ナキニ非ス
 ト雖モ要スルニ之ヲ營業トスル場合及ヒ其營業ノ爲メニスル場合ヲ指スモノ
 ニシテ例ヘハ倉庫營業ノ如キハ營業トシテ寄託ヲ受クル場合ニ屬シ客ノ來集
 ヲ目的トスル場屋ノ主人カ客ヨリ寄託ヲ受クルカ如キハ營業ノ爲メニ寄託ヲ
 受クル場合ニ屬ス然レトモ寄託ノ引受ヲ營業トスル場合ニハ無報酬ナルコト
 殆ト想像スヘカラサルカ故ニ解釋上右ノ如ク二箇ノ場合ヲ包含スルモ實際ニ

於テハ後ノ場合ニ付テノミ適用アルモノト看テ大過ナシ

第二 客ノ來集ヲ目的トスル場屋ノ取引ニ特別ナル注意ノ責任

前段ニ述ヘタル如ク商事寄託ニ付テハ其有價タルト無價タルトヲ問ハス善良
 ナル管理者ノ注意ヲ加フルコトヲ要スルモノトセリ然ルニ客ノ來集ヲ目的ト
 スル場屋ノ主人ニ付テハ一層重大ナル責任ヲ負ハシメ場屋ノ主人カ客ヨリ寄
 託ヲ受ケタル物品ニ付テハ其滅失又ハ毀損カ不可抗力ニ因ルコトヲ證明スル
 ニ非サレハ損害賠償ノ責任ヲ免ルルコトヲ得サルモノトセリ蓋シ此場合ニ於
 テハ寄託者ハ自ら其物ヲ看守スルコトヲ得サル狀況ニ在リ而シテ其主人ノ信
 用如何ヲ問フノ逸ナキヲ以テ主人ニ重大ナル責任ヲ負ハシメ以テ物ノ安全ヲ
 期シタルモノナリ此ノ如ク其物ノ保管ニ付キ注意ヲ怠ラザリシコトヲ證明ス
 ルモ尙ホ其責ヲ免ルルヲ得スシテ唯其責ヲ免レ得ル場合ヲ不可抗力ニ因リタ
 ルコトヲ證明シタルトキニ限りタルハ場屋ノ主人ニ對シテ特ニ過重ナル責任
 ヲ負ハシメタルモノニシテ立法上他ノ規定ト權衡ヲ失スルノ嫌ナシトセズ
 ニ新商法カ我國舊來ノ慣習ニ鑑ミ所謂危迫ノ寄託ニ付キ特ニ重大ナル責任ヲ



民法施行爲 寄託 總則

認ムルノ主義ヲ打破シタルニ拘ラス場屋ノ主人ノミニ付キ依然危迫寄託ノ舊主義ヲ存シタルハ多少非難ヲ免レサル所ナリ

右ハ場屋ノ主人カ客ヨリ寄託ヲ受ケタル物品ニ付テノ責任ナリ故ニ客カ場屋中ニ携帯シタル物品ニシテ特ニ寄託セサルモノニ付テハ自ら異ナル所ナカルヘカラス而シテ此場合ニ在リテハ場屋ノ主人ハ特ニ寄託ヲ受ケサルモノナルカ故ニ其毀損滅失ニ付テハ場屋ノ主人ニ毫モ責任ナキカ如シ然レトモ此場合ト雖モ客ハ終始其物ヲ看守スルコトヲ得サル事情アリ而シテ場屋ノ主人ハ自己又ハ使用人ヲシテ客ノ看守ノ及ハサル所ヲ補フヘキハ其營業ノ業體ニ於テ然ラサルコトヲ得サル所ナルヲ以テ半ハ寄託ヲ受ケタルモノト視ルラ當然トス故ニ此場合ニ於テハ場屋ノ主人又ハ其使用人ニ不注意ノ過失アルトキニ限り其物ノ毀損滅失ニ付キ損害賠償ノ責任アルモノトセリ而シテ其不注意ノ有無ヲ證明スルノ責任ニ付テハ場屋ノ主人ハ本來此責任ナキヲ通則トシ不注意アリタルトキニ限り其責任スルモノナルカ故ニ此舉證ノ責任ハ損害賠償ノ請求ヲ爲ス者ニ在リトス

場屋ノ主人カ客ノ寄託品及ヒ携帯品ノ毀損滅失ニ付キ負擔スル責任ハ特別ナル雙方ノ合意ヲ以テスルトキハ格別然ラスシテ單ニ其責任ヲ負ハサル旨ヲ告示スルコトアルモ到底之ヲ免ルルコトヲ得サルナリ一片ノ揭示ヲ爲シテ以テ此責任ヲ除却シ得ヘシトセハ場屋ノ主人ハ舉テ其告示ヲ爲スニ至ルヘク而モ客ハ其告示ニ甘シテ物品ヲ携帯セサルヲ得サル狀況ニ在ルヲ以テ當ニ場屋ノ主人ニ關スル責任ノ規定カ無用ノ贅文ニ屬スルノミナラス實際上不便ヲ醸スコト大ナリ故ニ法律ハ此ノ如キ告示ヲ爲スモ其責任ヲ免ルルコトヲ得サルモノトセリ

此ニ一ノ例外アリ是レ運送契約及ヒ運送取扱契約ニ付テ規定セル所ト同一ニシテ其物品カ貨幣有價證券其他ノ高價品ナルトキハ客カ其種類及ヒ價額ヲ明示シテ場屋ノ主人ニ寄託シタルニ非ザレハ場屋ノ主人ハ其毀損滅失ニ付キ損害賠償ヲ責ナキコト是ナリ蓋シ高價品ハ特ニ毀滅シ易キモノニシテ其保管ニハ特別ノ注意ヲ要スルモノナルカ故ニ場屋ノ主人カ其高價品ナルコトヲ知ルトキハ其保管ヲ爲スニ當タリ其價格ニ應シテ嚴密ノ注意ヲ加フヘキヲ以テ其

民法施行爲 寄託 總則

種類及價額ヲ明告シ且之ヲ寄託スルニトテ要スルモノトシタルナリ。其
 以上述ヘタル場屋主人ノ責任ニ付テハ普通ノ時効規定ヲ適用スルコト其事情
 ニ於テ酌ナルヲ以テ場屋ノ主人ニ惡意アル場合ノ外其時効ヲ一年トシ且其起
 算點ニ付テモ毀損又ハ一部滅失ノ場合ニ於テハ場屋ノ主人カ寄託物ヲ返還シ
 又ハ客カ携帶品ヲ持去リタル時ヨリ起算シ全部滅失ノ場合ニ於テハ客カ場屋
 ヲ去リタル時ヨリ起算スヘキモノトセリ而シテ場屋ノ主人ニ惡意アル場合ニ
 於テハ普通ノ時効ニ依ルヘキモノナルカ故ニ民法第七百二十四條ヲ適用セザ
 ルヘカラス(商法第二百八十五條ヲ適用スヘキモノト誤解スヘカラス同條ハ商
 行爲即チ法律行爲ヨリ生スル債權ニ關スル時効ナリ不法行爲ニ適用カシ難ク
 寄託其書示ニ付テハ商法第二百八十五條ノ規定ニ依リテ起算スル時効ニ關シテ
 其書示ニ付テハ商法第二百八十五條ノ規定ニ依リテ起算スル時効ニ關シテ
 舊商法ニ於テハ倉庫寄託ニ關スル特別ノ規定ヲ置カス商事寄託ニ關スル一般
 ノ規定ニ依ラシムルコトトセシカ新商法ニ於テハ商事寄託ニ關スル一般ノ規
 定ハ其注意ノ責任ニ關スルモノノ外總テ民法ノ規定ニ讓リ商事寄託ノ規定中

第二節 倉庫營業

特ニ倉庫營業ナル一節ヲ設ケ詳細ノ規定ヲ爲セリ蓋シ倉庫營業ニ關スル規定
 ハ從來多ク其例ヲ見サル所ナリト雖モ商業ノ發達スルニ伴ヒ漸次倉庫營業ノ
 必要ヲ生シ之ヲ業トスル者亦年ト共ニ多キヲ加ヘタルヲ以テ近世ノ立法ハ之
 ニ關スル特別ノ規定ヲ設ケルモノ多キニ至レリ我新商法モ此趨勢ニ鑑ミ特ニ
 其規定ヲ設ケタリ。其規定ハ倉庫營業ノ人ヲ保管カ倉庫ニ於テセラルルノ點ニ在
 リ故ニ倉庫寄託ハ當事者ノ一方カ相手方ノ爲メニ倉庫ニ保管ヲ爲スコトヲ約
 シテ或物ヲ受取ルニ因リテ其效力ヲ生スト定義シテ可ナリ(民法第六五七條參
 照)此ノ如ク倉庫ニ於テ保管ヲ爲スコトカ此種ノ契約ノ一要素ヲ爲スモノナル
 カ故ニ其目的物ハ倉庫ニ於テ保管ヲ得ラルル物ニ限ラレ其結果當ニ動産ナル
 コト殆ト辯明ヲ俟タサルナリ。又モ
 倉庫寄託ノ引受ヲ業トスル者ヲ倉庫營業者ト謂フ即チ商法第三百五十七條ハ
 倉庫營業者ヲ定義シ之倉庫營業者トハ他人ノ爲メニ物品ヲ倉庫ニ保管スルヲ
 業トスル者ヲ謂フコト云ヘリ既ニ述ヘタル如ク寄託ノ引受ハ本來ノ商行為ニ非

スシテ主觀の商行爲又ハ附屬の商行爲ナリ故ニ營業トシテ又ハ營業ノ爲メニ
 スル寄託ノ引受ニ非サレハ商行爲タラス而シテ倉庫營業ハ營業トシテ寄託ノ
 引受ヲ爲スモノナルカ故ニ所謂主觀の商行爲ニ屬シ之ト同時ニ倉庫營業者ハ
 商行爲ヲ業トスル者トシテ商人ナリ

倉庫營業ニ付テハ外國ノ法制上特ニ其營業ノ許可ヲ必要トスルモノアリ蓋シ
 此主義タルヤ其特許ヲ爲スニ當タリ營業者ノ經歷信用資本營業ノ組織其他必
 要ナル點ヲ調査シ然ル後特許ヲ與フルモノニシテ其目的營業ノ確實ニシテ安
 全ナルヲ期スルニ在リ然リト雖モ其調査ハ到底周密ニ行ハレ得ヘキニ非ス隨
 テ特許ヲ得タル營業者ニシテ不確實不安全ナルモノナシトモス然ルニ其營業
 者ハ特許ヲ標榜シテ世人ト取引ヲ爲シ世人モ亦特許ニ信ヲ置キテ深ク其内情
 ヲ顧ミルコトヲ爲ササルカ故ニ營業ノ確實ト安全ヲ期スル特許ハ却テ世人ヲ
 欺クノ道具ト爲リ其弊害少カラス故ニ社會ノ幼稚ナル時代ニ在リテハ特許主
 義或ハ可ナリト雖モ今日進歩シタル社會ニ於テハ此主義ハ害アリテ利ナク寧
 ロ其營業ヲ自由ニシ之ト取引ヲ爲ス者ヲシテ其信否ヲ判斷セシムルノ優レル

ニ如カス是ヲ以テ我商法ハ自由營業主義ヲ採用シ其營業ヲ各人ノ自由ニ放任
 シタリ

商法第三編第九章第二節ハ倉庫營業ニ關スル規定ナリ故ニ縱令倉庫寄託ノ引
 受ヲ爲スモ之ヲ營業トスル場合ニ非サレハ其適用ヲ見ス故ニ本節ニ於テ論セ
 シトスル所ハ倉庫寄託中主觀の商行爲ニ屬スル場合即チ其引受ヲ營業トスル
 場合ニ付テノミ適用セララルモノトス

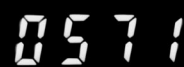
第一 倉庫營業者ノ義務

第一 倉庫營業者ノ義務ハ一面ニ於テ寄託者ノ權利ナリ分チテ左ノ三トス

(一) 受寄物保管ノ義務

受寄物保管ノ義務ニ付テハ唯二三ノ規定アルヲ見ルノミニシテ他ハ皆民法ノ
 規定ニ讓レリ故ニ此ニハ其二三ノ特別規定ヲ説明スルニ止ムヘシ

民法ニ於テハ寄託カ無償ナルトキハ受寄者ハ受寄物ヲ保管スルニ付キ自己ノ
 財産ニ於ケルト同一ノ注意ヲ用フルヲ以テ足レリトシ寄託カ有償ナルトキ始



受寄物保管ノ期間ニ付テハ契約ヲ以テ之ヲ定メタルトキハ民法ノ規定ニ依リテ善良ナル管理者ノ注意ヲ加フヘキモノトセリ然ルニ商事寄託ニ付テハ其有價タルト無價タルトヲ問ハス常ニ善良ナル管理者ノ注意ヲ加フヘキモノトシタリ故ニ倉庫營業ニ付テモ營業者ハ常ニ善良ナル管理者ノ注意ヲ以テ其受寄物ヲ保管スヘキハ勿論ナリト雖モ法律ハ尙ホ一步ヲ進メ管ニ營業者ガ善良ナル管理者ノ注意ヲ用ヒタルノミヲ以テ足レリトセス其使用人カ同一ノ注意ヲ用ヒタルコトヲ必要トシ其注意ヲ怠ラサリシコトヲ證明スルニ非サレハ受寄物ノ滅失又ハ毀損ニ付キ損害賠償ノ責任ヲ免レサルモノトセリ(第三七六條)此責任規定ハ管ヲ説明シタル所ヲ運送取扱營業ニ關スル第三百二十二條運送營業ニ關スル第三百三十七條及ヒ第三百五十條ノ規定ト同様ノ趣旨ニ出テタルモノニシテ寄託ノ引受ヲ營業トスル點ヨリ考察シテ最モ至當ノ規定ト謂ハサルヘカラス

右ニ述ヘタル受寄物滅失又ハ毀損ニ對スル倉庫營業者ノ責任ハ一般ノ商事寄託ト同シク一年ノ特別時効ニ罹ルモノトシテ其起算點ハ全部滅失ノ場合ニ於テハ倉庫營業者ヨリ預證券ノ所持人若シ其所持人カ知レサルトキハ寄託

者ニ對シテ其滅失ノ通知ヲ發シタル日ヨリ起算シ一部滅失又ハ毀損ノ場合ニ於テハ寄託物出庫ノ日ヨリ起算スヘキモノトセリ(第三八三條)然レトモ其滅失又ハ毀損ニ付キ倉庫營業者ニ惡意アルトキハ民法第七百二十四條ノ規定ニ依ルヘキモノトス

此ニ一ノ例外アリ即チ寄託物ノ一部滅失又ハ毀損ノ場合ニ於テ寄託者又ハ預證券ノ所持人カ要價ノ留保ヲ爲サスシテ寄託物ヲ受取リ且其報酬立替金及ヒ費用ヲ支拂ヒタルトキハ倉庫營業者ノ責任ハ當然消滅スルコト是ナリ然レトモ若シ倉庫營業者ニ惡意アリタルトキハ縱令寄託者又ハ預證券ノ所持人カ留保ヲ爲サスシテ寄託物ヲ受取リ且報酬ヲ支拂フモ其責任ヲ免ルルコトヲ得ス又寄託物ニ直チニ發見スルコトヲ得サル毀損又ハ一部滅失アルトキハ一旦留保ヲ爲サスシテ之ヲ受取ルモ之ヲ受取リタル日ヨリ二週間内ニ其旨ヲ通知シ發シタルトキハ倉庫營業者ハ其責任ヲ免ルルコトヲ得サルモノトス(第三八二條)

受寄物保管ノ期間ニ付テハ契約ヲ以テ之ヲ定メタルトキハ民法ノ規定ニ依リ

已ムコトヲ得サル事由アルニ非サレハ其期限前ニ於テ返還ヲ爲スコトヲ得ナルヲ以テ已ムコトヲ得サル事由アル場合ノ外其期間内ハ之ヲ保管セサルヘカラス然レトモ契約ヲ以テ其期間ヲ定メタルトキハ民法ノ規定ニ依リ何時ニテモ返還ヲ爲スコトヲ得ヘキモノトセハ寄託者ノ不便一方ナラス到底營業寄託ノ性質ニ適セサルヲ以テ倉庫營業ニ付テハ已ムコトヲ得サル場合ハ何時ニテモ返還スルコトヲ得ルモ然ラサル場合ニ於テハ入庫ノ日ヨリ少クトモ六箇月ヲ經過シタル後ニ非サレハ之ヲ返還スルコトヲ得サルモノトセリ而シテ其六箇月ノ期間ハ我邦營業者間ノ慣習ニ於テモ略ホ定マレル所ニシテ亦獨逸新商法ニ於テモ採用セル所ナルヲ以テ之ヲ六箇月トシタルモノナリ(第三七八條)

受寄物ノ保管中ハ寄託者又ハ預證券所持人ノ請求ニ因リ何時ニテモ受寄物ノ點檢ヲ爲サシメ又ハ見本ノ抽出ヲ爲シ且受寄物ノ保存ニ必要ナル處分ヲ爲サシメサルヘカラス是レ保管ニ伴フ義務ニシテ寄託者又ハ其物ノ買主ト觀ルヘキ預證券ノ所持人ハ之ヲ他ニ賣却又ハ質入等ヲ爲スニ付キ之ヲ點檢シ又ハ見本ヲ必要トスルコトアルト同時ニ固ヨリ其物ノ保存ヲ圖ラサルヘカラスナルガ

故ニ右ノ如ク之ニ應スル義務ヲ倉庫營業者ニ命シタルモノナリ又質入證券ノ所持人モ其物ヲ擔保トシテ債權ヲ有スル者ナルカ故ニ之ヲ點檢スルノ必要アルヲ以テ倉庫營業者ハ亦其點檢ニ應セサルヘカラス然レトモ點檢見本ノ抽出又ハ保存處分ノ爲メニ倉庫營業者ヲシテ著シキ迷惑ヲ被ラシムヘキニ非サルヲ以テ寄託者其他ノ者カ之ヲ要求スルニハ營業時間内ニ於テスヘキモノトシ倉庫營業者ノ不便ト煩勞ヲ少カラシメタリ

(二) 受寄物返還ノ義務

倉庫營業者ハ寄託者ノ請求ニ因リ何時ニテモ受寄物ヲ返還セサルヘカラス但預證券及ヒ質入證券ヲ作りタルトキハ之ト引換ニ非サレハ其返還ヲ請求スルコトヲ得サルコトハ後ニ論スルカ如シ而シテ縱令寄託ノ期間ヲ定メタルトキト雖モ同一ナリトス是レ他ナシ寄託ハ寄託者ノ便益ノ爲メニ之ヲ爲スモノニシテ其返還ノ時期ヲ定ムルハ畢竟寄託者ノ利益ノ爲メニスルモノナレハナリ然レトモ當事者カ單ニ返還ノ時期ヲ定ムルニ止マラス其期限前ニ於テハ返還ノ請求ニ應セザル旨ヲ約スルトキハ固ヨリ其約定ニ從フヘキモノトス



倉庫營業者カ期間ノ満了受寄物入庫ノ日ヨリ六箇月ノ經過其他受寄物ヲ返還
 シ得ル時期ニ至リ其返還ヲ爲サントスルモ寄託者又ハ預證券ノ所持人カ之ヲ
 受取ルコトヲ拒ミ若クハ之ヲ受取ルコト能ハサル場合ニ付キ法ハ倉庫營業者
 ヲシテ其返還義務ヲ免レ得セシムヘキ規定ヲ爲シ居レリ即チ倉庫營業者ハ其
 物ヲ供託シ又ハ相當ノ期間ヲ定メテ其受取ノ催告ヲ爲シタル後之ヲ競賣スル
 コトヲ得ヘク又其物カ損敗スル虞アルトキハ右ノ催告ヲ爲サスシテ直チニ之
 ヲ競賣スルコトヲ得ヘシ而シテ其競賣代金ハ寄託ノ報酬費用立替金等ニ充當
 スルコトヲ妨ケス然レトモ若シ其代金ヲ報酬等ニ充當セザルトキハ之ヲ供託
 スルコトヲ要シ又供託者クハ競賣ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク寄託者ニ通知セ
 サルヘカラス(第三八一條)

(三) 預證券及ヒ質入證券交付ノ義務
 倉庫營業者ハ寄託者ノ請求アルトキハ預證券及ヒ質入證券ヲ交付セザルヘカ
 ラス是レ所謂倉荷證券ニシテ倉庫寄託ノ盛ニ行ハルルハ主トシテ此證券カ荷
 主ニ著シキ便益ヲ與フレハナリ

倉荷證券ニ付テハ法制上一券主義ヲ取ルモノト二券主義ヲ取ルモノトアリ我
 舊商法ヲ始メ英米ノ法律ハ一券主義ヲ取リ佛伊白等ノ法律ハ二券主義ヲ取レ
 リ今此主義ノ得失ヲ案スルニ一券主義ノ法律ノ下ニ於テハ倉荷ヲ讓渡スニモ
 又之ヲ質入スルニモ常ニ其一枚ノ證券ニ依ラザルコトヲ得サルカ故ニ一旦之
 ヲ質入シタル以上ハ更ニ之ヲ讓渡スコトヲ得ス隨テ其證券ヲ擔保トシテ金錢
 ノ融通ヲ得ントスレハ直チニ倉荷ノ運轉ヲ妨ケ不便言フヘカラス之ニ反シニ
 券主義ノ法律ノ下ニ於テハ一枚ノ證券ハ倉荷ヲ運轉スル爲メニ用ヒ他ノ一枚
 ノ證券ハ倉荷ヲ擔保トシテ金錢ヲ融通スル爲メニ用フルコトヲ得ルカ故ニ其
 一枚ノ證券ヲ擔保トシテ金錢ヲ借入レ之ト同時ニ他ノ一枚ノ證券ヲ以テ倉荷
 ヲ讓渡スコトヲ得ヘク其便益頗ル大ナリトス而シテ證券ノ二枚ナルカ爲メニ
 毫モ弊害ヲ見ス故ニ二券主義ノ一券主義ニ優ルコト敢テ喋喋ヲ要セス是ヲ以
 テ我新商法ハ舊商法ノ主義ヲ改メテ二券主義ノ制度ヲ採レリ然レトモ今日英
 米等ニ於テ尙ホ一券主義ノ行ハルルハ亦故ナキニ非ス蓋シ此等ノ國ニ於テハ
 其證券ヲ以テ信用取得ノ具換言スレバ之ヲ擔保トシテ貸出ヲ得ルノ具トセス

0574

シテ單ニ大取引ノ場合ニ於ケル荷物運轉ノ方法ニ用フルモノトセルカ故ニ取
 テ二券ノ必要ヲ見サレハナリ然ルニ事情ヲ異ニセル我國ニ於テ猶ホ一券主義
 ヲ主張スル者多キハ殆ト下解ニ苦シム所ナリ
 預證券及ヒ質入證券ノ交付ハ前述ノ如ク寄託者ノ請求アル場合ニ於テ始メテ
 之ヲ爲スモノニシテ此二種ノ證券ハ必ス同時ニ交付スルコトヲ要シ預證券又
 ハ質入證券ノモテ交付スルコトハ二券主義ヲ採レル法律ノ精神ニ反スルモノ
 ナリ
 預證券及ヒ質入證券ハ一定ノ形式ヲ要スルモノニシテ法律ノ規定ニ依レハ一、
 受寄物ノ種類品質數量及ヒ其荷造ノ種類箇數並ニ記號ニ寄託者ノ氏名又ハ商
 號三保管ノ場所四保管料五保管ノ期間ヲ定メタルトキハ其期間六受託物ヲ保
 險ニ付シタルトキハ保險金額保險期間及ヒ保險者ノ氏名又ハ商號七證券ノ作
 成地及ヒ其作成ノ年月日ヲ記載シ之ニ番號ヲ附シ倉庫營業者自ラ署名スヘキ
 モトトセリ(但署名ニ代ヘテ記名捺印ヲ用フルコトヲ得而シテ此等ノ要件中其
 一ヲ缺クトキハ預證券又ハ質入證券トシテ效力ナキヤ否ヤ倉庫證券カ一ノ形

式證券タル點ヨリ推セハ之ヲ無効ナリト謂ハサルヘカラス又法文ノ上ニ於テ
 モ手形ノ要件ヲ規定スル場合ト同一ノ筆法ヲ用ヒタリ然レトモ實際上ノ議論
 トシテハ全然之ヲ無効トスルハ甚タ不便ナリト信ス且法律ハ其預證券若クハ
 質入證券タルコトヲ示スヘキ文字ヲ記載スルコトヲ必要トセサルモ是レ寧ロ
 必要ナル記載事項ニシテ縱令法律上ノ要件ニ非ストスルモ實際上ニ於テハ却
 テ缺クヘカラサル要件ナリトス何トナレハ預證券及ヒ質入證券ニ同一ノ記載
 ノミヲ爲シ其預證券又ハ質入證券タルコトヲ示ササルトキハ孰レカ預證券ニ
 シテ孰レカ質入證券ナルカヲ知ルコトヲ得サレハナリ然レトモ是レ固ヨリ法
 律上ノ要件ニ非サルカ故ニ其記載ナキカ爲メニ證券ノ無効ヲ來スヘキニ非ス
 此場合ニ於テハ證券ノ所持人ハ其一枚ヲ質入證券トシテ用ヒ他ノ一枚ヲ預證
 券トシテ使用スルコトヲ得ヘキノミ
 預證券及ヒ質入證券ハ寄託物全部ニ付キ各一通ヲ交付スルモノナリト雖モ預
 證券及ヒ質入證券ノ所持人カ寄託物ヲ分割シ其各部分ニ付キ預證券及ヒ質入
 證券ヲ交付スヘキコトヲ請求スルトキハ倉庫營業者ハ其各部分ニ對スル二通



ノ證券ヲ交付セサルヘカラス是レ畢竟貨物ノ質入又ハ移轉ノ便ヲ圖リタルモノニシテ此場合ニ於テハ證券ノ所持人ハ其費用ヲ倉庫營業者ニ支拂フヘキモノナルカ故ニ倉庫營業者ハ敢テ迷惑ヲ感セス而シテ所持人ハ其各部分ニ對スル證券ト引換ニ其所持セル證券ヲ倉庫營業者ニ返還スルコトヲ要スルカ故ニ之カ爲メニ弊害ヲ生スルコトナシ然レトモ若シ其預證券及ヒ質入證券カ二人ノ手ニ在ルトキハ各所持人ハ各部分ニ對スル證券ノ交付ヲ請求スルコトヲ得ス唯此場合ニハ預證券ノ所持人ト質入證券ノ所持人トカ共同シテ其引換ヲ請求スルコトヲ得ルノミ(第三六一條)

預證券又ハ質入證券ノ所持人カ其證券ヲ滅失シタルトキハ倉庫營業者ニ相當ノ擔保ヲ供シ更ニ其證券ノ交付ヲ請求スルコトヲ得ヘシ此場合ニ於テハ前ノ場合ト異ナリ預證券並ニ質入證券ノ所持人タルコトヲ要セス預證券ノミノ所持人又ハ質入證券ノミノ所持人ナルヲ以テ足レリ且寄託物ノ各部分ニ對スル證券ノ所持人ニテモ可ナリ(第三六六條)

倉庫營業者カ預證券及ヒ質入證券ヲ交付シタルトキハ其帳簿ニ一、受寄物ノ種類、品位、數量及ヒ其荷造ノ種類箇數並ニ記號二、寄託者ノ氏名又ハ商號三、保管料四、保管ノ期間ヲ定メタルトキハ其期間五、受寄物ヲ保險ニ付シタルトキハ保險金額保險期間及ヒ保險者ノ氏名又ハ商號六、證券ノ番號及ヒ其作成ノ年月日ヲ記載シ又預證券又ハ質入證券ノ所持人カ之ヲ滅失シタル爲メ更ニ之ヲ交付シタルトキハ其旨ヲ帳簿ニ記載スルコトヲ要ス而シテ法律ハ寄託物ヲ分割シ其各部分ニ對スル證券ヲ交付シタル場合ニ付キ之ヲ帳簿ニ記載スヘキ旨ヲ規定セスト雖モ是レ恐ラク法文ノ遺漏ニシテ其記載ノ必要アルハ彼此ノ間ニ差別ナキナリ

倉荷證券ハ形式證券ニシテ其證券ニ表彰セラルル權利ノ實質及ヒ範圍ハ其證券ノ記載ニ依リテ決定セラレ其證券ヲ離レテ權利ノ實質及ヒ範圍ヲ爭フコトヲ許ササルナリ故ニ倉庫營業者カ倉荷證券ヲ作成シ之ヲ交付シタルトキハ倉庫營業者ト其證券ノ所持人トノ間ニ於テハ常ニ其證券ノ記載ニ依リテ其權利義務ヲ定ムヘクシテ寄託契約ノ趣旨及ヒ其他ノ事項カ證券ニ記載スル所ト異ナルコトヲ理由トシテ其權利義務ヲ云爲スルコトヲ得ス是レ他ナシ此種ノ證

券ハ所謂流通性ノ證券ニシテ其證券ノ取得者ハ證券以外ニ如何ナル權利關係
 ノ存スルカハ之ヲ知ルニ由ナシ然ルニ證券以外ノ事項ヲ以テ其權利義務ヲ爭
 フコトヲ得ルモノトモハ竟ニ證券ノ流通ヲ杜絶スルニ至ルヘケレハナリ第三
 六二條倉荷證券ト之ニ依リテ表彰セララル權利トノ關係トハ當ニ之ニ止マラ
 ス尙ホ一層其間ニ密接ナル關係ノ存スルモノアリ即チ此證券ノ處分ハ其目的
 タル寄託物ノ處分ト同一ノ效力ヲ生シ此效力アル爲メニ證券上ノ權利者ト寄
 託物ノ權利者トヲ異ニスルヨリ生スル困難ヲ避クルノ必要ヨリ倉荷證券ヲ作
 リタルトキハ寄託物ノ處分ハ其證券ヲ以テスルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得
 サルノ結果ヲ生ス故ニ寄託物ヲ質入シ又ハ讓渡スニハ常ニ質入證券又ハ預證
 券ヲ以テセサルヘカラスシテ質入證券ノ質入ハ寄託物ノ質入ノ效力ヲ生シ預
 證券ノ讓渡ハ寄託物ノ讓渡ノ效力ヲ生スルナリ(第三六三條第三六五條)
 預證券及ヒ質入證券ノ處分ハ裏書ニ依リテ之ヲ爲スモノトス此種ノ證券ハ最
 初ヨリ裏書セラルヘキ形式即チ指圖式ニテ發行セラルルヲ通例トシ縱令單純
 ナル記名式ヲ以テ發行セラレタル場合ニモ等シク裏書ニ依リテ流通セラレ得

ヘキモノナリ然レトモ倉庫營業者カ其證券ニ裏書ヲ禁スル旨ヲ記載シタルト
 キハ裏書ニ依リテ讓渡シ又ハ質入スルコトヲ得ス故ニ倉庫營業者カ裏書ヲ禁
 スル旨ヲ記載シタルニ拘ハラズ之ヲ裏書シタルトキハ其裏書ヨリ質入又ハ讓
 渡ノ效力ヲ生スルコトナキナリ元來倉荷證券ハ之ニ寄託者ノ氏名又ハ商號ヲ
 記載スルコトヲ要スルモノナルヲ以テ無記名式ニテ發行セラレタル倉荷證券
 アリ得ヘカラス隨テ倉荷證券ノ處分ト云ヘハ裏書ニ依ルヲ要シ引渡ノミニテ
 其處分ヲ爲シ得ヘキ場合ナキカ如シト雖モ裏書人カ署名ノミヲ以テ裏書ヲ爲
 シタルトキハ爾後引渡ノミニ依リテ之ヲ爲スコトヲ得ルハ白地裏書竝ニ其被
 裏書人ノ補充ニ關スル手形ノ規定カ指圖債權ニ準用セラレ居ルノ點ヨリ推考
 シテ爾カ論セサルヘカラサルナリ(第二八二條參照)
 預證券及ヒ質入證券ハ之ヲ併セテ裏書スルコトアリ或ハ各別ニ裏書スルコト
 アリ而シテ其何レノ方法ヲ取ルモ所持人ノ隨意ナリト雖モ質入證券カ未ダ質
 入セラレサル間ハ之ヲ各別ニ裏書スルコトヲ得ス預證券ト質入證券トハ相伴
 フテ轉轉セサルヘカラス是レ證券ノ性質上然ラサルコトヲ得サルモノニシテ



元來其證券ニ記載セル寄託物ハ一箇ナルモ之ヲ質入ト讓渡トノ二ノ方法ニ依
 入テ處分スルノ便ヲ得セシムル爲メ二箇ノ證券ヲ作ルモノナルカ故ニ二箇ノ
 證券ニ依リテ各別ニ之ヲ讓渡スコトヲ得ヘキ謂レナク且雙方ヲ分離シタル結
 果ヲ想像スルニ質入證券ノ所持人ハ第一ノ質權者カ預證券ニ其債權額等ヲ記
 載シテ署名スルニ非サレハ其質權又以テ預證券ノ所持人ニ對抗スルコトヲ得
 ス隨テ縱令質入證券ノミヲ所持スルモ其證券ノ裏書人以外ノ者ニ對シテ如何
 等ノ効ナク一言ニシテ言ヘハ質入證券ノ効用ナキモノナリ又預證券ノ所持人
 モ其證券ノミヲ所持スルノミニテハ其證券ノ効力トシテ寄託物ノ所有權ヲ取
 得シタルト同一ノ權利ヲ有スルモ之ヲ質入スルコトヲ得ザルヲ以テ質入證券
 カ未タ質入ノ爲メニ裏書セラレサルニ拘ハラズ質入證券ノ利用ヲ爲スコトヲ
 得ス故ニ一方ニ於テ之ヲ各別ニ讓渡スコトヲ許スヘカラザルト同時ニ他方ニ
 於テ之ヲ許スノ要ナキナリ

預證券及ヒ質入證券カ各別ニ轉轉ヲ始ムルハ預證券及ヒ質入證券ノ所持人カ
 質入證券ニ第一ノ質入裏書ヲ爲シタル以後ニ在リ即チ一旦預證券ヲ所持スル

者カ質入證券ニ質入ノ裏書ヲ爲ストキハ其以後ニ於テハ各證券始ト獨立ノ姿
 ヲ以テ裏書セラレルモノニシテ是レ實ニ二券主義ノ長所トスル所ナリ而シテ
 預證券ハ既ニ一言シタル如ク寄託物ノ所有權ヲ代表スルモノナルカ故ニ此證
 券ノ授受ハ所有權移轉ノ爲メニシ之ニ反シ質入證券ハ質權設定ニ關シ寄託物
 ヲ代表スルモノナルカ故ニ寄託物ノ質入ノ爲メ授受セラレルモノナリ此ノ如
 ク預證券及ヒ質入證券ハ目的ヲ異ニシテ物權的作用ヲ爲スモノナルカ故ニ若
 シ兩證券カ各別ニ裏書セラレルトキハ預證券ノ取得者ハ他ニ質入證券ニ依リ
 テ寄託物カ質入セラレタルコトヲ知ルコトヲ得ルモ其債權額及ヒ利息カ幾許
 ニシテ其辨濟期カ何時ナルカヲ知ルコトヲ得ス故ニ若シ無條件ニ其質權ヲ以
 テ預證券ノ所持人ニ對抗スルコトヲ得ルモノトセハ何人モ之ヲ讓受クルコト
 ヲ危ミ預證券ノ流通ハ全ク杜絶セラレルニ至ルヘキナリ是ヲ以テ質入證券ノ
 第一ノ裏書ヲ爲スニ當リテハ其裏書人ハ必ス其質權ニ依リテ擔保セラレル主
 タル債權ノ額其利息及ヒ其辨濟期ヲ質入證券ニ記載スルコトヲ要スルト同時
 ニ第一ノ質權者ハ其債權額利息及ヒ辨濟期ヲ預證券ニ記載シテ署名スヘク若



シ之ヲ爲ササルトキハ其質權ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得サルモノトモ
 リ而シテ此ニ所謂第三者トハ質入證券ノ所持人カ其前者以外ノ者ニ對スル關
 係ヲ指スモノニシテ其適用ハ主トシテ預證券ノ所持人及ヒ倉庫營業者ニ對シ
 ラ生スルモノトス尙ホ第一ノ質權者カ預證券ニ右ノ記載ヲ爲ササルトキハ電
 ニ第一ノ質權者ノミナラス第二以下ノ質權者換言スレハ質入證券ノ所持人タ
 ル者ハ其質權ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得サルハ法文ヨリ生スル結果ナ
 リ

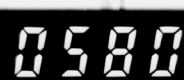
此ニ一ノ問題アリ質入證券ノ裏書ヲ爲スニ當リテハ債權者即チ被裏書人ノ氏
 名又ハ商號及ヒ裏書ノ年月日ヲ記載スルコトヲ要スルヤ否ヤ及ヒ裏書人ノ署
 名ヲ要スルヤ否ヤ是ナリ此點ニ付テハ法律カ第一ノ質入裏書ニハ債權額利息
 辨濟期ヲ記載スルコトヲ要スル旨ヲ規定スルノミニシテ被裏書人ノ氏名等ヲ
 記載スルコトヲ要スル旨ノ規定ヲ爲ササルカ故ニ學者咸ハ此ノ如キ記載ヲ要
 セスト論スル者アリト雖モ既ニ述ヘタル如ク指圖債權ニ關シテハ第二百八十
 二條ノ規定ニ依リテ手形ノ裏書ニ關スル商法第四百五十七條ヲ準用スヘキモノ

トシ而シテ此法條ハ目的ノ如何ヲ問ハス總テノ裏書ニ通スル規定ナルカ故ニ
 本問ノ場合ニモ亦右ノ記載ノ必要ナルコト論ラ埃タス法律ハ唯質入證券ノ裏
 書ニ特別ナル要件ヲ規定シタルノミ之カ爲メニ普通ノ要件ヲ省略スルコトヲ
 許シタルモノト謂フヘカラス且手形ノ裏書ニ關スル規定カ準用セラルル結果
 トシテ署名ノミヲ以テ裏書ヲ爲スコトヲ得ルカ故ニ此場合ニハ商法第三百六
 十七條第一項ノ要件ノ外單ニ裏書人ノ署名ヲ要スルノミ而シテ署名ノミヲ以
 テ裏書ヲ爲シタルトキハ爾後交付ノミニ因リテ轉轉シ得ルコトハ曩ニ一言シ
 タルカ如シ

更ニ一問題アリ預證券ハ裏書ニ依リテ之ヲ質入スルコトヲ得ルヤ否ヤ蓋シニ
 券主義ノ法律ノ下ニ於テハ預證券ノ質入ハ法ノ精神ニ反スルカ故ニ之ヲ許ス
 ヘカラサルニ似タリト雖モ余ハ敢テ無効ニ非スト信ス何トナレハ法律カ權利
 質ヲ認ムル以上ハ之ヲ質入スルニ毫モ妨ナレハナリ然レトモ其質入ハ質入證
 券ノ質入ト同一ノ效力ヲ有セス一般權利質ノ規定ノ支配ヲ受クヘキモノニシ
 テ倉庫證券ノ性質及ヒ作用トシテ之ヲ説明スルノ限ニ在ラス

預證券ト質入證券トハ相合シテ流通スルコトアリ又相分レテ流通スルコトアルハ既ニ屢述ヘタル所ニシテ此二種ノ證券カ相合シテ流通シ同一人ノ手ニ在ルトキハ其所持人ハ之ヲ倉庫營業者ニ提出シテ寄託物ヲ受取ルコトヲ得ヘク尠モ複雑ナル關係ヲ生セスト雖モ若シ其證券カ各別ニ流通シ別異ノ人ノ手ニ在ルトキハ兩證券ノ所持人カ其權利ヲ行スニ付キ複雑ナル關係ヲ惹起スモノニシテ是レ寧ロ二券主義ノ法制ノ下ニ於テハ普通ノ現象ナリトス而シテ質入證券ノ所持人カ其權利ヲ行フハ其債權ノ辨濟期ニ至リタル後ナリト雖モ預證券ノ所持人ハ質權ニ依リテ擔保セラルル債權ノ辨濟期前ニ於テモ其權利ヲ行フコトヲ得ヘシ然レトモ預證券ノ所持人カ有スル權利ハ他ニ之ニ對抗シ得ヘキ質權ノ存在スルニ因リテ制限セラレ居ルカ故ニ預證券ノミヲ提出シテ寄託物ノ返還ヲ受タルコトヲ得ス故ニ此場合ニ於テ強ヒテ其返還ヲ受ケントセハ其證券ニ記載セラレタル債權ノ全額及ヒ辨濟期マテノ利息ヲ倉庫營業者ニ供託セサルヘカラス而シテ其供託シタル金額ハ質入證券ト引換ニ質入證券ノ所持人ニ支拂ハルヘキモノトス(第三八〇條)是レ畢竟ニ券主義ヨリ生スル弊ヲ矯メ

タルモノニシテ一方ニ於テハ毫モ質入證券ノ所持人ヲ害スルコトナク他方ニ於テハ質入證券ノ裏書ノ爲メニ寄託物ノ現實ノ融通ヲ杜絶セシメサルノ利アルモノナリ然レトモ右ノ規定ハ多少批難ヲ免レサルモノニシテ商法第三百八十條第一項ニハ質入證券ニ記載シタル債權ノ辨濟期前云云トアリ然レトモ我商法ハ佛法其他ノ法制ノ如ク質入證券ノ質入ヲ倉庫營業者ノ帳簿ニ記載セシムルノ主義ヲ採ラサリシカ故ニ預證券ノ所持人カ債權額及ヒ利息ヲ供託スルニ當リ質入證券ニ記載シタル債權額辨濟期及ヒ利息ヲ知ルニ由ナク倉庫營業者モ之ヲ知ルヘキ謂レナキヲ以テ右ノ規定ハ我法制ノ趣旨ニ適セス加之質入證券ノ所持人カ其債權ヲ預證券ノ所持人ニ對抗シ得ルハ第一ノ質入裏書人カ預證券ニ債權額等ヲ記載スルニ由リテ然ルモノナリ隨テ預證券ニ記載セル債權額ト質入證券ニ記載セル債權額ト異ナルトキハ預證券ノ記載ヲ標準トシテ質權ノ範圍ヲ定ムヘキコト當然ナルカ故ニ其標準ヲ預證券ノ記載ニ取ラスシテ質入證券ノ記載ニ取リタルハ頗ル其當ヲ得ス然リト雖モ質入證券ノ記載ト預證券ノ記載トハ理論上一致セサルヘカラサルモノナルカ故ニ立法者ハ其相



違フルカ如キ場合ヲ眼中ニ置カス而シテ其債權額ハ素ト質入證券ノ記載ニ因リテ定マラタルモノナルカ故ニ其供託カ質債權ノ金額及ヒ利息ナルコトヲ言ハントスルニ急ニシテ遂ニ此ノ如ク規定シタルニ外ナラザルヘシ隨テ其適用ノ上ニ於テハ多少法文ノ表面ニ反スル嫌アルモ預證券ノ記載ヲ標準トスヘキモノト信ス

前記ノ如ク預證券ノ所持人カ質債權ノ辨濟期前ニ於テ寄託物ノ返還ヲ受ケルニハ質入證券ニ記載シタル債權ノ全額及ヒ利息ヲ供託セザルヘカラスト雖モ若シ第一ノ質入裏書人カ預證券ニ其債權等ヲ記載セザルトキハ預證券ノ所持人ハ毫モ供託ヲ爲スコトヲ要セスシテ何時ニテモ寄託物ノ返還ヲ請求スルコトヲ得ヘシ何トナレハ此場合ニ於テハ曩ニ述ヘタルカ如ク其質權ハ預證券ノ所持人ニ對抗スルコトヲ得ザルモノナレハナリ

預證券ノ所持人カ債權ノ辨濟期前ニ寄託物ノ返還ヲ求メザルトキハ質入證券ノ所持人ハ其辨濟期ノ至ルヲ待テテ債務者ニ對シ債權ノ辨濟ヲ請求スルモノトス是ニ於テ債務者ノ何人ナルカヲ決スルノ必要アリ而シテ此問題ニ付テハ

學者間議論ノ存スル所ナリト雖モ余ヲ以テ之ヲ觀レハ第一ノ質入裏書人カ債務者ナルコト一點ノ疑ヲ容レスト信ス何トナレハ質入證券ニ記載スル債務ヲ起シ之ヲ擔保スル爲メ質權ヲ設定シタル者ハ第一ノ質入裏書人ナレハナリ然ルニ一派ノ論者ハ預證券ノ所持人ヲ以テ債務者ナリトセリ是レ畢竟或一二ノ外國法ニ泥ミ我商法ノ精神ヲ誤解シタルモノニシテ或法制ニ於テハ債務ハ預證券ニ隨伴スルモノトシ隨テ預證券ノ所持人ヲ以テ債務者ト看做スノ主義ヲ採レリト雖モ我商法ハ斷シテ此ノ如キ主義ヲ採ラザルコトハ第三百七十二條、第三百七十四條ニ於テ第一ノ質入裏書人ヲ指スニ債務者ナル語ヲ以テセルニ徴シテ明カナルノミナラス預證券ノ所持人ヲ以テ債務者ト看做ス法律ニ於テハ質入證券ノ所持人ヲシテ債務者タル預證券ノ所持人ヲ知ラシムルノ必要アルヲ以テ預證券ノ讓渡ヲ倉庫營業者ニ通知シ倉庫營業者ヲシテ之ヲ記帳セシムルコトヲ要スルモノトシ若シ其通知ヲ爲サザルトキハ其讓渡ハ第三者ニ對抗スルコトヲ得ザルモノトセルモ我商法ニハ此ノ如キ規定ヲ置カサルカ故ニ質入證券ノ所持人ハ預證券ノ所持人カ何人ナルカヲ知ルニ由ナク此邊ノ消息

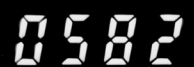


ヨリ推スモ益以テ我商法カ反對主義ニ基キテ立法セラレタルニ非サルコトヲ明カニスルヲ得ヘキナリ尤モ預證券ノ所持人ハ質債務ノ辨濟ニ付キ最モ利害ノ關係ヲ有シ其辨濟ヲ利トスルコト常ナルカ故ニ若シ其請求ニ遇ハハ之ヲ履行スヘキヲ以テ質入證券ノ所持人ハ預證券ノ所持人ヲ知ルコトヲ得タルトキハ第一質權者ニ請求スルノ前又ハ後ニ於テ預證券ノ所持人ニ辨濟ヲ求ムルハ頗ル便利ナリ然レトモ前陳セルカ如ク預證券ノ所持人ノ辨濟ハ少クトモ質入證券所持人ニ對シテハ其權利ニシテ義務ニ非サルカ故ニ此點ニ付キ誤解ナキヲ望ム

質入證券ノ所持人カ債權ノ辨濟期ニ至リ債務者タル第一ノ質入裏書人ニ對シ辨濟ノ請求ヲ爲シ任意ノ履行ヲ得サルトキハ先ツ寄託物ノ競賣ヲ請求スヘキモノニシテ直チニ其債務者ノ財産ヨリ辨濟ヲ受クヘキニ非ス而シテ其競賣ヲ請求スルニハ拒絕證書ヲ作成セシムルコトヲ要シ其拒絕證書ノ作成ハ手形ノ規定ニ依據スヘキモノトス即チ辨濟期日又ハ其後ノ二日內ニ債務者タル第一ノ質入裏書人ノ營業所若シ營業所ナキトキハ其住所又ハ居所ニ於テ公證人

又ハ執達更ラシテ之ヲ作ラシムヘキナリ尙ホ其詳細ハ手形ノ規定ヲ參照スヘシ

質入證券ノ所持人カ拒絕證書ヲ作成セシメタルトキハ此ニ寄託物競賣ノ請求ヲ爲スヘキモノニシテ其請求ハ拒絕證書作成ノ日ヨリ一週間ヲ經過シタル後ナルコトヲ要ス而シテ拒絕證書ノ作成ト寄託物競賣ノ請求トノ間ニ一週間ノ期間ヲ存スルコトヲ必要トシタルハ預證券ノ所持人ヲシテ辨濟ヲ爲シ寄託物ノ競賣ヲ免ルルコトヲ得セシムルノ目的ニ出テタルモノニシテ預證券ノ所持人ハ其證券ノ記載ニ因リ質債權ノ期限ヲ知ルコトヲ得ルカ故ニ其期限ヨリ少クトモ一週間ノ猶豫アルニ於テハ辨濟ヲ爲スコトヲ得レハナリ蓋シ競賣ハ多額ノ費用ヲ要シ而シテ其代價ハ通常低廉ナルヲ以テ預證券ノ所持人ニ取リテ不利ナルコト言フヲ埃タヌ又之ヲ質入證券ノ所持人ヨリ觀察スルモ其代價ノ低廉ト費用トノ爲メニ完全ニ債務ノ辨濟ヲ得サルコトナシトセス固ヨリ此不足額ニ付テハ其辨濟ヲ受クルノ途ナキニ非スト雖モ少カラサル手數ヲ要スルヲ以テ茲ニ一週間ノ期間ヲ存シ預證券ノ所持人ヲシテ辨濟ヲ爲サシムルコト



ハ質入證券ノ所持人ニ對シテ左程不利ナル規定ト云フヲ得サレハナリ(第三六八條第三六九條)

前述ノ如クニシテ寄託物競賣ノ請求アルトキハ此ニ競賣法ニ依リ競賣手續ノ開始スルモノニシテ其競賣ノ結果得タル金員ハ先ツ之ヲ競賣ニ關スル費用受寄物ニ課スヘキ租稅保管料其他保管ニ關スル費用及ヒ立替金ニ充テ其殘額ヲ以テ質債權ヲ辨濟スヘキモノニシテ倉庫營業者ハ質入證券ト引換ニ質入證券所持人ノ債權額利息拒絶證書作成ノ費用ヲ支拂ヒ尙ホ剩餘アルトキハ預證券ト引換ニ其所持人ニ之ヲ支拂フヘキモノトス(第三七〇條)

右ハ寄託物競賣ノ結果質債權ヲ辨濟スルコトヲ得ル場合ニ付テ言ヘリト雖モ時トシテ寄託物ノ代金ヲ以テ質債權ノ全部ヲ辨濟スルコト能ハサル場合アリ此場合ニ於テハ質權ハ此ニ消滅スルモ其債權ハ尙ホ債務者ニ對シテ殘存シ且債務者以外ノ裏書人モ其裏書ヨリ生スル擔保義務ノ結果トシテ債務者ト同シク辨濟ノ義務ヲ負フモノナルカ故ニ倉庫營業者ハ質入證券ノ所持人ヲシテ此等ノ者ニ對シテ其債權ヲ行使スルニ付キ此證券ヲ用フルコトヲ得セシムル爲

メ其證券ニ辨濟額ヲ記入シテ之ヲ返還セサルヘカラス而シテ其事實ハ之ヲ帳簿ニ記載スルコトヲ要ス(第三七一條)

質入證券ノ所持人カ寄託物ノ競賣代金ニ依リ全部ノ辨濟ヲ受ケタル爲メ其辨濟ヲ受ケタル金額ヲ質入證券ニ記入シテ其證券ノ返還ヲ受ケタルトキハ其不足額ニ付キ債務者タル第一ノ質入裏書人其他ノ裏書人ニ對シテ辨濟ノ請求ヲ爲スコトヲ得ルハ前項ニ一言シタル如クニシテ是レ手形ノ償還請求ニ彷彿タルモノナリ故ニ其請求ハ義務者中ノ一人又ハ數人ニ對シテ之ヲ爲スハ其隨意ナリトス然レトモ質入證券ノ所持人カ拒絶證書ノ作成ヲ怠リ又ハ拒絶證書作成ノ日ヨリ二週間内ニ寄託物ノ競賣ヲ請求セザルトキハ裏書人ニ對スル右ノ權利ヲ失フモノトス是レ手形ニ關スル法理ヲ適用シタルモノニシテ此拒絶證書ノ作成及ヒ寄託物競賣ノ請求ハ此種ノ權利ノ保全ニ付キ必要條件ヲ爲シ居ルナリ尙ホ質入證券所持人ノ債務者其他ノ裏書人ニ對スル右ノ請求權ハ一年ノ特別時效ニ罹ルモノニシテ其起算點ハ辨濟期ナリトセリ

第二倉庫營業者ノ權利ニ對シテ其起算點ハ辨濟期ナリトセリ



倉庫營業者ノ權利ハ一面ニ於テ寄託者ノ義務ナリ分テ左ノ二トス

(一) 報酬ヲ受クル權利

倉庫寄託ノ引受ハ倉庫業者ノ營業ナリ隨テ無價ニテ其引受ヲ爲スカ如キハ殆ト想像モ及ハサル所ニシテ又通常其報酬額ヲ定メテ寄託契約ヲ爲スモノナリ此場合ニ於テ倉庫營業者カ寄託者ニ對シ報酬ヲ受クル權利アルコトハ毫モ疑ヲ容レサル所ニシテ法律ノ規定ハ常ニ報酬ヲ受クル權利アルモノトシテ其規定ヲ爲セリ第二七四條(之)ニ付テハ多少異議ヲ唱フル者アリト雖モ其說採ルニ足ラス而シテ報酬ハ即チ保管料ナルカ故ニ法文ニ保管料ナル文字ヲ用フル場合ハ報酬ヲ指スモノト知ルヘシ

報酬ノ支拂ヲ受クル時期ハ原則トシテ寄託物出庫ノ時ニ在リトス是レ寄託ノ性質上當然ノ事ニシテ辨明ヲ要セス而シテ寄託物ノ一部出庫ノ場合ニ於テハ其割合ニ應ジテ其出庫ノ時ニ於テ報酬ヲ請求シ得ルコトモ亦言フテ埃タサルナリ然レトモ寄託物カ倉庫營業者ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リテ滅失シタルトキハ出庫ノ時ナキヲ以テ其滅失ノ後ハ何時ニテモ之ヲ請求スルコトヲ

得ヘク又寄託物競賣ノ場合ニ於テハ競賣ノ後其代金ニ對シ先取特權ヲ行ヒ得ルモノトス

(二) 費用及ヒ立替金ノ支拂ヲ受クル權利

倉庫營業者ハ寄託物ノ保管ニ要シタル費用及ヒ保管ニ關シテ立替ヘタル金額ノ支拂ヲ寄託者ニ請求スルコトヲ得ヘシ而シテ預證券ノ所持人モ之ヲ支拂フヘキ場合アルコト並ニ其支拂ノ時期ニ付テハ前項ノ報酬ニ付テ述ヘタル所ト同一ナルヲ以テ此ニ細説スルノ必要ナシ

商法商行為(自第六章至第九章)終



辭書(五) (五) (六) (七) (八) (九) (十) (十一) (十二) (十三) (十四) (十五) (十六) (十七) (十八) (十九) (二十) (二十一) (二十二) (二十三) (二十四) (二十五) (二十六) (二十七) (二十八) (二十九) (三十) (三十一) (三十二) (三十三) (三十四) (三十五) (三十六) (三十七) (三十八) (三十九) (四十) (四十一) (四十二) (四十三) (四十四) (四十五) (四十六) (四十七) (四十八) (四十九) (五十) (五十一) (五十二) (五十三) (五十四) (五十五) (五十六) (五十七) (五十八) (五十九) (六十) (六十一) (六十二) (六十三) (六十四) (六十五) (六十六) (六十七) (六十八) (六十九) (七十) (七十一) (七十二) (七十三) (七十四) (七十五) (七十六) (七十七) (七十八) (七十九) (八十) (八十一) (八十二) (八十三) (八十四) (八十五) (八十六) (八十七) (八十八) (八十九) (九十) (九十一) (九十二) (九十三) (九十四) (九十五) (九十六) (九十七) (九十八) (九十九) (一百)

此書(五) (五) (六) (七) (八) (九) (十) (十一) (十二) (十三) (十四) (十五) (十六) (十七) (十八) (十九) (二十) (二十一) (二十二) (二十三) (二十四) (二十五) (二十六) (二十七) (二十八) (二十九) (三十) (三十一) (三十二) (三十三) (三十四) (三十五) (三十六) (三十七) (三十八) (三十九) (四十) (四十一) (四十二) (四十三) (四十四) (四十五) (四十六) (四十七) (四十八) (四十九) (五十) (五十一) (五十二) (五十三) (五十四) (五十五) (五十六) (五十七) (五十八) (五十九) (六十) (六十一) (六十二) (六十三) (六十四) (六十五) (六十六) (六十七) (六十八) (六十九) (七十) (七十一) (七十二) (七十三) (七十四) (七十五) (七十六) (七十七) (七十八) (七十九) (八十) (八十一) (八十二) (八十三) (八十四) (八十五) (八十六) (八十七) (八十八) (八十九) (九十) (九十一) (九十二) (九十三) (九十四) (九十五) (九十六) (九十七) (九十八) (九十九) (一百)



明治二十二年十二月九日內務省許可

明治三十五年五月二十八日印刷
明治三十五年五月二十九日發行

東京市牛込區東横町十七番地

編輯者 松田久次郎

東京市牛込區矢來町三番地

印刷者 小宮山信好

東京市芝區西ノ久保明舟町十一番地

印刷所 金子活版所

東京市麴町區富士見町六丁目十六番地

發行所 司法省 和佛法律學校

(電話番町百七十四番)

0586